BASIO3

ベイシオ　スリー

User Guide 取扱説明書 詳細版

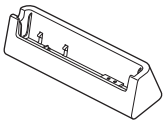
ごあいさつ

このたびは、「BASIO（ベイシオ）3」（以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本製品に同梱する『かんたんマニュアル』または本書をお読みいただき、正しくお使いください。

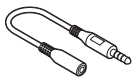
同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

本体



・卓上ホルダ（KYV43PUA）



・京セラTVアンテナケーブル04
（04KYHSA）

・IC Cardトレイ
取り出し工具（試供品）

・かざして診断カード（KYV43NXD）

・かんたんマニュアル

※ 京セラTVアンテナケーブル04、卓上ホルダ、かざして診断カードは防水／防塵性能を有しておりません。

以下のものは同梱されていません。

・ACアダプタ	・microSDメモリカード
・USB Type-Cケーブル	・イヤホン

memo

◎ 指定の充電用機器（別売）をお買い求めください。
◎ 電池は本製品に内蔵されています。
◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と異なる場合があります。

取扱説明書について

■『かんたんマニュアル』

本製品の基本的な使いかたを、やさしく説明しています。
本製品を安心して便利にお使いいただくため、必ずお読みください。

■『オンラインマニュアル』

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『オンラインマニュアル』は、auホームページでご確認できます。
https://www.au.com/online-manual/kyv43/
本製品では以下の操作で『オンラインマニュアル』をご確認できます。
ホーム画面→[サポート]→[取扱説明書]

■『取扱説明書 詳細版』（本書）

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書 詳細版』は、auホームページでご確認できます。
https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/

■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ
You can download the English version of the "Basic Manual" from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書・抜粋（英語版）』をauホームページに掲載しています（発売約1ヶ月後から）。
Download URL:
https://www.au.com/english/support/manual/

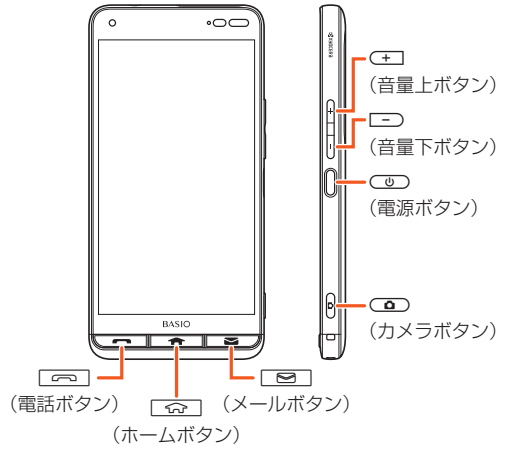
BASIO3使い方練習について

BASIO3の基本操作方法を練習しながら学ぶことができます。
ホーム画面→[使い方練習]
• 詳しくは「使い方練習」（▶P.57）をご参照ください。

本書の表記方法について

■ 掲載されているボタン表示について

本書では、ボタンの図を次のように簡略化しています。



■ 項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

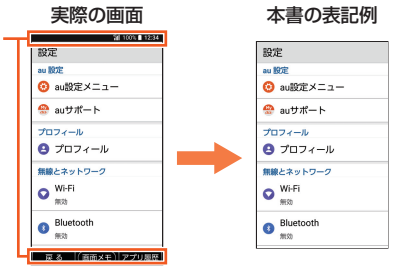
表記例	意味
→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1]→[発信]	を押します。続けて「ダイヤル」タブをタップした後に「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「発信」をタップします。
スリープモード中に（電源ボタン）	スリープモード中に（電源ボタン）を押します。

• タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です（▶P.22）。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書はau Nano IC Card 04を取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。
本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



memo

◎ 本書では本体カラー「ゴールド」の表示を例に説明しています。
◎ 本書では「au Nano IC Card 04」の名称を「au ICカード」と表記しています。
◎ 本書では「microSD™メモリカード（市販品）」および「microSDHC™メモリカード（市販品）」、「microSDXC™メモリカード（市販品）」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎ 本書の表記の金額は、特に記載のある場合を除きすべて税抜です。
◎ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。
◎ 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。
◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。

目次

ごあいさつ……1
同梱品一覧……1
取扱説明書について……1
BASIO3使い方練習について……1
本書の表記方法について……1

目次……2

注意事項……5

注意事項……6
本製品のご利用について……6
安全上のご注意(必ずお守りください)……6
材質一覧……9
取り扱い上のご注意……10
防水／防塵性能に関するご注意……11
ご使用にあたっての注意事項……11
充電のときは……12
水に濡れたときの水抜きについて……12
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について……13
2.4GHz帯ご使用上の注意……13
5GHz帯ご使用上の注意……13
各種暗証番号／PINコードについて……13
各種暗証番号について……13
PINコードについて……13
データ通信料についてのご注意……14
アプリケーションについて……14
アプリの権限を設定する……14
アプリごと／機能ごとに設定する……14
マナーも携帯する……14

ご利用の準備……15

ご利用の準備……16
各部の名称と機能……16
フロントボタンについて……16
スマートソニックレシーバーについて……17
au ICカードについて……17
au ICカードを取り付ける／取り外す……17
au ICカードを取り付ける……17
au ICカードを取り外す……18
充電する……18
指定のACアダプタを使って充電する……18
卓上ホルダを使って充電する……19
パソコンを使って充電する……19
電源を入れる／切る……19
電源を入れる……19
電源を切る……19
強制的に電源を切り再起動する……19
セーフモードについて……19
スタート画面について……20
スタート画面からホーム画面を表示する……20
スリープモードについて……20
初期設定を行う……20
Googleアカウントをセットアップする……20
au IDを設定する……20

基本操作……21

基本操作……22
タッチパネルの使いかた……22
タッチキーの使いかた……22
縦／横画面表示を切り替える……22
ホーム画面について……22
ホーム画面を利用する……23
天気アプリを利用する……23
ホーム画面の主なアプリ／フォルダについて……23
かんたん設定について……24
ホーム画面の設定をする……24
本製品の状態を知る……25
アイコンの見かた……25
通知パネルについて……25
最近使用したアプリを起動する……25
マナーモードを設定する……26
マナーモードの種別を変更する……26
メニューを表示する……26
スクリーンショットを撮影する……26
画面メモを利用する……26
画面メモを撮影する……26
画面メモを確認する……26
ダイレクトボタンを利用する……26
ダイレクトボタンに登録する……26
ダイレクトボタンで電話をかける……26
ダイレクトボタンでメール／SMSを送信する……26
登録したダイレクトボタンを編集する……26

文字入力……27
文字を入力する……27
ソフトウェアキーボードを切り替える……27
ケータイ入力を利用する……27
スマホ入力で入力する……28
iWnn IMEメニューを表示する……29
文字入力の便利な機能を利用する……29
絵文字／記号／顔文字を入力する……29
文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける……29
引用入力を利用する……29
iWnn IMEの各種設定を行う……29
ユーザー辞書に登録する……30
iWnn IMEケータイ入力の設定を行う……30

電話・連絡先……31

電話……32
電話をかける……32
履歴を利用して電話をかける……32
au電話から海外へかける(au国際電話サービス)……32
電話を受ける……33
着信を拒否する……33
着信に伝言メモで応答する……33
着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信する……33
ステップアップ着信を設定する……33
市外局番メモリを設定する……33
伝言メモを利用する……33
自分の電話番号を確認する(プロフィール)……33
電話帳……33
電話帳について……33
連絡先を登録する……34
連絡先から電話をかける……34
連絡先を編集／削除する……34
連絡先を編集する……34
連絡先を削除する……34
グループを設定する……34
お気に入りを設定する……34
救急あんしん情報を利用する……34
救急あんしん情報を登録する……34
救急あんしん情報を確認する……34
連絡先をインポート／エクスポートする……34
インポートする……34
エクスポートする……34

メール……35

auメール……36
auメールのご利用にあたって……36
auメールの初期設定について……36
画面の見かた……36
auメールを送信する……36
auメールを受信する……36
受信ボックス(新着順表示画面)……36
受信ボックス(送信者別表示画面)……36
受信詳細画面……37
迷惑メールフィルターを設定する……37
SMS(Cメール)……38
SMSについて……38
SMSを送信する……38
SMSを受信する……38
SMSを返信／転送する……38
電話番号／メールアドレス／URLを利用する……38
SMSを保護／保護解除する……38
SMSの電話番号を電話帳に登録する……38
SMSを検索する……38
SMSを削除する……39
SMSを設定する……39
受信フィルターを設定する……39
Gmail……39
Gmailについて……39
Gmailを起動する……39
Gmailを更新する……39
Gmailを送信する……39
Gmailを受信する……39
Gmailを返信／転送する……39
Gmailのメニューを利用する……39

インターネット……41

インターネット接続……42
インターネットについて……42
データ通信を利用する……42
インターネット利用……42
Webページを表示する……42
Webページを移動する……42
Webページのメニューを利用する……42
クイックメニューを利用する……43
ブックマーク／履歴を利用する……43

ブックマークに登録する……43
ブックマーク／履歴画面のメニューを利用する……43

アプリケーション……45

カメラ……46
カメラをご利用になる前に……46
撮影画面の見かた……46
撮影前の設定をする……46
静止画を撮影／動画を録画する……47
写真／動画……47
データを再生する……47
静止画を編集する……47
Play Music……47
音楽データを再生する……47
音楽を再生する……47
曲や曲に関連する情報を検索する……47
プレイリストを作成する……47
Playムービー&TV……47
Playムービー&TVを利用する……47
テレビ……48
テレビについて……48
テレビ利用時のご注意……48
テレビの初期設定をする……48
テレビを見る……48
テレビの設定をする……48
テレビリンクを利用する……49
テレビを終了する……49
番組表を利用する……49
テレビ番組を視聴予約する……49
予約お知らせを設定する……49
放送エリアを登録・変更する……49
放送エリアを登録する……49
放送エリアを変更する……49
auサービスTOP……50
auサービスTOPを利用する……50
auスマートパス……50
auスマートパスを利用する……50
My au(auお客さまサポート)……50
My auを利用する……50
auスマートサポート……50
auスマートサポートでできること……50
位置検索サポート……50
位置検索サポートについて……50
位置検索をご利用いただくにあたって……50
ご利用上の注意……50
遠隔操作サポート……51
遠隔操作サポートを利用する……51
故障紛失サポート……51
故障紛失サポートを利用する……51
あんしんフィルター for au……51
あんしんフィルターfor auを利用する……51
Androidアプリ……52
Google Playを利用する……52
アプリを検索し、インストールする……52
アプリケーションを管理する……52
提供元不明のアプリのダウンロード……52
YouTube……52
YouTubeを利用する……52
Googleサービス……52
Duoを利用する……52
Duoにログインする……52
Googleマップを利用する……53
ストリートビューを表示する……53
興味のある場所を検索する……53
周辺のスポットを確認する……53
道案内を取得する……53
カレンダー……53
カレンダーを利用する……53
カレンダーのメニューを利用する……53
予定を新規登録する……53
カレンダーを設定する……53
時計……54
アラームを利用する……54
アラームを削除する……54
アラームの設定をする……54
タイマーを利用する……54
ストップウォッチを利用する……54
世界時計を利用する……54
歩数計……55
歩数計を利用する……55
歩数計を設定する……55
電卓……55
電卓を利用する……55
メモ帳……55
メモ帳を利用する……55
メモを確認／編集する……55
メモを選択して削除する……55
音声レコーダー……56
音声レコーダーを利用する……56
音声を再生する……56
音声データを選択して削除する……56
簡易ライト……56
簡易ライトを利用する……56
エコモード……56
エコモードを利用する……56
エコモードを設定する……56
自動設定を利用する……56
テレビde写真……57
テレビde写真を利用する……57
かざして診断……57
かざして診断を利用する……57
スマホの健康診断を利用する……57
使い方練習……57
使い方練習を利用する……57
レッスン一覧から練習する……57

ファイル管理……59

ファイル管理……60
本製品の保存領域について……60
microSDメモリカードを利用する……60
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す……60
microSDメモリカードを取り付ける……60
microSDメモリカードを取り外す……60
USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する……61
メモリの使用量を確認する……61
microSDメモリカードを初期化する……61
File Commander……61
File Commanderを利用する……61
写真をmicroSDメモリカードに移動する……61

データ通信……63

赤外線通信……64
赤外線の利用について……64
赤外線でデータを受信する……64
赤外線でデータを送信する……64
各機能のメニューから赤外線送信する……64
Bluetooth®機能……64
Bluetooth®機能について……64
Bluetooth®機能をオンにする……64
Bluetooth®機器を登録する……64
他のBluetooth®機器から検出可能にする……64
Bluetooth®機器の接続を解除する……64
Bluetooth®機能でデータを送受信する……65
Bluetooth®機能でデータを送信する……65
Bluetooth®機能でデータを受信する……65
無線LAN(Wi-Fi®)機能……65
無線LAN(Wi-Fi®)機能について……65
Wi-Fi®機能をオンにする……65
Wi-Fi®ネットワークに接続する……65
Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する……65
Wi-Fi®機能を切断する……65
Wi-Fi®機能のスリープ設定をする……65
Wi-Fi®機能の詳細設定をする……65
Wi-Fi Direct®を設定する……66
テザリング機能……66
テザリングについて……66
USBテザリング機能を利用する……66
Wi-Fi®テザリング機能を利用する……66
Bluetooth®テザリング機能を利用する……66

機能設定……67

機能設定……68
設定メニューを表示する……68
au設定メニューを表示する……68
無線とネットワークの設定をする……68
機内モードを設定する……69
NFC設定を行う……69
VPNを設定する……69
通話に関する設定をする……70
着信拒否を設定する……70
画面の設定をする……70
スクリーンセーバーを設定する……70
アプリの通知を設定する……70
アプリごとの通知を設定する……70
通知全体の設定をする……70
音の設定をする……71
各種音量を調節する……71
ストレージに関する設定をする……71
電池使用量を表示する……71

メモリの使用状況を確認する 71
位置情報の設定をする 71
スタート画面とセキュリティの設定をする 71
スタート画面の設定を行う 72
SIMカードロックを設定する 72
アカウントの設定をする 72
アカウントを追加／削除する 72
Google 72
言語と入力に関する設定をする 72
バックアップとリセット 73
本製品を初期化する 73
日付と時刻の設定をする 73
日付を設定する 73
時刻を設定する 73
ユーザー補助の設定をする 73
印刷に関する設定をする 73
端末情報に関する設定をする 73

auネットワーク 75

auのネットワークサービス 76
auのネットワークサービスについて 76
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス) 76
着信お知らせサービスについて 76
着信転送サービスを利用する(標準サービス) 76
応答できない電話を転送する(無応答転送) 76
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送) 76
応答できない電話を転送する(圏外転送) 76
手動で転送する(選択転送) 76
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送) 76
着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス) 77
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス) 77
電話番号を通知する 77
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス) 77
番号通知リクエストサービスを開始する 77
番号通知リクエストサービスを停止する 77
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス) 77
お留守番サービスEXについて 77
お留守番サービス総合案内(141)を利用する 78
応答できない電話を転送する(無応答転送) 78
通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送) 78
応答できない電話を転送する(圏外転送) 78
手動で転送する(選択転送) 78
かかってきたすべての電話を転送する(フル転送) 78
電話をかけてきた方が伝言を録音する 78
ボイスメールを録音する 78
伝言お知らせについて 79
伝言・ボイスメールを聞く 79
応答メッセージの録音／確認／変更をする 79
伝言の蓄積を停止する(不在通知) 79
伝言の蓄積停止を解除する 79
お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス) 79
英語ガイダンスへ切り替える 80
日本語ガイダンスへ切り替える 80
三者通話サービスを利用する(オプションサービス) 80
割込通話サービスを利用する(オプションサービス) 80
割込通話サービスを開始する 80
割込通話サービスを停止する 80
割込通話を受ける 80
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス) 81
撃退する電話番号を登録する 81
登録した電話番号を全件削除する 81
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス) 81

海外利用 83

海外利用 84
au世界サービスについて 84
海外利用に関する設定を行う 84
データ通信を利用する 84
海外でVoLTEを利用する 84
データサービス・メッセージサービスの通信料 84
データサービス・メッセージサービスの通信料 84
世界データ定額 84
海外ダブル定額 84
渡航先で電話をかける 84
渡航先で電話を受ける 85
お問い合わせ方法 85
海外からのお問い合わせ 85
サービスエリアと海外でのご利用料金 85
海外で安心してご利用いただくために 85
本製品を盗難・紛失したら 85
海外でのご利用上のご注意 85
渡航先での音声通話に関するご注意 85
通話明細に関するご注意 85
渡航先でのデータ通信料に関するご注意 85
渡航先でのメールのご利用に関するご注意 85
auネットワークサービス(▶P.76)に関するご注意 86
その他ご利用上の注意 86

付録 87

付録 88
ソフトウェアを更新する 88
ご利用上の注意 88
ソフトウェアをダウンロードして更新する 88
故障とお考えになる前に 88
アフターサービスについて 89
修理を依頼されるときは 89
補修用性能部品について 89
無償修理規定 89
故障紛失サポートについて 89
au ICカードについて 89
auアフターサービスの内容について 89
「交換用携帯電話機お届けサービス」(会員)ご負担金 89
SIMロック解除 90
周辺機器 90
イヤホンを使用する 90
主な仕様 90
携帯電話機の比吸収率(SAR)について 91
FCC Notice 91
輸出管理規制 91
NFCサービスご利用上の注意 92
知的財産権について 92
商標について 92
License 93

索引 95

索引 96

注意事項

注意事項 **6**
本製品のご利用について 6
安全上のご注意(必ずお守りください) 6
材質一覧 9
取り扱い上のご注意 10
防水／防塵性能に関するご注意 11
Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について 13
各種暗証番号／PINコードについて 13
データ通信料についてのご注意 14
アプリケーションについて 14
アプリの権限を設定する 14
マナーも携帯する 14

注意事項

本製品のご利用について

- 本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。
- 故障とお考えになる前に、「トラブル診断」を行ってください。
  ホーム画面→[サポート]→[故障紛失サポート]→[トラブル診断]
  または、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。
  https://www.au.com/trouble-check/
- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください（ただし、LTE／WiMAX 2+／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております）。
- 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE（LTEネットワーク）を利用します。3G（回線交換ネットワーク）を利用しての接続はできません。
- 本製品はau世界サービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品（オプション品含む）の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
製造元：京セラ株式会社

memo

◎ 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
◎ 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
◎ 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3の発生が想定される」内容です。

※1 重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 禁止・強制の絵表示の説明

	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。		濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au ICカード、京セラTVアンテナケーブル04、IC Cardトレイ取り出し工具（試供品）、周辺機器共通

⚠危険

高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵性能に関するご注意」

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵性能に関するご注意」

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。
電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。
※ご注意いただきたい例
- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵性能に関するご注意」

充電端子や外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵性能に関するご注意」

オプション品は、auが指定したものを使用してください。
指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠警告

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどなどの原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。
• 電源プラグをコンセントから抜く。
• 本製品の電源を切る。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠注意

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
▶P.11「防水／防塵性能に関するご注意」

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。

本製品を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようご注意ください。
アプリ、通話、データ通信、動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本製品や指定の充電用機器(別売)の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■ 本体について

⚠危険

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。

本体内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本体内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠警告

赤外線ポートを目に向けて赤外線送信しないでください。
目に悪影響を及ぼすなどの原因となります。

赤外線通信利用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故などの原因となります。

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。

本製品内のau ICカードやmicroSDメモリカードの挿入口に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
また、au ICカードやmicroSDメモリカードの挿入場所や向きを間違えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
ハンズフリーに設定して通話すると、本製品から大きな音が出ます。
待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。
大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。
また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。
突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。
電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

ペットなどが本製品に噛みつかないようご注意ください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠注意

京セラTVアンテナケーブル04やストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、auショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。
目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

au ICカードの取り外しの際は、指などの体の一部を傷つけないよう、IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)の先端にご注意ください。
IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)の先端に触れると、けがなどの原因となります。

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について▶P.9「材質一覧」

本製品のカメラスライドカバーを開閉する際は、指などの体の一部を挟まないようご注意ください。
けがなどの原因となります。

本製品のスピーカー、アウトカメラ(レンズ部)に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。
付着物により、けがなどの原因となります。

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠警告

指定の充電用機器(別売)のコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の充電用機器(別売)や卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

雷が鳴り出したら、指定の充電用機器(別売)には触れないでください。
感電などの原因となります。

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の充電用機器(別売)のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

コンセントに指定の充電用機器(別売)を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の充電用機器(別売)に海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。

本製品に指定の充電用機器(別売)を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

ACアダプタに海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。
発火、発熱、感電などの原因となります。

濡れた手で指定の充電用機器(別売)のコードや充電端子、電源プラグ、卓上ホルダに触れないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な指定の充電用機器(別売)で充電してください。
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ:AC100V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)
海外で使用可能なACアダプタ:AC100V～240V(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

指定の充電用機器(別売)をコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く場合は、指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、アダプタを持って抜いてください。
指定の充電用機器(別売)のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

本製品に指定の充電用機器(別売)を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。
充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

使用しない場合は、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電などの原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠注意

コンセントにつないだ状態で指定の充電用機器(別売)に長時間触れないでください。
やけどなどの原因となります。

■ au ICカードについて

⚠注意

au ICカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。
切断面が鋭利になっている場合があり、けがなどの原因となります。

■ 京セラTVアンテナケーブル04について

⚠警告

京セラTVアンテナケーブル04は防水機能を有しておりません。水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。
発熱・火災・感電・電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。

⚠注意

京セラTVアンテナケーブル04のプラグにゴミが付着しないようにご注意ください。
故障の原因となります。

京セラTVアンテナケーブル04のプラグは本体のイヤホンマイク端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。
故障の原因となります。

テレビ視聴時以外では京セラTVアンテナケーブル04を取り外ししてください。
京セラTVアンテナケーブル04を取り付けたままで通話などをすると、本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。

京セラTVアンテナケーブル04の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について▶P.9「材質一覧」

■ IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)について

⚠警告

IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)の先端部は、尖っています。本人や他の人に向けて使用しないでください。
本人や他の人に当たり、けがや失明の原因となります。

⚠注意

IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について▶P.9「材質一覧」

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤飲、窒息、傷害などの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

■ BASIO3本体

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース(ディスプレイ側)、カメラスライドカバー	PA樹脂	アクリル系UV硬化塗装
外装ケース(底面部、背面部)、電話ボタン／ホームボタン／メールボタン、カード挿入口カバー、音量上／下ボタン、カメラボタン、カメラパネル	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
ディスプレイ、アウトカメラ(レンズ部)	化学強化ガラス	防汚処理
電源ボタン	アルミ合金	アルマイト処理
充電端子	銅合金	金メッキ処理(下地Niメッキ)
撮影ライト／簡易ライト	PMMA樹脂	−
ICカードトレイ	POM樹脂	−

■ 卓上ホルダ(KYV43PUA)

使用場所	使用材料	表面処理
外装	ABS樹脂	−
フック、レバー	POM樹脂	−
端子	銅合金	金メッキ処理(下地Niメッキ)
ゴム脚	ウレタンフォーム	−

■ 京セラTVアンテナケーブル04(04KYHSA)

使用場所	使用材料	表面処理
プラグ部	銅合金	金メッキ処理(下地Niメッキ)
コード	TPO	−

■ かざして診断カード(KYV43NXD)

使用場所	使用材料	表面処理
外装	PET	ニス加工

■ IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)

使用場所	使用材料	表面処理
外装	PA樹脂	−

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au ICカード、京セラTVアンテナケーブル04、IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)／防塵性能(IP5X)を発揮するために、カード挿入口カバーをしっかりと取り付けた状態で、ご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、指定の充電用機器(別売)、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴が付いたままでカード挿入口カバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  (周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
  ・充電用機器
  ・周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  (周囲温度5℃～35℃、湿度35%～90%の範囲内でご使用ください。ただし、36℃～40℃であれば一時的な使用は可能です。)
  ・本製品本体
  ・au ICカード(本製品本体装着状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 外部接続端子、イヤホンマイク端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えてそれぞれの接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障の原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■ 本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。
  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク㊣」が本製品本体内で確認できるようになっております。
  ホーム画面→[ツール]→[設定]→[端末情報]→[認証情報]
  本製品内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- カメラのレンズやディスプレイの内側が温度や湿度などの使用環境によってくもる(結露する)ことがあります。本製品の故障や不具合ではありません。
- カメラのレンズやディスプレイの内側が結露しやすい環境について
  以下のような温度の変化が大きい環境、または湿度が高い環境では、レンズやディスプレイの内側がくもる(結露する)場合があります。
  ・気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
  ・寒い場所から屋内などの温かい場所に持ち込む
  ・湿度が高い環境でカード挿入口カバーなどを開閉する
- くもりを取る方法
  高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所でカード挿入口カバーを開けた状態で放置し、周囲の温度になじませるとくもりが取れます。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 光センサーを指でふさいだり、光センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に光センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーが汚れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でセンサー部を乾拭きしてください。
- 通常はカード挿入口カバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- 本製品内のau ICカードやmicroSDメモリカードの挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口(マイク)、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると故障の原因となります。
- カメラスライドカバーのスライド部に物が挟まったり、無理な力が加わらないようにしてください。故障や破損の原因となりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

■ タッチパネルについて

- ディスプレイ表面が汚れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について

Li-ion 00

（本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。）
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などにより異なります。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について
- 指定の充電用機器（別売）の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、指定の充電用機器（別売）のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。指定の充電用機器（別売）やUSB接続ケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。
- 卓上ホルダを自動車内で使用しないでください。落下、運転の妨げにより事故の原因となります。卓上ホルダは室内の安定した場所での使用を前提とします。

■ au ICカードについて
- au ICカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au ICカードを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au ICカードにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因になります。
- カードに損傷を与えるようなこと（高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど）はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■ IC Cardトレイ取り出し工具（試供品）について
- IC Cardトレイ取り出し工具（試供品）に無理な力がかからないようにご使用ください。故障、破損の原因となります。

■ カメラ機能について
- 大切な撮影などをするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■ 著作権・肖像権について
- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い
- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

■ FCC認証情報
- 本製品は、Federal Communications Commission（FCC）の認証を受けています。
  本製品のFCC IDはJOYEA23です。
  また、以下の方法でも確認できます。
  確認方法：
  ホーム画面→[ツール]→[設定]→[端末情報]→[認証情報]

防水／防塵性能に関するご注意

本製品はカード挿入口カバーが完全に装着された状態でIPX5※1相当、IPX8※2相当の防水性能およびIP5X※3相当の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。
正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての注意事項」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

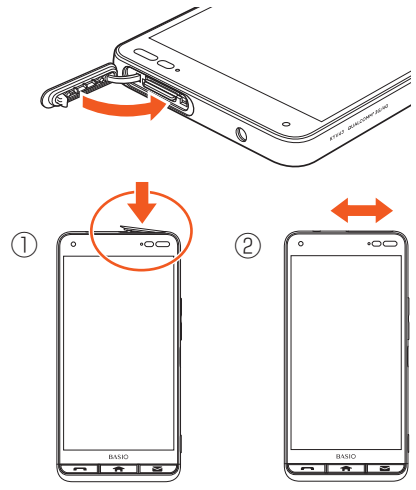
※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル/分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。
※2 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。
※3 IP5X相当とは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れて撹拌（かくはん）させ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全に維持することを意味します。（塵埃（じんあい）の侵入を完全に防止するわけではありません。）

すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての注意事項

- カード挿入口カバーをしっかり閉じてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- 手や本製品が濡れている状態でのカード挿入口カバーの開閉は絶対にしないでください。
- 水道水以外の液体（海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など）に浸けたり、かけたりしないでください。また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。
  かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口（マイク）、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- カメラスライドカバーのスライド部に砂などが入ると、開閉の感触が悪くなったり、異音がするおそれがあります。
- 水中で使用しないでください。
- お風呂場、台所など、湿気の多い場所での長時間の使用、保管はしないでください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 送話口（マイク）・スピーカーなどに水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- 本製品は水に浮きません。
- **カード挿入口カバーについて**
  - カード挿入口カバーはしっかりと閉じ、完全に装着した状態にしてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
  - カード挿入口カバーを開閉する際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
  - カード挿入口カバーに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。

カード挿入口カバーの閉じかた
カバーのヒンジを収納してから①カバー全体を指の腹で押し込んでください。②矢印の方向になぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。



● 水以外が付着した場合
- 万一、水以外(海水・洗剤・アルコールなど)が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
- やや弱めの水流(6リットル/分以下)で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温(5℃～35℃)の水道水で洗えます。
- 汚れた場合、ブラシなどは使用せず、カード挿入口カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。
- カメラスライドカバーのスライド部を洗う際は、カバーを開いた状態で容器にためた真水につけ、本体を揺すって洗ってください。

● 水に濡れた後は
- 水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
- 寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。

● ゴムパッキンについて
- カード挿入口カバー周囲のゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。
- カード挿入口カバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 水以外の液体(アルコールなど)が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
- カード挿入口カバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。
- 防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップまでご連絡ください。

● 耐熱性について
- 熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。

● 防塵について
- 塵埃が本製品に付着したときには、直ちに水で洗い流すなどして完全に塵埃を除去してからご使用ください。また、塵埃が本製品に付着した状態でカメラスライドカバーをスライドすると、カメラスライドカバーのスライド部が正常に動作しないなど故障をきたす場合があります。

● 衝撃について
- 本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、受話部(レシーバー)、送話口(マイク)、スピーカーなどをとがったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、浸水の原因となります。

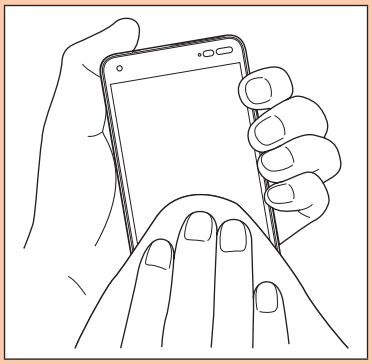
充電のときは

付属品、オプション品は防水/防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。
- 本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本体が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子にUSB Type-Cプラグを接続したり、卓上ホルダに差し込んでください。
- 外部接続端子に水滴や異物が入っていないか確認の上、ご使用ください。
- 濡れた手で指定の充電用機器(別売)、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)、卓上ホルダは、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりでは使用しないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。

水に濡れたときの水抜きについて

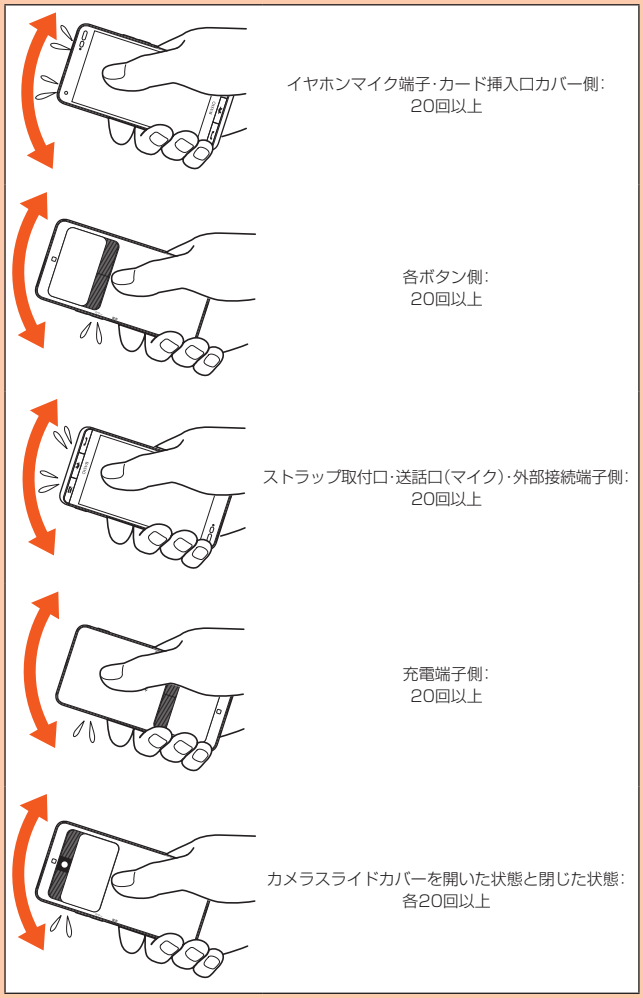
本製品を水に濡らした場合、必ず送話口(マイク)、スピーカーの水抜きをしてください。そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
次の手順で水抜きを行ってください。

1 本製品表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。



2 振りかたについて

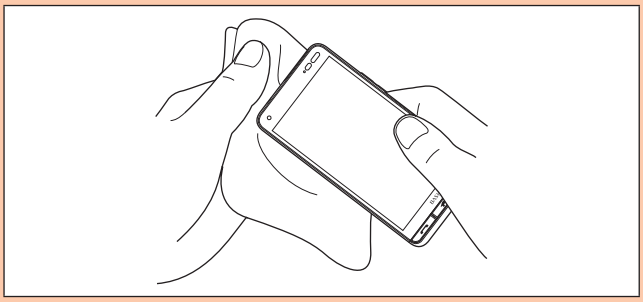
①本製品をしっかり持ち、水が出なくなるまで本製品を矢印方向に振ります。
※ 振る際は周りに危険がないことを確認してください。
※ 本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。



②出てきた水分を拭き取ります。
※ 送話口(マイク)、スピーカー、外部接続端子部、イヤホンマイク端子部や各ボタンは特に水が抜けにくいため、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。

③乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置します。

3 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当て、送話口(マイク)・スピーカー・外部接続端子部・イヤホンマイク端子部などの隙間に入った水分を拭き取ってください。



4 本製品から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させてください。

上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。
また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

Bluetooth®／無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国／地域ではBluetooth®機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内規格、FCC規格に準拠し、認定を取得しています。
- 一部の国／地域では無線LAN(Wi-Fi®)機能の使用が制限されることがあります。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
◎ 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
◎ Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- Bluetooth®機能:2.4FH1/XX1

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

- 無線LAN(Wi-Fi®)機能:2.4DS4/OF4

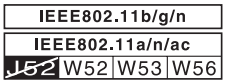
本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

- W52 (5.2GHz帯／36, 38, 40, 42, 44, 46, 48ch)
- W53 (5.3GHz帯／52, 54, 56, 58, 60, 62, 64ch)
- W56 (5.6GHz帯／100,102,104,106,108,110,112,116,118,120, 122,124,126,128,132,134,136,140ch)



各種暗証番号／PINコードについて

各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。
なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

■ 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■ スタート画面のセキュリティの設定

使用例	セキュリティの設定／解除をする場合
初期値	お買い上げ時の初期設定に従う

※ なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau ICカードの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は入力が不要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は入力が必要な設定に変更できます。
- 入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更の上ご使用ください。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au ICカードが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- PINコードは「データの初期化」を行ってもリセットされません。

<この部分をコピーしてご使用ください>

【パスワード記載欄】

GoogleアカウントID @gmail.com	セキュリティ(スタート画面):ロックNo.
Googleアカウントパスワード	セキュリティ(スタート画面):パスワード
au IDアカウントID	セキュリティ(スタート画面):パターン
au IDアカウントパスワード	
FacebookアカウントID	
Facebookアカウントパスワード	

※ アカウントやパスワードは、他人に知られることのないよう厳重に管理してください。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、メールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
  ※ 無線LAN(Wi-Fi®)の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないとご利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードにならなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションはアプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、操作してください。

例:写真／動画を初めて起動した場合

1 アクセス権限の確認画面→[許可しない]／[許可]
通常は「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。
利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

アプリごと／機能ごとに設定する

■ アプリごとに設定する場合

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[アプリ]

2 アプリを選択→[権限]→機能を設定

■ 機能ごとに設定する場合

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[アプリ]

2 [メニュー]→[詳細設定]→[アプリの権限]→機能を選択→アプリを設定

memo

◎ 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
◎ アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
◎ 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

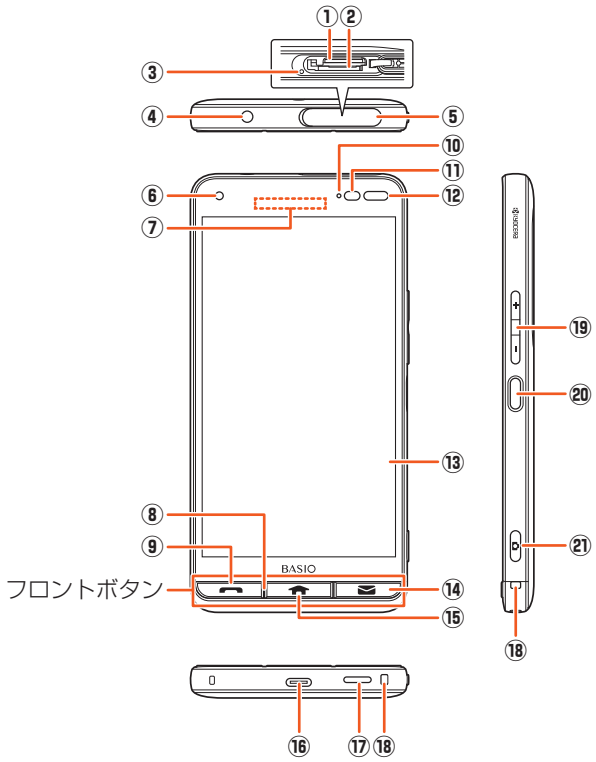
■ 周りの人への配慮も大切

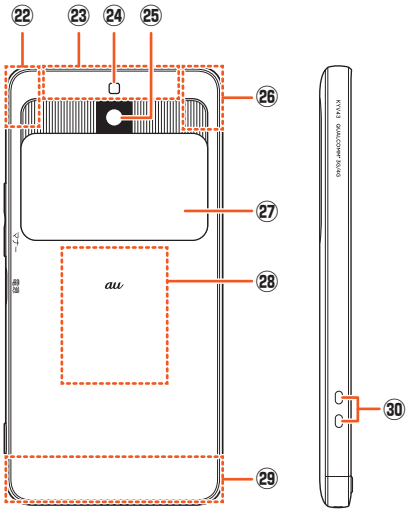
- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

ご利用の準備

ご利用の準備 16
各部の名称と機能 16
au ICカードについて 17
au ICカードを取り付ける／取り外す 17
充電する 18
電源を入れる／切る 19
スタート画面について 20
初期設定を行う 20

各部の名称と機能

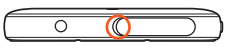




① microSDメモリカードスロット
② au ICカード挿入口
③ **ノイズキャンセル用マイク**
ノイズキャンセル時に周囲の音を感知します。通話中に指などでふさがないでください。
④ **イヤホンマイク端子**
京セラTVアンテナケーブル04やイヤホン(市販品)などの接続時に使用します。
⑤ **カード挿入口カバー**
⑥ **インカメラ(レンズ部)**
⑦ **受話部(レシーバー)**
スマートソニックレシーバー(▶P.17)で通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。
⑧ **送話口(マイク)**
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中や動画の録画中は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。
⑨ **電話ボタン**
電話をかけるときや受けるときに使用します。また、不在着信があるときには点滅してお知らせします。
⑩ **着信ランプ／充電ランプ**
着信時には設定内容に従って点滅します。
充電中は赤色で点灯します。
⑪ **近接センサー／光センサー**
近接センサーはタッチパネルの誤動作を防ぎます。
また、光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。
⑫ **赤外線ポート**
赤外線通信で、データの送受信を行います。
⑬ **ディスプレイ(タッチパネル)**
⑭ **メールボタン**
auメール／SMSを送信するときや確認するときに使用します。また、auメール／SMS受信時には点滅してお知らせします。
⑮ **ホームボタン**
ホーム画面に戻ります。
⑯ **外部接続端子**
TypeC共通ACアダプタ01(別売)などの接続時に使用します。
⑰ **スピーカー**
着信音やアラーム音などが聞こえます。
⑱ **ストラップ取付口**
⑲ **音量上／下ボタン**
音量を調節します。(音量下ボタン)を1秒以上長く押すと「マナーモード」(▶P.26)を設定できます。
⑳ **電源ボタン**
電源オン／オフやスリープモードの移行／解除などに使用します。
㉑ **カメラボタン**
静止画撮影のフォーカスロック／シャッターとして使用します。
㉒ **内蔵Bluetooth®／Wi-Fi®アンテナ部※**
㉓ **内蔵サブアンテナ部※**
㉔ **撮影ライト／簡易ライト**
㉕ **アウトカメラ(レンズ部)**
㉖ **内蔵GPSアンテナ部※**
㉗ **カメラスライドカバー**
アウトカメラのレンズ部を保護します。下にスライドすると自動的にカメラが起動します。
㉘ **NFCアンテナ部※**
同梱のかざして診断カードをかざして、スマホの健康診断を利用できます。
㉙ **内蔵メインアンテナ部※**
㉚ **充電端子**
卓上ホルダを使用して充電するときの端子です。

※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

■カード挿入口カバーの開きかた



○部分に軽く爪をかけて開いてください。奥まで爪を差し込むとパッキン部に傷を付けてしまうためご注意ください。

memo

◎ 本製品の背面カバーは取り外せません。背面を無理に取り外そうとすると、破損や故障の原因となります。
◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切り再起動する場合は、「強制的に電源を切り再起動する」(▶P.19)をご参照ください。

フロントボタンについて

本製品は、電話をかけたり、ホーム画面を表示したり、メールの作成が便利にできるように、ディスプレイの下部にフロントボタン((電話ボタン)、(ホームボタン)、(メールボタン))を搭載しています。
また、／／を押してスリープモードを解除することもできます。
スリープモード中に各ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。
:電話アプリを起動します。
:ホーム画面を表示します。
:メールアプリの選択画面を表示します。
- 電話がかかってきたときや不在着信があるときは が点滅し、点滅中に を押すと電話に出たり、履歴を確認したりすることができます。
- auメールやSMSを受信したときは が点滅し、点滅中に を押し、「auメール」／「SMS」をタップすると受信メールを確認できます。

memo

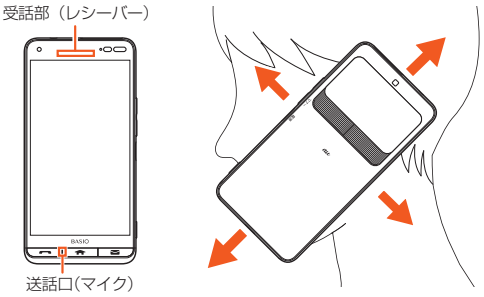
◎ 誤動作防止のため、ディスプレイ消灯時のフロントボタンの操作を無効にすることもできます。詳しくは、「フロントボタン操作無効」(▶P.73)をご参照ください。

スマートソニックレシーバーについて

本製品は、ディスプレイ部を振動させて音を伝えるスマートソニックレシーバーを搭載しています。受話部(レシーバー)に穴はありませんが、通常通りご使用いただけます。

■ 耳への当てかた

下図のように、本製品の受話部(レシーバー)付近を耳に当て、耳を覆うことで周囲の騒音を遮へいし、音声がより聞き取りやすくなります。ご自身の聞こえかたや周囲の環境に合わせて本製品の位置を上下左右に動かし、調整してください。

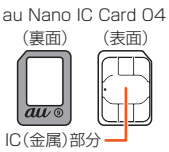


memo

◎ 通話時に本製品の送話口(マイク)を指などでふさがないようにご注意ください。
◎ イヤホン(市販品)を接続している場合は、スマートソニックレシーバーを利用した音声ではなく、イヤホンからの音声に切り替わります。
◎ ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼らないでください。受話音が聞き取りにくくなる場合があります。
◎ 聞き取りやすさには個人差があります。
◎ 周囲の環境により、聞き取りやすさの効果は異なります。

au ICカードについて

au ICカードにはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Nano IC Card 04に対応しております。



memo

◎ au ICカードを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au ICカードのIC(金属)部分には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け、取り外しはしないでください。

◎ au ICカードを正しく取り付けていない場合やau ICカードに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
◎ 取り外したau ICカードはなくさないようにご注意ください。
◎ 変換アダプタを取り付けたau ICカードを挿入しないでください。故障の原因となります。

■ au ICカードが挿入されていない場合

au ICカードが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、ステータスバーに「[?]」が表示されます。
- 電話をかける※/受ける
- SMSの送受信
- auメールの初期設定および送受信
- PINコード設定
- 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

※ 110(警察)・119(消防機関)・118(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。ただし、発信時にGSM/UMTS/LTEローミングエリアで電波の強さが「圏外」以外の場合は、発信可能です(緊急通報番号は国によって異なるため、発信してもつながらない場合もあります)。

■ PINコードによる制限設定

au ICカードをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードのロックにより他人の使用を制限できます(▶P.13「PINコードについて」)。

au ICカードを取り付ける/取り外す

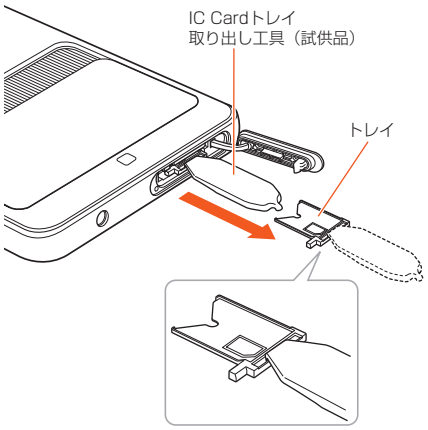
- au ICカードの取り付け/取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。
- au ICカードはmicroSDメモリカードを本体から取り外した状態で取り付け/取り外ししてください。

au ICカードを取り付ける

- au ICカードを取り付けるときは、同梱のIC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をご使用ください。

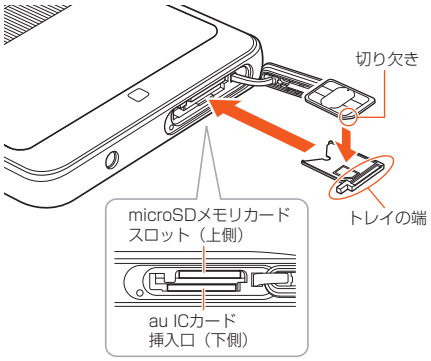
1 本製品の電源を切り、カード挿入口カバーを開ける

2 IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をトレイの端にかけ、トレイを引き出す



3 au ICカードの切り欠きの位置を合わせてトレイに載せ、トレイをau ICカード挿入口(下側)にまっすぐに挿入する

トレイを本体に挿入後、IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をトレイの端にかけて奥まで押し込んでください。
- IC(金属)部分を上にしてください。
- au ICカードはトレイの端に乗り上げないように、無理な力を加えずにまっすぐ奥まで押し込んでください。トレイがうまく入らない場合は無理に押し込まず、一度抜いてから先端を少し浮かせて再度入れ直してください。トレイに乗り上げるとau ICカードを認識しません。



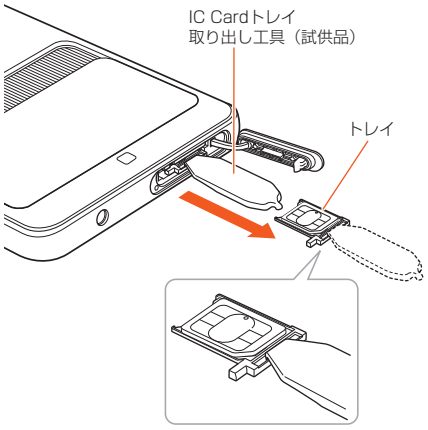
4 カード挿入口カバーを閉じる

au ICカードを取り外す

• au ICカードを取り外すときは、同梱のIC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をご使用ください。

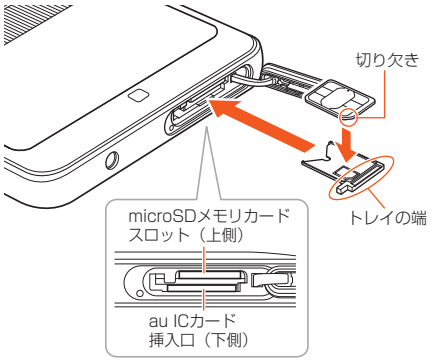
1 本製品の電源を切り、カード挿入口カバーを開ける

2 IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をトレイの端にかけ、トレイを引き出す



3 au ICカードを取り出し、トレイをau ICカード挿入口(下側)にまっすぐに挿入する

トレイを本体に挿入後、IC Cardトレイ取り出し工具(試供品)をトレイの端にかけて奥まで押し込んでください。



4 カード挿入口カバーを閉じる

充電する

お買い上げ時には、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。赤色に点灯していた充電ランプが緑色に変わったら充電完了です。

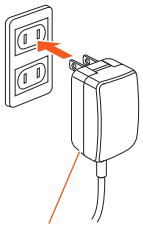
memo

◎ ACアダプタおよび卓上ホルダは、防水対応していません。本製品が濡れているときは、絶対に充電しないでください。
◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
◎ 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
◎ 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があり、電池のもちが悪くなります。
◎ 本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。
◎ 接続端子に金属製のアクセサリーや導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。

指定のACアダプタを使って充電する

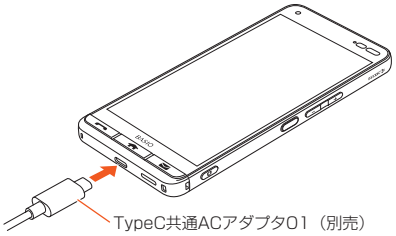
TypeC共通ACアダプタ01(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器」(▶P.90)をご参照ください。

1 TypeC共通ACアダプタ01(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V～240V)に差し込む



2 TypeC共通ACアダプタ01(別売)のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「🔌」が表示されます。
充電が完了すると、充電ランプの色が緑色に変わります。



3 充電が完了したら、外部接続端子からTypeC共通ACアダプタ01(別売)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜く

4 TypeC共通ACアダプタ01(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

memo

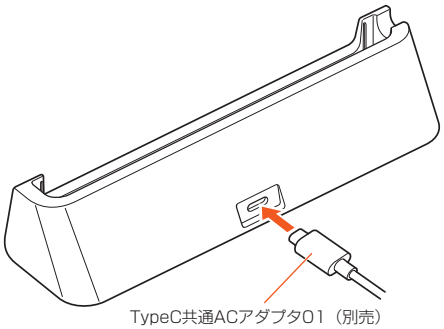
◎ 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。

卓上ホルダを使って充電する

同梱の卓上ホルダとTypeC共通ACアダプタ01（別売）を接続して充電する方法を説明します。指定の充電用機器（別売）については、「周辺機器」（▶P.90）をご参照ください。

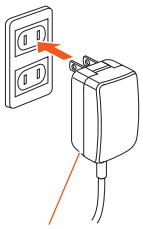
1 TypeC共通ACアダプタ01（別売）のUSB Type-Cプラグを卓上ホルダの接続端子にまっすぐに差し込む

矢印の方向にまっすぐに差し込んでください。



TypeC共通ACアダプタ01（別売）

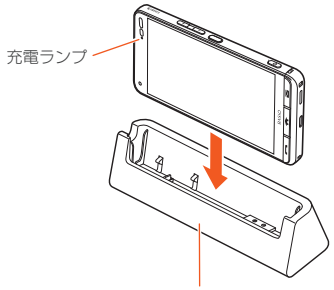
2 TypeC共通ACアダプタ01（別売）の電源プラグをコンセント（AC100V～240V）に差し込む



TypeC共通ACアダプタ01（別売）

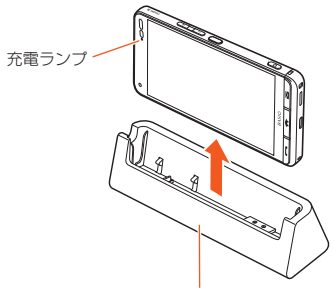
3 本製品のディスプレイ側を正面に向け、充電端子側を下にして卓上ホルダに取り付ける

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。
充電が完了すると、充電ランプの色が緑色に変わります。



卓上ホルダ

4 充電が完了したら、本製品を卓上ホルダから取り外す



卓上ホルダ

5 TypeC共通ACアダプタ01（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

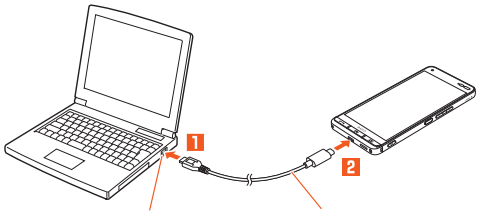
パソコンを使って充電する

USB Type-Cケーブル（市販品）を利用して、本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

1 パソコンが完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル（市販品）をパソコンのUSBポートに接続

2 USB Type-Cケーブル（市販品）のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。
充電が完了すると、充電ランプの色が緑色に変わります。
・パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。



パソコンのUSBポート　USB Type-Cケーブル（市販品）

3 充電が完了したら、USB Type-Cケーブル（市販品）を外部接続端子とパソコンから取り外す

memo

◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。
◎ 指定のACアダプタでの充電と比べて時間が長くかかることがあります。また、お使いのパソコンによっても充電時間は変動します。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 着信ランプが点灯するまで（電源ボタン）を長く押す

スタート画面が表示されます（▶P.20）。
・初めて電源を入れたときは、「au初期設定」などの初期設定が起動します。「初期設定を行う」（▶P.20）を参照して、必要に応じて設定を行ってください。

memo

◎ 電源を入れてから各種ロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
◎ 初回起動時に「au初期設定」の操作をスキップしても、後から設定することができます（▶P.20）。

電源を切る

1 （電源ボタン）を1秒以上長く押す

2 [電源を切る]→[OK]

強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

1 （電源ボタン）と（音量上ボタン）を同時に11秒以上長く押す

memo

◎ 強制的に電源を切り再起動すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

セーフモードについて

セーフモードとは、なんらかの不具合により本製品に問題が生じたときのための診断用の起動モードです。

1 （電源ボタン）を1秒以上長く押す

2 [電源を切る]をロングタッチ→[OK]

電源が切れ、自動的にセーフモードで再起動します。
セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。
・セーフモードを起動するときは、事前に必要なデータをバックアップしてください。
・お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
・セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合はセーフモードを起動しないでください。

memo

◎ 電源が切れているときは、着信ランプが点灯するまで（電源ボタン）を長く押す→ロゴが表示されたら（音量下ボタン）を押し続けると、本製品をセーフモードで起動することができます。
◎ セーフモードを解除するには、電源を切り、再度電源を入れます。

スタート画面について

スタート画面は、電源を入れたときやスリープモードを解除したときに表示されます。

スタート画面からホーム画面を表示する

スタート画面が表示されたときは、次の操作でホーム画面を表示できます。

1 画面下部を左にスライド

ホーム画面が表示されます(▶P.22)。またはスリープモードに移行する前の画面が表示されます。

- 画面上部に「🔒」が表示されている場合は、スタート画面の「セキュリティの種類」(▶P.71)が「パターン」/「ロックNo.」/「パスワード」に設定されています。セキュリティロックを解除するとホーム画面が表示されます。
- Smart Lock(▶P.72)が設定されている場合は、画面上部の「🔒」をタップすると、Smart Lockが一時的に解除され、設定しているセキュリティ解除方法が実行されます。
- ホーム画面の説明が表示された場合は、内容を確認し「OK」をタップしてください。

《スタート画面》

① **時計表示**

② **通知表示**

不在着信などのお知らせを表示します。

- 通知をダブルタップすると通知されたアプリを起動します。

memo

◎「セキュリティの種類」(▶P.71)が「なし」の場合は、スタート画面は表示されません。

◎ 背景を変更したい場合は「画面の設定をする」(▶P.70)をご参照ください。

スリープモードについて

画面のバックライト点灯中に(電源ボタン)を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 スリープモード中に(電源ボタン)

スタート画面が表示されます(▶P.20)。

memo

◎ スリープモードに移行するまでの時間を変更するには、ホーム画面→[ツール]→[設定]→[ディスプレイ]→[スリープ]と操作して、時間を選択します。

◎ スリープモード中に(電源ボタン)を押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行います。

詳しくは、同梱の『かんたんマニュアル』をご参照ください。

- 設定を行わない場合は、各操作で「スキップ」「次へ」などをタップした後、画面の指示に従って操作してください。

1 「日本語(日本)」が表示されていることを確認して[使ってみる]

- 「日本語(日本)」をタップすると、使用する言語を変更できます。

2 本製品をセットアップする

すでにご使用のAndroid端末からGoogleアカウントやアプリなどのコピーができます。

3 Wi-Fi®ネットワークを設定

- モバイルネットワークやWi-Fi®ネットワークを使用しない場合は、[セットアップ時にネットワークを使用しない]→[続行]と操作すると、名前の入力画面が表示されて入力した後に手順5に進みます。以降は画面の指示に従って操作してください。

4 Googleアカウントの設定を行う

5 スマートフォンの保護の設定を行う

6 Googleサービスの設定を確認する

7 Googleアシスタントの設定を行う

8 その他の設定項目の設定を行う

9 位置情報取得について確認する

10 「au初期設定」を必要に応じて設定

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリを初めて起動したときなどに表示されます。

1 Googleアカウントのセットアップ画面

■ Googleアカウントをすでにお持ちの場合

2 メールアドレスまたは電話番号を入力→[次へ]

3 パスワードを入力→[次へ]

4 画面の指示に従って操作

■ Googleアカウントをお持ちではない場合

2 [その他の設定]→[アカウントを作成]→画面の指示に従って操作し、Googleアカウントを登録

■ ログインできない場合

1 ホーム画面→[インターネット]→URL表示欄を選択→「http://www.google.com/accounts/recovery/」を入力→[実行]

2 画面の指示に従って操作

memo

◎ Googleアカウントをセットアップしない場合でも本製品をお使いになれますが、Duo、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。

◎ ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。

au IDを設定する

au IDを設定すると、auスマートパスやGoogle Playに掲載されているアプリの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[au設定メニュー]→[au ID]

2 画面の指示に従って操作し、au IDを設定

au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定します。

au IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。

画面の指示に従って操作してください。

基本操作

基本操作 **22**
タッチパネルの使いかた 22
タッチキーの使いかた 22
縦／横画面表示を切り替える 22
ホーム画面について 22
ホーム画面を利用する 23
かんたん設定について 24
本製品の状態を知る 25
最近使用したアプリを起動する 25
マナーモードを設定する 26
メニューを表示する 26
スクリーンショットを撮影する 26
画面メモを利用する 26
ダイレクトボタンを利用する 26
文字入力 **27**
文字を入力する 27
ソフトウェアキーボードを切り替える 27
文字入力の便利な機能を利用する 29
iWnn IMEの各種設定を行う 29
iWnn IMEケータイ入力の設定を行う 30

基本操作

タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - シート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)やシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作

■ タップ／ダブルタップ

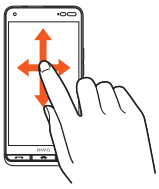
画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

■ ロングタッチ

項目などに指を触れた状態を保ちます。

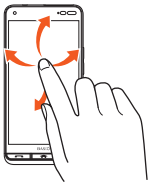
■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



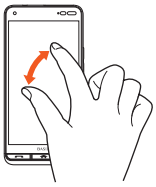
■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



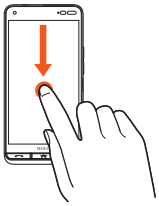
■ ズームイン／ズームアウト

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり(ズームイン)、閉じたり(ズームアウト)します。



■ ドラッグ

項目やアイコンを移動するときなど、画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



タッチキーの使いかた

画面下部に次のタッチキーが表示されます。

表示	概要
戻る	1つ前の画面に戻ります。
画面メモ	現在表示されている画面を画像として保存(スクリーンショット)します。 ▶P.26「画面メモを利用する」
アプリ履歴	アプリ使用履歴画面を表示します。

縦／横画面表示を切り替える

「画面の自動回転」をオンに設定すると、本製品の向きに合わせて、自動的に縦／横画面表示を切り替えることができます。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[ディスプレイ]→「画面の自動回転」を「ON」にする

memo

◎ 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
◎ アプリによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

ホーム画面について

ホーム画面は、複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。
また、□を押すと、メインホーム画面を表示できます。

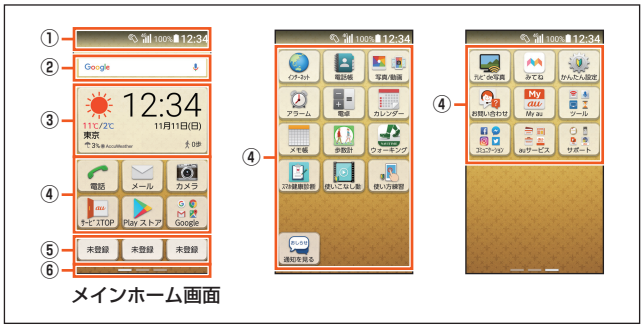
メインホーム画面

memo

◎ ホーム画面の壁紙を変更したい場合は、「画面の設定をする」(▶P.70)をご参照ください。
◎ 「ウィジェット画面にウィジェットを追加する」(▶P.24)でウィジェット画面を追加した場合は、ホーム画面を左にスライド/フリックすると、ウィジェット画面が表示されます。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は、お買い上げ時のアイコン配置タイプのほかに「基本パターン」「初心者向け」から選択することもできます(▶P.24)。
お買い上げ時は、以下の配置タイプがホーム画面に設定されています。



《ホーム画面(お買い上げ時)》

① **ステータスバー**
② **クイック検索ボックス**
③ **時刻／天気／歩数**
④ **アプリ／フォルダ**
インストールされているアプリのアイコン／フォルダが表示されます。
⑤ **ダイレクトボタン**
⑥ **インジケータ**

memo

◎ 本書では、お買い上げ時の配置タイプのホーム画面からの操作を例に説明しています。
◎ ダウンロードしたアプリは、ホーム画面に追加されます。
◎ アプリの並べ替えについては、「ホーム画面のアプリ／フォルダ／ショートカットを並べ替える」(▶P.24)をご参照ください。
◎ ウィジェットを追加するには、「ホーム画面設定」の「ウィジェットの追加」(▶P.24)をご参照ください。
◎ メールやSMSなどの新着／未読メールがある場合、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。

フォルダについて

◎ 複数のアプリが収納されたアイコンを「フォルダ」と呼びます。フォルダをタップすると、収納されたアプリを選択できます。フォルダを閉じるときは、[閉じる]をタップします。

天気アプリを利用する

天気情報を確認できます。

1 ホーム画面→「時刻／天気／歩数」の部分をタップ
天気アプリが起動します。

2 天気アプリの画面で天気の詳細を確認

memo

◎ 天気アプリの画面で[メニュー]→[都市選択]→[メニュー]→[都市追加]と操作すると、その他の地域の天気情報を確認できます。

ホーム画面の主なアプリ／フォルダについて

ホーム画面には、よく使うアプリが表示されています。その他のアプリは、各フォルダにまとめられています。
ホーム画面を左右にスライド／フリックして、利用するアプリ／フォルダを選択してください。

アイコンの表示名	ページ
電話	P.32
メール	
auメール※	P.36
SMS	P.38
カメラ	P.46
サービスTOP ニュース、天気、乗換案内などはもちろん、プレゼントやクーポン、auのスマートフォンを楽しむためのお得で便利な情報をお届け。	P.50
Play ストア	P.52
Google	
Google キーワードから本製品内やWebページを対象に検索できます。	−
Chrome	−
Gmail	P.39
マップ	P.53
YouTube	P.52
ドライブ Googleドライブに保存したファイルを閲覧・編集できます。	−
Play Music	P.47
Playムービー&TV	P.47
Duo	P.52
フォト 撮影した静止画や動画を表示・編集したり、Google+™にバックアップすることができます。	−
音声検索 Google音声検索を利用できます。	−
インターネット	P.42
電話帳	P.33
写真／動画	
写真／動画	P.47
画面メモ	P.26
アラーム	P.54
電卓	P.55
カレンダー	P.53
メモ帳	P.55
歩数計	P.55
ウォーキング 健康になるために歩きたい人のモチベーションを上げるアプリです。	−
スマホ健康診断 同梱されているかざして診断カードにかざすことで、スマホの健康診断を起動して、本製品の状態を確認することができます。	P.57
使いこなし動画 本製品の使いかたを動画で確認することができます。	−
使い方練習 スマホの操作を練習することができます。	P.57
通知を見る	−
テレビde写真	P.57
みてね スマホで撮った写真や動画をかんたん共有、整理。 家族で楽しく会話したり成長をふりかえることができます。	−
かんたん設定	P.24
お問い合わせ auへ問い合わせをすることができます。	−
My au auのご利用料金、データ通信量、ご契約内容、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種お手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。	P.50
ツール	
赤外線	P.64
音声レコーダー	P.56
テレビ	P.48
タイマー	P.54
ストップウォッチ	P.54
簡易ライト	P.56
世界時計	P.54
エコモード	P.56
File Commander	P.61
OfficeSuite Word、Excelなどのファイルを閲覧できます。	−
ダウンロード ダウンロードしたデータの管理を行うことができます。	−
設定	P.68
au Wi-Fi接続ツール auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。	−
天気 現在地や設定したエリアの天気情報を確認できます。	−

アイコンの表示名	ページ
コミュニケーション	
Facebook 友達の近況チェックや写真・動画のアップロード、知り合いやグループとのメッセージのやりとりができる無料の『実名制』コミュニケーションアプリです。	−
Messenger※ 友達や知り合いとリアルタイムにメッセージのやりとりやグループチャット・ビデオチャットができる無料アプリです。	−
Instagram※ 写真や動画を自由に編集・投稿し、ビジュアルを通して家族や友達、そして世界中の利用者と簡単につながることができるアプリです。	−
Twitter Twitterは多くの人々とつながったり、自分を表現したり、大好きなものについていろいろ知ることができる無料のアプリです。	−
auサービス	
auスマートパス 「auスマートパスプレミアム／auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。お得で、楽しく、あんしんなスマホライフを提供します。	P.50
ニュースパス たくさんの新聞・雑誌・テレビ・ネットのニュース記事の中から、旬なニュースや、あなたの興味や関心にあった記事を読むことができるニュースアプリです。	−
au Market auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。	−
au WALLET au WALLETをより便利に使いこなすためのアプリです。 au WALLET プリペイドカードへのチャージやカード残高の確認、au WALLET クレジットカードの請求額の確認、auかんたん決済の情報の確認、ポイントの残高・お買い物履歴・特典の確認などをご利用いただけます。	−
au WALLET Market au WALLET Marketは、日常生活をより豊かにする「こだわりのもの」をお店でもネットでも気軽にご購入いただける、"お買い物上手"なショッピングサービスです。	−
Wowma! for au 日用品・グルメ・ファッションから家電まで2800万品の品ぞろえからお買い物が楽しめるau公式のショッピングアプリです。	−
Player(LISMO) うたパスアプリをより便利にお楽しみいただくための音楽アプリです。	−
サポート	
取扱説明書 本体内で詳しい操作方法を確認できるアプリケーションです。	−
使い方ガイド 本製品の詳しい使いかたを動画や画像で確認できます。	−
データお預かり 写真やアドレス帳などスマートフォンに保存されているさまざまなデータをauのサーバーに預けたり、microSDメモリカードに保存したりするアプリです。機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。	−
あんしんフィルターfor au お子さまが「スマートフォン」「タブレット」「携帯電話」などを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。	P.51
故障紛失サポート スマートフォンの調子が悪いときのトラブル診断やかんたん検査、簡単操作で故障紛失サポートセンターへ電話相談、インターネットでの交換申込、データ移行をトータルにサポートするアプリです。	P.51
au災害対策 災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報、特別警報)、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができます。	−

※ 利用するにはダウンロード／インストールが必要です。

memo

◎ 各アプリからそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
◎ 表に記載のアプリ以外にも、以前にご利用・ご契約いただいたアプリがアプリ一覧に表示される場合があります。
◎ アイコンの表示名は、予告なく変更される場合があります。

かんたん設定について

ホーム画面の「かんたん設定」で、基本的な設定を行うことができます。

1 ホーム画面→[かんたん設定]

かんたん設定メニューが表示されます。

プロフィール	▶P.33「自分の電話番号を確認する(プロフィール)」
壁紙	ホーム画面とスタート画面の壁紙を設定します。
音	音(▶P.71)に関する設定を行います。
ホーム画面	▶P.24「ホーム画面の設定をする」
スタート画面	▶P.72「スタート画面の設定を行う」
フォントサイズ	画面に表示されるフォントサイズを設定します。
文字入力方式	文字の入力方式を「ケータイ入力」(▶P.27)か「スマホ入力」(▶P.28)か設定します。
ご案内	本製品の初回起動時に表示されるガイドを確認します。
その他	設定メニューを表示します(▶P.68)。

ホーム画面の設定をする

1 かんたん設定メニュー→[ホーム画面]

ホーム画面メニューが表示されます。

2

アプリの並べ替え	▶P.24「ホーム画面のアプリ／フォルダ／ショートカットを並べ替える」
アプリの配置パターン	▶P.24「ホーム画面の配置パターンを変更する」
ダイレクトボタンの設定	▶P.26「ダイレクトボタンを利用する」
ウィジェットの追加	▶P.24「ウィジェット画面にウィジェットを追加する」
ウィジェット画面の編集	▶P.24「ウィジェットを移動または削除する」
ショートカットの削除	ショートカットを削除します。

■ ホーム画面のアプリ／フォルダ／ショートカットを並べ替える

1 ホーム画面メニュー→「アプリの並べ替え」の「変更」をタップ

2 移動するアプリ／フォルダ／ショートカットをロングタッチ→移動する位置へドラッグして、指を離す→[OK]

memo

◎ アプリ／ショートカットをドラッグして他のアプリ／ショートカットに重ねるとフォルダが作成され、複数のアイコンを収納できます。
◎ フォルダをタップして、表示されるアプリをドラッグしてフォルダの外に移動すると、フォルダから移動することができます。
◎ アプリが1つになると、フォルダ表示は解除されます。
◎ 「アプリの配置パターン」で配置パターンを切り替えると、変更内容は破棄されます。

■ ホーム画面の配置パターンを変更する

1 ホーム画面メニュー→「アプリの配置パターン」の「変更」をタップ

ホーム配置パターン変更画面が表示されます。

2 [基本パターン]／[初心者向け]→[OK]

■ ウィジェット画面にウィジェットを追加する

1 ホーム画面メニュー→[ウィジェットの追加]

2 ウィジェットをロングタッチ→追加する位置へドラッグして、指を離す→[OK]

・「+」へドラッグした場合は、ホーム画面にウィジェット画面が追加されます。

■ ウィジェットを移動または削除する

1 ホーム画面メニュー→[ウィジェット画面の編集]

2 移動または削除するウィジェットをロングタッチ

■ 移動する場合

3 移動する位置へドラッグして、指を離す→[OK]

■ 削除する場合

3 画面上部の「削除」にドラッグして、指を離す→[OK]

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主な通知アイコン

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり(SMS)
	新着メールあり(auメール)
	新着メールあり(Gmail)
	緊急速報メールあり
	スヌーズ中のアラームまたは解除せずに終了したアラームあり
	カレンダーの予定通知あり
	音楽再生中(Player(LISMO))
	通話中または着信中
	auのVoLTE対応電話機との高音質通話時に表示
	伝言メモあり
	本体の空き容量が少ないとき
	他のBluetooth®機器からファイル受信リクエストあり
	データを送信／アップロード
	データを受信／ダウンロード
	インストール完了
	インストール済みアプリのアップデート通知
	ソフトウェア更新あり
	USBテザリング中
	Wi-Fi®テザリング中
	Bluetooth®テザリング中
	Wi-Fi®テザリングまたは Bluetooth®テザリングとUSBテザリングを同時に使用中
	スクリーンショット完了
	microSDメモリカードのマウント中

■ 主なステータスアイコン

アイコン	概要
12:34	時刻
100%	電池レベル状態 100%／残量なし／充電中
	電波の強さ・通信状態(LTE／WiMAX 2+) レベル4／圏外／通信中 LTE／WiMAX 2+使用可能※／ローミング中(ネットワークに応じた通信方式も合せて表示します)
	機内モード設定中
	SIMカード未挿入
	Wi-Fi®の電波の強さ レベル4／レベル0
	アラーム設定あり
	マナーモード(バイブレーション)設定中
	マナーモード(ミュート)設定中
	マナーモード(ドライブ)設定中
	Bluetooth®機能利用中 待機中／接続中
	伝言メモ設定中 伝言メモ設定中／伝言メモ全件録音済み
	NFC(かざして診断)利用中
	VPN接続中
	GPS利用中
	データセーバー設定中

※ 日本国内においては、「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

通知パネルについて

通知パネルでは、お知らせの確認や対応するアプリの起動ができます。また、よく使う機能のオン／オフをすぐに設定することができます。

1 ステータスバーを下にスライド

通知パネルが表示されます。

① **日付時刻のエリア**

② **画面の明るさ**

スライダを左右にドラッグして、画面の明るさを調節します。「自動調整ON」／「自動調整OFF」をタップすると明るさの自動調整のオン／オフを切り替えることができます。

③ **ON/OFF設定アイコン**

よく使う機能のオン／オフなどを設定します。

④ **お知らせ(通知)エリア**

本製品の状態やお知らせの内容を確認できます。情報によっては、タップすると対応するアプリが起動します。

⑤ **通知消去**

タップすると通知をすべて消去できます。ただし、消去できない通知もあります。

⑥ **閉じるタブ**

タップすると通知パネルを非表示にします。

memo

◎ 通知パネルを上にスライドしても、通知パネルを非表示にすることができます。
◎ 通知を個別に消去するには、消去したい通知を左右にフリックします。

最近使用したアプリを起動する

画面下部の「アプリ履歴」をタップすると、最近使用したアプリ表示の一覧が重なって表示されます。

1 [アプリ履歴]

最近使用したアプリ表示一覧画面が表示されます。

2 使用するアプリをタップ

memo

◎ 一覧からアプリを削除するには、操作2で削除したいアプリを左右にフリックまたは「消去する」をタップします。「すべて消去する」をタップすると、最近使用したアプリがすべて削除されます。

画面の固定について

◎ 「画面の固定」(▶P.71)がオンの場合、「」をタップすると画面を固定できます。画面を固定すると、固定した画面のアプリ以外の操作ができなくなります。
◎ 画面の固定中は以下の制限があります。
- 着信や第三者による位置検索ができなくなります。
- 他のアプリが正しく動作しなかったり、通知が表示されない場合があります。

◎ 固定を解除するには、「戻る」と「アプリ履歴」を同時にロングタッチします。

マナーモードを設定する

マナーモードを設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 (音量下ボタン)を1秒以上長く押す

- マナーモードが設定／解除されます。
- ホーム画面→[ツール]→[設定]→[音]→[マナーモード]→「ON」にしても、マナーモードを設定できます。

マナーモードの種別を変更する

1 マナーモード設定中に(音量上ボタン)／(音量下ボタン)

2 [バイブ]／[ミュート]／[ドライブ]

- (音量下ボタン)を押すたびに種別が切り替わります。
- ホーム画面→[ツール]→[設定]→[音]→[マナーモード]→[マナーモード種別]と操作しても、種別を変更できます。

《マナーモード設定中画面》

memo

◎ マナーモード設定中でもカメラのシャッター音や録画開始／終了音、タイマー音は鳴動します。
◎「ドライブ」を選択した場合、着信時は運転中であることをお知らせするアナウンスが流れ、自動的に伝言メモが起動します。
◎ マナーモード設定中に消音の状態でデータが再生された場合、機能によっては、再生中に(音量上ボタン)／(音量下ボタン)を押すと音量を調節できます。

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法には、「メニュー」や「≡」、「⋮」などをタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

スクリーンショットを撮影する

(電源ボタン)と(音量下ボタン)を同時に1秒以上長く押すと、現在表示されている画面を画像として保存(スクリーンショット)できます。保存完了後に通知パネルを開くと保存した画像を確認できます。

memo

◎ スクリーンショットを行った画像は、内部ストレージに保存されます。保存された画像は「写真／動画」(▶P.47)で確認できます。
◎ アプリや機能によってはスクリーンショットが動作しない場合があります。

画面メモを利用する

画面下部の「画面メモ」をタップすると、現在表示されている画面を画像として保存(スクリーンショット)したり、保存した画像を参照することができます。

画面メモを撮影する

1 撮影したい画面で[画面メモ]

2 [この画面を保存する]

- 表示中の画面が保存されます。

画面メモを確認する

1 ホーム画面→[写真／動画]

2 [画面メモ]→画面メモをタップ

- 画面メモが表示されます。

memo

◎ 画面メモを削除する場合は、画面メモを表示して[メニュー]→[削除]→[OK]と操作します。

ダイレクトボタンを利用する

ダイレクトボタンに登録する

ホーム画面下部の(ダイレクトボタン)に、よく連絡する相手を登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。

- あらかじめ登録する相手の電話番号とメールアドレスを電話帳に登録しておいてください。
- 登録後は、ボタンの下に登録した相手の名前が表示されるようになります。

1 ホーム画面→未登録のダイレクトボタンをタップ

2 [登録]→登録する相手をタップ

ダイレクトボタンで電話をかける

1 ホーム画面で登録済みのダイレクトボタンをタップ

2 [電話]→通話

3 [電話を切る]

ダイレクトボタンでメール／SMSを送信する

1 ホーム画面で登録済みのダイレクトボタンをタップ

2 [メール]→件名／本文を入力→[送信]

■ SMSを送信する場合

2 [SMS]→本文を入力→[送信]

登録したダイレクトボタンを編集する

1 ホーム画面で登録済みのダイレクトボタンをタップ→[メニュー]→[ダイレクトボタンの設定]

2 [変更]→[登録解除]／[連絡先を変更]

memo

◎ ダイレクトボタンに登録した電話帳を削除すると、ダイレクトボタンの登録が解除されます。

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

ソフトウェアキーボードを切り替える

本製品では、次のソフトウェアキーボードを利用できます。

ケータイ入力	テンキーやカーソルキーなどのキー配列、機能の呼び出しかたなどを携帯電話の文字入力と同様に操作できます。
スマホ入力	一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。テンキーボード／QWERTYキーボード／50音キーボードの3種類のキーボードタイプが選択できます。

《ケータイ入力》

《スマホ入力》
※テンキーボードタイプ

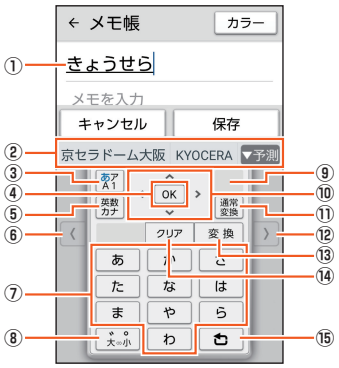
■ ケータイ入力からスマホ入力に切り替えるには

1 **ケータイ入力画面→[メニュー]→[スマホ入力(標準)]**
スマホ入力画面が表示されます。詳細は、「スマホ入力で入力する」(▶P.28)をご参照ください。

■ スマホ入力からケータイ入力に切り替えるには

1 **スマホ入力画面→[設定]→[ケータイ入力]**
ケータイ入力画面が表示されます。詳細は、「ケータイ入力を利用する」(▶P.27)をご参照ください。

ケータイ入力を利用する



《ケータイ入力画面》

① **文字入力エリア**

② **通常変換候補リスト／予測変換候補リスト**
文字を入力すると、予測変換候補リストが表示されます。「通常変換」をタップすると通常変換候補リストが表示されます。
- 「▼予測／▼通常」をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、「▲予測／▲通常」をタップします。

③ **文字種切替キー**
あア A1：タップするたびに、入力する文字種が切り替わります。
ロングタッチすると、すべての文字種の中から切り替える文字種を選択できます。

④ **OKキー**
入力中の文字を確定します。

⑤ **英数・カナキー***

⑥ **ケータイ入力表示の左寄せキー**
タップするとケータイ入力表示が左側に寄せて表示され、左利きの方が片手で操作しやすくなります。

⑦ **ソフトウェアキーボード**
各キーに割り当てられた文字を入力できます。

⑧ **記号キー／大小変換・濁音半濁音付加キー***

⑨ **サブメニューキー**
サブメニューを表示します(▶P.28)。

⑩ **カーソルキー**
カーソルを左／右に移動します。文字入力中／変換時は、文字の区切りを変更します。

⑪ **絵文字・記号・顔文字キー／通常変換キー*／予測変換キー***
絵文字 記号：絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。
通常変換：通常変換候補リスト表示中に表示されます。
予測変換：予測変換候補リスト表示中に表示されます。

⑫ **ケータイ入力表示の右寄せキー**
タップするとケータイ入力表示が右側に寄せて表示され、右利きの方が片手で操作しやすくなります。

⑬ **スペースキー／変換キー***

⑭ **クリアキー**
選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。

⑮ **改行キー／バックキー***
↵：カーソルの位置での改行や、文字の確定を行います。
⮌：同じキーに割り当てられた文字を逆の順に表示します。

- 「／」で区切られた左側は入力文字確定状態での表示、右側(または*付加項目)は入力文字未確定状態での表示となります。

■ サブメニューを表示する

ケータイ入力画面で「メニュー」をタップすると、サブメニューが表示されます。

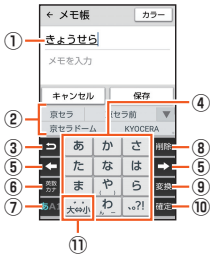
引用入力	通話履歴引用	通話履歴から電話番号を引用します。
	プロフィール引用	プロフィールから自分の電話番号やメールアドレスを引用します。
	定型文引用	インターネット、挨拶、伝言、返事、ビジネスの各カテゴリから定型文を利用できます。
	電話帳引用	電話帳からデータを引用します。
コピー／カット	コピー／カットする文字列の先頭にカーソルを移動して「始点」をタップ、文字列の末尾にカーソルを移動して「終点」をタップし、「コピー」／「カット」をタップします。	
貼り付け	貼り付ける位置にカーソルを移動して[ ]→[貼り付け]と操作し、貼り付け一覧から文字列をタップします。	
編集キャンセル	文字入力画面に戻ります。	
スマホ入力(標準)	▶P.28「スマホ入力で入力する」	
ユーザー設定	キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
	キー操作バイブ	キーをタップしたときに、バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
	予測変換	予測変換のオン／オフを切り替えます。
	自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。
	学習リセット	変換候補リストなど学習データを削除します。
入力方法	キーボードを変更します。	
キャンセル	サブメニューを閉じます。	

スマホ入力で入力する

スマホ入力画面→[設定]→[キーボードの種類]→[テンキーボード]／[QWERTYキーボード]／[50音たて書き]／[50音よこ書き]と操作すると、キーボードタイプを切り替えることができます。

■ スマホ入力画面(テンキーボード)

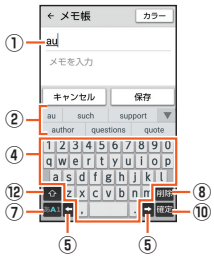
キーボードをタップするたびに文字が切り替わります。また、「フリック入力」を行うこともできます。詳しくは、「フリック入力について」(▶P.29)をご参照ください。



《スマホ入力画面(テンキーボード)》

■ スマホ入力画面(QWERTYキーボード)

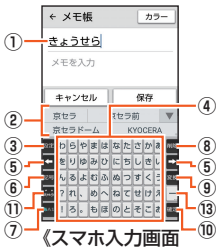
一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップすると、キーに表示されている文字が入力されます。日本語は「ローマ字」で入力します。



《スマホ入力画面(QWERTYキーボード)》

■ スマホ入力画面(50音たて書き／50音よこ書き)

ひらがなが50音で並んでいるキーボードです。キーボードをタップすると、キーに表示されている文字が入力されます。



《スマホ入力画面(50音たて書き)》

① **文字入力エリア**

② **通常変換候補リスト／予測変換候補リスト**
文字を入力すると、予測変換候補リストが表示されます。「日本語予測変換」をオフに設定した場合は、文字を入力して「変換」をタップすると通常変換候補リストが表示されます。
- 「▼」をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、「▲」をタップします。

③ **戻すキー／バックキー／設定キー**
戻す:文字入力確定後にタップして未確定の状態に戻すなど、直前の操作をキャンセルします。
:同じキーに割り当てられた文字を逆の順に表示します。
- テンキーボードで入力時に表示されます。

設定:iWnn IME設定を表示します(▶P.29)。
- 50音たて書き／50音よこ書きで入力時に表示されます。

④ **ソフトウェアキーボード**

⑤ **カーソルキー**

⑥ **絵文字・記号・顔文字キー／英数・カナキー※**
記号:絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。ロングタッチすると、引用入力(▶P.29)を利用できます。
英数カナ:入力したキーに割り当てられているひらがな、カタカナ、英字、数字、予測される日付や時間が変換候補に表示されます。

⑦ **文字種切替キー※**
入力する文字種を切り替えます。
タップするたびに次の文字が緑色に表示されて、文字種が切り替わります。
あ:ひらがな漢字入力　　A:半角英字入力
1:半角数字入力
- テンキーボードで文字種切り替えキーを左右にスライドしても、文字種の切り替えができます。
- iWnn IMEメニューの「入力モード」(▶P.29)では、カタカナや全角文字など他の文字種に切り替えることもできます。
  - 全角英字入力　　- 全角数字入力
  - 全角カタカナ入力　　- 半角カタカナ入力

⑧ **削除キー**

⑨ **変換キー／スペースキー**
変換:通常変換候補リストを表示します。
- ひらがな入力中に表示されます。

空白:スペースを入力します。
- 文字未入力時や数字／英字入力中などに表示されます。

⑩ **確定キー／改行キー**
確定:入力中の文字を確定します。
改行:カーソルの位置で改行します。
- アプリや入力中の項目によって、表示が切り替わります。

⑪ **大文字／小文字切替キー**
大⇔小:入力した文字(ひらがな／カタカナ)を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
A⇔a:入力した文字(英字)を大文字／小文字に切り替えます。

⑫ **シフトキー**
タップするたびに、小文字入力／大文字入力ロック／大文字入力を切り替えます。また、QWERTYキーボードで全角数字入力／半角数字入力時にタップすると、入力できる記号を切り替えられます。

⑬ **長音キー**
長音(ー)を入力します。

※ 操作する画面やアプリなどによっては、入力できない文字種があります。

memo

予測変換について
◎ ひらがな入力中に「変換」をタップすると通常変換候補リストに切り替えられます。「解除」をタップすると、再度予測変換候補リストに切り替えられます。
◎ 「日本語ワイルドカード予測」(▶P.29)または「ワイルドカード予測」(▶P.29)を設定している場合は、字数を指定して変換させることができます。カーソルが文末または未確定の文字の右位置にあるとき、「➡」(QWERTYキーボードでは「➡」)をタップするたびに「○」が表示されます。「○」は任意の1文字とし、変換候補には入力文字数以上の候補を表示します。

音声入力について
◎ スマホ入力画面で「🎤」をタップすると、音声入力ができます。

■ フリック入力について

「テンキーボード」の場合、キーを上下左右にフリックすることで入力できます。
キーに触れると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。そのまま入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力エリアに文字が入力されます。例えば「あ」を入力する場合は「あ」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「あ」を下にフリックすると入力されます。

例:「お」を入力する場合

iWnn IMEメニューを表示する

1 スマホ入力画面→[設定]
iWnn IMEメニューが表示されます。

2

キーボードの種類	▶P.28「スマホ入力で入力する」
入力モード	入力する文字種を切り替えます。
ケータイ入力	▶P.27「ケータイ入力を利用する」
その他の設定	▶P.29「iWnn IMEの各種設定を行う」

文字入力の便利な機能を利用する

絵文字／記号／顔文字を入力する

1 ケータイ入力画面／スマホ入力画面→[絵記号]／[記号]
絵文字／記号／顔文字一覧画面が表示されます。
文字入力画面に変換対象がない状態で表示されます。

2 絵文字／記号／顔文字を選択

■ 絵文字／記号／顔文字一覧画面の操作

戻る:文字入力画面に戻る
消:選択した文字やカーソルの左の文字の削除

memo
◎ 操作するアプリや画面によっては、一覧画面の表示方法が異なる場合や、絵文字／記号／顔文字の表示や入力ができない場合があります。

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

1 文字入力画面→文字入力エリアをロングタッチ→「●」／「●」をドラッグして、範囲を選択

2 [切り取り]／[コピー]

3 貼り付ける位置をタップしてカーソルを移動→◆をタッチ→[貼り付け]
貼り付け一覧画面が表示されます。

4 貼り付ける文字を選択

引用入力を利用する

引用入力を利用すると、引用入力など、いろいろな文字入力に関する機能を拡張できます。

1 スマホ入力画面→[引用]
ケータイ入力画面では[メニュー]→[引用入力]と操作します。

2 [プロフィール引用]／[電話帳引用]

■ 引用入力を設定する

引用入力を利用するかどうかの設定を行います。
お買い上げ時は、「使用する」に設定されています。

1 iWnn IMEメニュー→[その他の設定]→[外部アプリ連携]

2 [引用入力]→[使用する]

iWnn IMEの各種設定を行う

iWnn IMEでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。

1 iWnn IMEメニュー→[その他の設定]
iWnn IMEの各種設定画面が表示されます。

2

表示	キーボードタイプ	ソフトウェアキーボードのタイプを変更します。
	フルスクリーンモード	フルスクリーンモードを有効にするかどうかを設定します。
	候補表示エリア	ソフトウェアキーボードで文字入力する際に、予測変換などの変換候補リストを表示する行数を変更したり、常に候補表示エリアを表示するかどうかを設定します。
予測／変換	日本語候補学習	日本語入力時、変換候補リストから確定した文字を学習するかどうかを設定します。
	日本語予測変換	日本語入力時、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節を途中まで入力したときに変換候補を予測表示するかどうかを設定します。
	日本語ワイルドカード予測	日本語入力時、ワイルドカード予測機能(▶P.28)を利用するかどうかを設定します。
	日本語入力補正	日本語入力時に入力ミスの修正候補を表示するかどうかを設定します。
	半角スペース入力	全角文字入力時でも、半角スペースを入力するかどうかを設定します。
	候補学習	日本語以外を入力時、変換候補リストから確定した文字を学習するかどうかを設定します。
	予測変換	日本語以外を入力時、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節を途中まで入力したときに変換候補を予測表示するかどうかを設定します。
	ワイルドカード予測	日本語以外を入力時、ワイルドカード予測機能(▶P.28)を利用するかどうかを設定します。
	入力補正	QWERTYキーボードで半角英字入力時、入力ミスの修正候補を表示するかどうかを設定します。
	自動スペース入力	半角英字入力時に、変換候補の単語を選択するとスペースを自動入力するかどうかを設定します。
	自動大文字変換	半角英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。
キー操作	キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
	キー操作バイブ	キーをタップしたときに、バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
	キー操作バイブ時間	キーをタップしたときの振動時間を設定します。
	キーポップアップ	タップしたキーを拡大表示させるかどうか、フリック入力のガイドを表示させるかどうかを設定します。
	括弧内カーソル移動	括弧(「」、【】など)入力時に、括弧内にカーソルを移動するかどうかを設定します。
	フリック入力	フリック入力機能(▶P.29)を利用するかどうかを設定します。
	フリック感度	フリック入力時のフリックの感度を設定します。
	トグル入力	フリック入力が有効のとき、同じキーに割り当てられた文字を、そのキーを繰り返しタップすることによって切り替えるかどうかを設定します。
	自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。 ・カーソル移動後でも、゛(濁点)／゜(半濁点)の付加や、大文字／小文字の変換を行うことができます。
外部アプリ連携	引用入力	▶P.29「引用入力を利用する」
	プラグインへの全文送信	文字入力欄の全文をプラグインに送信するかどうかを設定します。
辞書	日本語	▶P.30「ユーザー辞書に登録する」
	英語・その他	
その他	学習辞書リセット	学習辞書の登録内容をすべて削除します。 ・絵文字／記号／顔文字の入力履歴も削除されます。
	設定リセット	iWnn IMEの設定を初期化します。

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの読みと表記を、日本語と英語・その他の入力モードそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 iWnn IMEメニュー→[その他の設定]→[辞書]→[日本語]／[英語・その他]

ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。

2 [⋮]→[登録]

3 読み／単語を入力→[OK]

memo

◎ 登録した単語を編集する場合は、ユーザー辞書単語一覧画面→編集する単語を選択→[⋮]→[編集]と操作します。

◎ ユーザー辞書単語一覧画面→削除する単語を選択→[⋮]→[削除]→[OK]と操作すると、選択した単語を削除できます。また、ユーザー辞書単語一覧画面→[⋮]→[すべて削除]→[OK]と操作すると、すべての単語を削除できます。

iWnn IMEケータイ入力の設定を行う

ケータイ入力利用時のiWnn IMEでの予測変換やキー操作などを設定できます。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[言語と入力]→[仮想キーボード]→[iWnn IMEケータイ入力]

2

入力	予測変換	日本語入力時、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節を途中まで入力したときに変換候補を予測表示するかどうかを設定します。
キー操作	キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
	キー操作バイブ	キーをタップしたときに、バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
	自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。 • カーソル移動後でも、゛（濁点）／゜（半濁点）の付加や、大文字／小文字の変換を行うことができます。
その他	学習リセット	学習辞書の登録内容をすべて削除します。 • 絵文字／記号／顔文字の入力履歴も削除されます。

電話・連絡先

電話 **32**
- 電話をかける 32
- 電話を受ける 33
- 伝言メモを利用する 33
- 自分の電話番号を確認する（プロフィール） 33

電話帳 **33**
- 電話帳について 33
- 連絡先を登録する 34
- 連絡先から電話をかける 34
- 連絡先を編集／削除する 34
- グループを設定する 34
- お気に入りを設定する 34
- 救急あんしん情報を利用する 34
- 連絡先をインポート／エクスポートする 34

電話

電話をかける

1 ☎→**[ダイヤル]タブをタップ**
電話番号入力画面が表示されます。

2 **電話番号を入力**
一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。
「電話帳」:電話帳を起動
「メニュー」:▶P.32「電話番号入力画面のメニューを利用する」
「削除」:入力した数字を1桁削除
「削除」(ロングタッチ):すべての数字を削除

3 **[発信]→通話→[電話を切る]**
通話中に+(音量上ボタン)/−(音量下ボタン)を押すと、通話音量(相手の方の声の大きさ)を調節できます。

memo
◎ 発信中/通話中に顔などによって画面を覆うと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
◎ 送話口(マイク)を覆っても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。

■ 電話番号入力画面のメニューを利用する

1 **電話番号入力画面→[メニュー]**

2

電話帳に登録※	電話帳の連絡先に追加します。
伝言メモ	▶P.33「伝言メモを利用する」
番号非通知(184)付加	電話番号に「184」を追加します。
番号通知(186)付加	電話番号に「186」を追加します。
自動ポーズ(,)付加※	「,」を入力します。電話番号の後ろに「,」と番号を入力して電話をかけると、電話がつながってから約2秒後に番号がプッシュ信号として自動的に送信されます。
手動ポーズ(;)付加※	「;」を入力します。電話番号の後ろに「;」と番号を入力して電話をかけると、電話がつながってから「送信」をタップしたときに番号をプッシュ信号として送信できます。
(+)付加	「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。▶P.32「au電話から海外へかける(au国際電話サービス)」
SMSを送信※	SMSの新規作成画面を表示します。
通話設定	▶P.70「通話に関する設定をする」

※ 電話番号が入力されている場合に表示されます。

■ 通話中に利用できる操作

通話中は以下の操作が行えます。

メニュー	通話を録音	通話中の音声を録音します(通話音声メモ)。
	通話相手を追加	別の相手に電話をかけます。
	ミュート	自分の声を相手に聞こえないようにします。
通話音質		相手の声の聞こえかたを調整します。
スピーカーで通話		ハンズフリー通話に切り替えます。
通話を保留		通話を保留状態にします。
ダイヤル		プッシュ信号を送信します。

memo
◎ 通話を録音(通話音声メモ)を再生するには、ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]→[通話音声メモ]→再生する通話音声メモをタップします。「File Commander」アプリなどからは再生できません。
◎ 通話を録音(通話音声メモ)で録音できるのは、1件あたりの最大録音時間は約20分で、100件までです。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地(GPS情報)が緊急通報先に通知されます。

memo
◎ 日本国内の緊急通報受理機関に接続する場合は、auのVoLTE(LTEネットワーク)を利用します。3G(回線交換ネットワーク)を利用しての接続はできません。
◎ 警察(110)・消防機関(119)・海上保安本部(118)について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎ 緊急通報番号(110、119、118)の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。
◎ 着信拒否や伝言メモ、ドライブモードを設定した状態で緊急通報を発信した場合、緊急通報受理機関からの着信を受けるため、設定は自動的に5分間解除されます。

履歴を利用して電話をかける

1 ☎→**[着信履歴]/[発信履歴]タブをタップ**
通話履歴一覧画面が表示されます。
:着信
:伝言メモあり
:不在着信
:発信

2 **電話をかける履歴をタップ**
履歴詳細画面が表示されます。

3 **[発信]**
選択した相手に電話を発信します。

memo
◎ 履歴詳細画面で「メニュー」をタップすると、履歴からの削除や番号の編集などをすることができます。
◎ 履歴詳細画面から、番号を連絡先に追加したり、SMSを作成したりすることなどができます。

au電話から海外へかける(au国際電話サービス)

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例:本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 **電話番号入力画面→国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[発信]**

国際アクセスコード※1	→	国番号(アメリカ)	→	市外局番※2	→	相手の方の電話番号
010		1		212		123XXXX

※1 [メニュー]→[(+)付加]と操作すると、「+」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください(イタリアなど一部例外もあります)。

memo
◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開します。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ:
au電話から(局番なしの)**157**番(通話料無料)
一般電話から**0077-7-111**(通話料無料)
受付時間 毎日9:00〜20:00

電話を受ける

1 着信画面→[ ]
通話を開始します。
・「 」を右にスライドしても電話に出ることができます。

2 通話→[電話を切る]

■ 電話がかかってきた場合の表示について

お買い上げ時は、着信すると次の内容が表示されます。
・相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。
・相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。
「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」
※ 相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

着信時に相手の方の電話番号や名前を表示しないようにすることもできます(▶P.70「着信相手非表示」)。

memo
◎ LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、「データ使用量」の「モバイルデータ」(▶P.68)を「OFF」にしてご利用ください。

かかってきた電話に出なかった場合は
◎ ステータスバーに「 」が表示されます。ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、着信のあった時間や電話番号、または電話帳に登録されている名前が表示されます。

着信時に着信音、バイブレータを無効にするには
◎ 着信時に[ ](音量上ボタン)／[ ](音量下ボタン)を押すと、着信音、バイブレータを無効にすることができます。

他の機能をご利用中に着信した場合は
◎ 動画を録画していた場合は、録画が中断され、録画していたデータは保存されます。
◎ 音声レコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断されます。
◎ マナーモード(ドライブ)に設定している場合は、自動的に伝言メモが起動します。

■ 着信中のメニューを利用する

1 着信画面→[メニュー]

2

着信を拒否	▶P.33「着信を拒否する」
着信を転送	かかってきた電話に出ずに、転送先の電話番号またはお留守番サービスへ転送します。 ・転送先の登録方法については「手動で転送する(選択転送)」(▶P.76、P.78)をご参照ください。
伝言メモに録音	伝言メモのメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。
SMSで返信	着信拒否をして、SMSのメッセージで応答します。 ・定型文を選択するか、または自分で文章を作成して返信することもできます。定型文をあらかじめ編集しておくこともできます。

memo
◎ 伝言メモ録音中に「 」を右にスライドすると、電話に出ることができます。

着信を拒否する

1 着信画面→[メニュー]

2 [着信を拒否]
・着信音が止まって電話が切れます。相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。

着信に伝言メモで応答する

伝言メモを設定していなくても、手動で起動できます。

1 着信画面→[メニュー]

2 [伝言メモに録音]

着信を拒否してメッセージ(SMS)を送信する

1 着信画面→[メニュー]

2 [SMSで返信]

3 送信したいメッセージをタップ→[送信]
・「カスタムメッセージ」をタップすると、メッセージを作成して送信できます。

memo
◎ 既存のメッセージを編集する場合は、ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]→[SMS返信の編集]→既存のメッセージを選択して編集→[OK]と操作します。

ステップアップ着信を設定する

同じ人から10分以内に着信を受けると着信音を徐々に大きく(ステップアップ)してお知らせするように設定します。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]→「ステップアップ着信」を「ON」にする
・お買い上げ時にはオンに設定されています。

市外局番メモリを設定する

電話の発信時に、入力した電話番号に登録した市外局番を付与して発信するように設定します。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]→[市外局番メモリ]

2 「ON」にする→[市外局番]

3 市外局番を入力→[保存]

伝言メモを利用する

伝言メモを設定すると、お留守番サービスEXを契約していない場合でも、電話に応答できないときに応答メッセージを再生し、相手の音声を録音することができます。1件あたりの最大録音時間は約60秒です。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]→[伝言メモ]

2

伝言メモ応答設定	伝言メモを利用するかどうかを設定します。
応答時間	応答するまでの時間を設定します。
伝言メモリスト	伝言メモの再生や削除、保護／解除をします。

memo
◎ 録音された伝言メモがある場合は、ステータスバーに「 」が表示されます。ステータスバーを下にスライド→[伝言メモ録音あり]と操作すると、伝言メモリスト画面が表示され、録音された伝言メモを確認できます。
◎ 録音された伝言メモを削除するには、伝言メモ再生画面で[メニュー]→[削除]→[OK]と操作します。

自分の電話番号を確認する(プロフィール)

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[プロフィール]
プロフィール画面が表示されます。

■ プロフィールを登録する

1 プロフィール画面→[メニュー]→[編集]
・編集以外にも共有したり、削除することができます。

2 必要な項目を入力→[保存]

memo
◎ ホーム画面→[電話帳]→「すべての連絡先」タブをタップして自分の名前の部分をタップしても、自分の電話番号を確認できます(▶P.34)。

電話帳

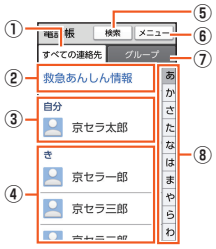
電話帳について

電話帳には連絡先の各種情報が表示されます。

memo
◎ 電話帳に登録された電話番号や名前などは、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で登録内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 「アカウントの設定をする」(▶P.72)を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などと本製品の電話帳を同期できます(Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください)。

連絡先を登録する

1 ホーム画面→[電話帳]→「すべての連絡先」タブをタップ
連絡先一覧画面が表示されます。
連絡先が未登録の場合は、操作2で新規連絡先を登録してください。



《連絡先一覧画面》

① **すべての連絡先タブ**
すべての連絡先が表示された一覧画面が表示されます。
② **救急あんしん情報**
▶P.34「救急あんしん情報を利用する」
③ **自分のプロフィール**
自分の電話番号を確認し、自分の名前などを登録できます(▶P.33)。
④ **連絡先に登録された写真・名前**
タップすると、連絡先の詳細表示画面が表示されます。
「メニュー」をタップすると、連絡先の編集や連絡先の削除、お気に入りへの登録などの操作ができます。
⑤ **検索**
登録されている連絡先を検索します。
⑥ **メニュー**
連絡先の新規作成／削除やお気に入り、インポート／エクスポート、表示する連絡先の設定、インデックスタブの表示位置の設定などができます。
⑦ **グループタブ**
タップするとグループの一覧を表示します。
・グループ作成や編集については、「グループを設定する」(▶P.34)をご参照ください。
⑧ **インデックスタブ**
タブをタップすると、タップしたタブの行の文字から始まる連絡先が表示されます。
インデックスタブの表示位置は、お買い上げ時は「右側」に設定されています。メニューから「左側」に変更することもできます。

2 [メニュー]→[連絡先を作成]
・アカウントの選択画面が表示された場合は、使用するアカウントを選択するか、「アカウントを追加」をタップしてアカウントを登録してください。

3 必要な項目を入力
・各項目をタップすると項目を入力できます。入力中または入力後に「削除」をタップすると、項目を削除できます。
・項目によっては、「▼」をタップすると、さまざまな設定の変更ができます。
・「個別着信音を設定」をタップすると、着信音などの個別設定ができます。

4 [保存]

memo
◎ 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信設定」は有効になりません。
◎ グループの一覧で[メニュー]→[グループを作成]と操作すると新規グループの追加を行えます(▶P.34)。

連絡先から電話をかける

1 連絡先一覧画面→電話をかける連絡先をタップ
連絡先の詳細表示画面が表示されます。

2 [電話]

連絡先を編集／削除する

連絡先を編集する

1 編集する連絡先の詳細表示画面→[メニュー]→[編集]
連絡先編集画面が表示されます。

2 項目を選択して編集

3 [保存]

連絡先を削除する

1 連絡先一覧画面→[メニュー]→[削除]→削除する連絡先を選択→[OK]

memo
◎ 内部ストレージの空き容量が少ないと、連絡先の編集／削除ができない場合があります。ご注意ください。

グループを設定する

連絡先をグループに登録できます。
・「アカウントの設定をする」(▶P.72)を利用して、アカウントと同期すると、自動的にグループが作成されます。

1 連絡先一覧画面→「グループ」タブをタップ→[メニュー]→[グループを作成]
・アカウントの選択画面が表示された場合は、使用するアカウントを選択してください。

2 [グループの名前]→グループの名前を入力

3 [連絡先を登録／解除]→登録する連絡先を選択→[OK]

4 「グループの着信設定」の項目を必要に応じて設定→[保存]

memo
◎ グループの編集は、連絡先一覧画面→「グループ」タブをタップ→編集するグループをタップ→[メニュー]→[編集]と操作して行うことができます。「グループの着信設定」なども設定できます。
◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「グループの着信設定」は有効になりません。
◎ 個別の連絡先に「着信設定」が設定されている場合は、そちらが優先されます。
◎ グループを選択して[メニュー]→[削除]→[OK]と操作すると、グループを削除できます。グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。

お気に入りを設定する

連絡先をお気に入りに設定すると、お気に入りに設定した連絡先のみ表示することができます。

1 連絡先一覧画面→[メニュー]→[お気に入り]
・お気に入りに設定した連絡先が表示されます。

2 [メニュー]→[お気に入りを追加]

3 お気に入りに設定する連絡先にチェックを入れる→[OK]
・お気に入りを解除するときはチェックを外します。

救急あんしん情報を利用する

名前や住所のほかに、血液型やアレルギーなどを入力し、緊急時の応急処置やご家族への連絡などの情報が確認できます。

救急あんしん情報を登録する

1 連絡先一覧画面→[救急あんしん情報]→[編集]→[OK]

2 「私の情報」タブをタップ→名前や住所などの項目を入力

3 「緊急連絡先」タブをタップ→[連絡先の追加]→連絡先を入力

救急あんしん情報を確認する

登録した救急あんしん情報は連絡先一覧画面→[救急あんしん情報]から確認できるほか、セキュリティロックを解除する画面でも「緊急通報／救急あんしん情報」をタップして確認することができます。

連絡先をインポート／エクスポートする

連絡先を内部ストレージやmicroSDメモリカードからインポート／エクスポートできます。
・Bluetooth機器から連絡先をインポートすることもできます。
・連絡先によっては、データの一部がインポート／エクスポートされない場合があります。

インポートする

内部ストレージ／microSDメモリカードに保存されている連絡先をインポートします。

1 連絡先一覧画面→[メニュー]→[インポート／エクスポート]

2 [内部ストレージからインポート]／[SDカードからインポート]
・アカウントの選択画面が表示された場合は、使用するアカウントを選択してください。
・Bluetooth機器からインポートする場合は「Bluetoothからインポート」をタップしてください。Bluetoothデバイスを選択すると、連絡先のインポートが開始されます。

3 [vCardファイルを1つインポート]→[OK]→インポートする連絡先ファイル(vCardファイル)を選択→[OK]
「複数のvCardファイルをインポート」／「すべてのvCardファイルをインポート」を選択してインポートすることもできます。

エクスポートする

内部ストレージ／microSDメモリカードへエクスポートします。

1 連絡先一覧画面→[メニュー]→[インポート／エクスポート]

2 [内部ストレージにエクスポート]／[SDカードにエクスポート]
連絡先の選択画面が表示されます。

3 エクスポートする連絡先を選択→[OK]→[OK]
連絡先の選択画面→[すべて選択]→[OK]→[OK]と操作すると、すべての連絡先をエクスポートできます。

メール

auメール **36**
- auメールのご利用にあたって 36
- 画面の見かた 36
- auメールを送信する 36
- auメールを受信する 36
- 迷惑メールフィルターを設定する 37

SMS(Cメール) **38**
- SMSについて 38
- SMSを送信する 38
- SMSを受信する 38
- SMSを返信／転送する 38
- SMSを保護／保護解除する 38
- SMSの電話番号を電話帳に登録する 38
- SMSを検索する 38
- SMSを削除する 39
- SMSを設定する 39

Gmail **39**
- Gmailについて 39
- Gmailを起動する 39
- Gmailを送信する 39
- Gmailを受信する 39

auメール

auメールのご利用にあたって

- auメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- auメールサービス詳細は、auホームページをご参照ください。
  https://www.au.com/mobile/service/smartphone/communication/email/aumailapp
- 操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。

auメールの初期設定について

- auメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、本製品同梱の『かんたんマニュアル』をご参照ください。
- 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行うと、正しく設定されない場合があります。Wi-Fi®通信では初期設定ができません。
- 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。

memo

◎ auメールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、auメールの送受信に時間がかかることがあります。

画面の見かた

一覧画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。

① メニュー(Eメールメニューなど)が表示されます。
② 受信したメールが格納されます。
③ 送信したメールが格納されます。
④ 下書き、未送信のメールが格納されます。
⑤ 90日以前に受信したメールが格納されます。
⑥ 削除したメールが格納されます。
⑦ アドレス帳に登録されている人とのメールが表示されます。
⑧ 端末に保存したメールが格納されます。
⑨ メールを新規作成します。
⑩ メールを検索します。

memo

◎ 受信したメールは受信から90日が経過すると90日以前のメールボックスに移動されます。
◎ 重要なメールは保存フォルダに保存(コピー)することができます。
◎ フィルタとは、アドレス帳登録者からのメールなど、条件にあったメールのみ閲覧できる機能です。

auメールを送信する

① 宛先を入力します。
② CC、BCCの宛先を入力します。
③ 件名を入力します。
④ 本文を入力します。
⑤ メールにデータ(写真など)を添付します。
⑥ 送信します。

1 →**[auメール]**
2 **[作成]**
上記の送信メール新規作成画面が表示されます。
3 **[To](①)→宛先を入力**
4 **[件名](③)→件名を入力**
5 **本文入力欄(④)をタップ→本文を入力**
6 **[送信]**

auメールを受信する

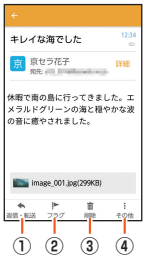
受信ボックス(新着順表示画面)

① 表示方法を送信者別(送信元メールアドレス単位にまとめて表示)、新着順(受信した順番に表示)を選択します。
② 新着順にメールを一覧表示します。
③ メールの返信、転送、フラグ付けを行います。

受信ボックス(送信者別表示画面)

① 表示方法を送信者別(送信元メールアドレス単位にまとめて表示)、新着順(受信した順番に表示)を選択します。
② 送信元メールアドレス単位にまとめて表示されます。

受信詳細画面



① 本メールを返信／転送します。
② 本メールにフラグをつけます。
③ 本メールを削除（ゴミ箱へ移動）します。
④ メニューを表示します。

1 →**[auメール]**

2 **[受信]**
受信メール一覧画面が表示されます。

3 **閲覧したいメールをタップ**
上記の受信メール詳細表示画面が表示されます。

memo
◎ 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもデータ通信料がかかることがあります。
◎ 受信したメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるメールを拒否する機能があります。

1 **auメールの画面→[☰]→[アドレス変更／迷惑メール設定]**

■ おすすめの設定にする場合

2 **[オススメの設定はこちら]→[OK]**
なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 **[迷惑メールフィルターの設定／確認へ]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]**

3

オススメ設定をする		とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
個別設定	受信リストに登録／アドレス帳受信設定をする	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 受信リストに登録したメールアドレス以外のメールをすべてブロックする場合は、「個別設定」の「携帯／PHS以外からのメールを拒否する」で「設定する」に設定し、「携帯／PHS等の事業者毎に受信／拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。 ※「必ず受信」にチェックを入れることにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。ただし、「ご自身のauメールアドレス」またはその一部（@ezweb.ne.jp）などを設定する場合は、「必ず受信」のチェックを外してください。 **アドレス帳受信設定へ：** 「auアドレス帳」もしくは「データお預かり」に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
	拒否リストに登録する	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯／PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯／PHS事業者ごとにメールを一括で受信／拒否します。
	その他の詳細設定をする	**迷惑メールおまかせ規制：** メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 **なりすまし規制：** 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。（高）（低）の2つの設定を選択いただけます。 ※ 以前ご利用の携帯電話で（中）を設定されている場合も（高）（低）のみ選択可能です。 ※「受信リスト設定」の「必ず受信」にチェックを入れて登録することにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 **HTMLメール規制：** メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 **URLリンク規制：** 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 **ウィルスメール規制：** 添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。
全ての設定を一括解除する		迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

※「ヘルプ」をタップすると迷惑メールフィルターの各種機能の説明が表示されます。
※ 最新の設定機能およびパソコンからの迷惑メールフィルター設定は、auのホームページでご確認ください。

memo
◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
◎ 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
ウィルスメール規制＞受信リスト設定（「必ず受信」チェックあり）＞なりすまし規制＞拒否リスト設定＞受信リスト設定＞アドレス帳受信設定＞HTMLメール規制＞URLリンク規制＞携帯／PHS以外のメール拒否設定＞迷惑メールおまかせ規制
◎「受信リスト設定（「必ず受信」チェックあり）」は、自動転送されてきたメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「受信リスト設定（「必ず受信」チェックあり）」に登録することにより、そのメールアドレスがTo（宛先）もしくはCc（同報）に含まれているメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※ Bcc（隠し同報）のみに含まれていた場合（一部メルマガ含む）は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
◎「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
◎「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるメールの中にHTML形式で記述されているメールが含まれる場合、それらのメールが受信できないことがあります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。
◎「なりすまし規制」は、送られてきたメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証（SPFレコード記述）を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※ パソコンなどで受け取ったメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「受信リスト設定（「必ず受信」チェックあり）」に登録してください。

SMS（Cメール）

SMSについて

「SMS」アプリはau電話番号でメッセージのやりとりができるアプリケーションです。
au電話番号宛だけでなく、国内他事業者や海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ（メール本文）を送信できます。

1 [✉]→**[SMS]**
相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 **[+]**
SMS作成画面が表示されます。
・同じ相手にSMSを送信するときは、スレッドをタップしてもSMSを作成できます。その場合は、操作**4**へ進みます。

3 **[宛先を入力]→相手先電話番号を入力**
[👤]→連絡先から相手先を選択することもできます。
・海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。

010 ＋ 国番号 ＋ 相手先電話番号

※ 相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。
※ 電話帳から相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。

4 **[メッセージを入力]→本文を入力**
本文は、全角最大670／半角最大1,530文字まで入力できます。
※ 国内・海外他事業者宛には全角最大70／半角最大160文字まで送信できます。

5 **[送信]**
送信したメッセージをロングタッチ→[送達確認結果]と操作すると、送信結果を確認できます。

memo
◎ メッセージ作成中に[戻る]をタップすると、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、SMSを送信せずに保存できます。
◎ SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。

お預かり（蓄積）可能時間	72時間まで ※ 蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	300件 ※ 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

◎ 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※ 国際SMSの場合、配信タイミングが異なることがあります。
◎ 発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。
◎ 絵文字を他社の携帯電話に送信すると、他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、au電話に送信した場合でも、受信側のau電話に搭載されている異なるデザインの絵文字に変換される場合があります。
◎ SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに「❗」が表示される場合があります。
◎ 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご参照ください。
https://www.au.com/mobile/service/global/sms/

SMSを受信する

1 **SMSを受信**
SMSの受信が終了すると、ポップアップ通知され、メール受信音が鳴ります。

2 [✉]→**[SMS]**
未読のSMSがあるスレッドには「●」が表示されます。

3 **確認する相手先のスレッドをタップ**
受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

memo
◎ SMSの受信は、無料です。
◎ 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
◎ スレッド内容表示画面で「📞」をタップすると、相手先に電話をかけることができます。
◎ 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。
◎ 受信したSMSがダイアログ表示される場合があります。
◎ 内部ストレージが不足した場合、SMSを正しく受信できません。
◎ データお預かりアプリでバックアップ・復元処理中に、SMSアプリを終了させないでください。正しく受信できない場合があります。

SMSを返信／転送する

1 [✉]→**[SMS]**

2 **返信／転送するスレッドをタップ**
受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

■ **返信する場合**

3 **[メッセージを入力]→本文を入力**

4 **[送信]**

■ **転送する場合**

3 **転送するメッセージをロングタッチ**
オプションメニューが表示されます。

4 **[転送]**

5 **[宛先を入力]→相手先電話番号を入力**
[👤]→連絡先から相手先を選択することもできます。

6 **本文を入力**

7 **[送信]**

電話番号／メールアドレス／URLを利用する

1 **スレッド内容表示画面を表示**

■ **本文中の電話番号を利用する場合**

2 **本文中の電話番号をタップ**
・選択メニューが表示された場合は、使用するアプリを選択して「1回のみ」／「常時」をタップしてください。

■ **本文中のメールアドレスを利用する場合**

2 **本文中のメールアドレスをタップ**

3 **アプリを選択してメールを作成**

■ **本文中のURLを利用する場合**

2 **本文中のURLをタップ**
インターネットが起動して、選択したURLのページが表示されます。

SMSを保護／保護解除する

1 **スレッド内容表示画面を表示**

2 **保護／保護解除するメッセージをロングタッチ**

3 **[保護]／[保護解除]**
保護したメッセージには「🔒」が表示されます。

SMSの電話番号を電話帳に登録する

1 **スレッド内容表示画面を表示**

2 **[⋮]→[アドレス帳への登録]→[OK]**
連絡先一覧画面が表示されます。「連絡先を作成」または追加する連絡先をタップしてください（▶P.34「連絡先を登録する」）。
・スレッド一覧画面→登録する相手先の「👤」をタップ→[はい]と操作しても連絡先一覧画面が表示されます。

SMSを検索する

1 **スレッド一覧画面→[🔍]→キーワードを入力**
半角と全角を区別して入力してください。

2 **[🔍]**
検索結果一覧画面が表示されます。

SMSを削除する

1 [✉]→[SMS]

■1件削除する場合

2 **削除するメッセージがあるスレッドをタップ**

3 **削除するメッセージをロングタッチ**

4 **[削除]→[削除]**

■スレッドごとに削除する場合

2 **削除するスレッドをタップ**

3 **[⋮]→[メッセージの全件削除]→[削除]**

■複数のスレッドを削除する場合

2 **削除するスレッドをロングタッチ**

3 **続けて削除するスレッドをタップ**

4 **[🗑]→[削除]**

■すべてのスレッドを削除する場合

2 **[⋮]→[全てのスレッドを削除]→[削除]**

SMSを設定する

1 [✉]→[SMS]

2 **[⋮]→[設定]**
SMS設定メニューが表示されます。

3

通知設定	SMS受信時のポップアップ通知を設定します。OFFに設定すると、着信音、バイブレーション、LEDもOFFになります。 **[差出人・本文]／[差出人]／[通知のみ]／[OFF]→[OK]**
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。 **[OFF]／[プリセットから選択]／[ダウンロード曲から選択]→着信音を選択→[OK]**
バイブレーション	SMS受信時のバイブレーションを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**
LED	SMS受信時に着信ランプを点滅するかどうかを設定します。 ※本製品は、LEDの設定は無効となります。
文字サイズ	SMSの本文の文字サイズを設定します。 **[特大]／[大]／[中]／[小]／[極小]→[OK]**
署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。 **署名(全角20／半角45文字※まで)を入力→[設定]** ※半角カナは20文字まで入力できます。
受信フィルター	▶P.39「受信フィルターを設定する」
送達確認	SMSが相手に届いた際、送信したメッセージに「✓」を表示させるかどうかを設定します。
テーマカラー	SMSアプリのテーマカラーを設定します。 **[ホワイト]／[ブラック]／[ピンク]／[グリーン]／[ブルー]／[オレンジ]→[OK]**

memo

◎ SMS設定メニュー→[⋮]→[初期値に戻す]→[はい]と操作すると、SMSの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

受信フィルターを設定する

1 **SMS設定メニュー→[受信フィルター]**

2

指定番号	指定した電話番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
指定番号リスト	指定番号リストが表示されます。 **入力欄をタップ→登録する電話番号を入力→[追加]** ・「👤」をタップすると、電話帳から電話番号を登録できます。 ・スレッド内容表示画面→[⋮]→[受信フィルター登録]→[追加]と操作しても登録できます。 ・登録した電話番号を削除するには、[削除]→削除する電話番号にチェックを入れる→[削除]→[はい]と操作します。 ・電話番号は、最大150件まで登録できます。
アドレス帳登録外	電話帳に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。チェックを入れてオンに設定すると、電話帳に登録されていない電話番号からのSMSを受信しないようになります。

Gmail

Gmailについて

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailとPCメールの確認・送受信などができます。

- Gmailの利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。
- サービスの内容は、予告なく変更される場合があります。

Gmailを起動する

1 **ホーム画面→[Google]→[Gmail]**
アカウント設定したGmailの受信トレイ画面が表示されます。
・画面の左端を右方向へスライドするか、「☰」をタップすると、アカウントの切り替え、アカウントごとのフォルダ選択や設定ができます。アカウントをタップしてアカウントを追加することもできます。

Gmailを更新する

本製品の「Gmail」アプリとサーバーのGmailを同期して、新着メールを受信できます。

1 **受信トレイ画面→下方向にスライド**

Gmailを送信する

1 **ホーム画面→[Google]→[Gmail]**

2 **[✎]**

3 **[To]→宛先を入力**

4 **[件名]→件名を入力**

5 **[メールを作成]→本文を入力**

6 **[➤]**

Gmailを受信する

1 **Gmailを受信**
Gmailを受信すると、ステータスバーに「✉」が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 **ステータスバーを下にスライド**

3 **メールの情報を選択**
受信トレイ画面が表示されます。
1件受信の場合は、受信メール内容表示画面が表示されます。

4 **受信したメールを選択**
受信メール内容表示画面が表示されます。

Gmailを返信／転送する

1 **ホーム画面→[Google]→[Gmail]**

■送信者に返信する場合

2 **返信するメールを選択→[返信]**

3 **本文を入力**

4 **[➤]**

■全員に返信／転送する場合

2 **全員に返信／転送するメールを選択→[全員に返信]／[転送]**

3 **本文を入力**
「転送」を選択した場合は、転送先の宛先を入力します。

4 **[➤]**

Gmailのメニューを利用する

メール一覧画面で左端のイニシャルアイコンや画像をタップしてメールを選択状態にすると、削除、未読に変更などメールを操作できます。
メール内容表示画面の右上にある「⋮」をタップするとメニューが表示され、選択したメールの移動や印刷などを操作できます。

インターネット

インターネット接続.....42
インターネットについて.....42
データ通信を利用する.....42
インターネット利用.....42
Webページを表示する.....42
ブックマーク／履歴を利用する.....43

インターネット接続

インターネットについて

データ通信または無線LAN(Wi-Fi®)機能を使用してインターネットに接続できます。
- データ通信(LTE NET、LTE NET for DATA)(▶P.42「データ通信を利用する」)
- Wi-Fi®(▶P.65「無線LAN(Wi-Fi®)機能」)

memo

◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用することができません。

データ通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。
LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面→[ツール]→[設定]→[その他]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]→[LTE NET for DATA]と操作します。

memo

◎ データ通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、データ通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■ データ通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限されることがあります。

■ ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://www.au.com/support/

インターネット利用

Webページを表示する

1 ホーム画面→[インターネット]

Webページが表示されます。
お買い上げ時はAndroid向けの「auスマートパス」がホームページに設定されています。

memo

◎ 非常に大きなWebページを表示した場合は、アプリが自動的に終了することがあります。

■ Webページでの基本操作

次のタッチパネル操作でWebページを閲覧できます(Webページによっては操作できない場合があります)。
- タップ:リンクやボタンを選択・実行できます。
- スライド／フリック:ページをスクロールできます。
- ズームイン／アウト:ページを拡大／縮小できます。
- 前のページに戻るには[戻る]をタップします。

■ Webページ内のテキストをコピーする場合

1 Webページ→テキストをロングタッチ

2 「●」／「●」をドラッグして、テキストの範囲を選択

3 [コピー]

4 貼り付け先の入力欄をロングタッチ→[貼り付け]

コピーしたテキストを貼り付けます。

Webページを移動する

Webページの上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、Webサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 Webページ→URL表示欄をタップ

2 URL表示欄にキーワード／URLを入力→[実行]

- 入力した文字を含む検索候補がURL表示欄の下に一覧表示された場合は、タップしてWebページを表示することもできます。
- [ホーム]をタップすると、ホームページに設定されているページに戻ります。

Webページのメニューを利用する

1 Webページ→[メニュー]

2

再読み込み／停止	表示中のサイトの情報を再読み込みします。読み込み中の場合は、読み込みを中止します。
進む	[戻る]をタップしてサイトを表示した場合に、操作前に表示していたサイトに進みます。
ブックマークを保存	▶P.43「ブックマークに登録する」
ブックマーク	▶P.43「ブックマーク／履歴を利用する」
新規タブ	新規にタブを作成します。
タブ一覧	タブ一覧を表示します。[新規タブ作成]をタップして、新規のタブを作成したり、タブを閉じたりすることができます。
文字サイズを変更	文字のサイズを変更します。
ホーム画面に配置	ホーム画面に、表示中のWebページにアクセスできるショートカットアイコンを配置します。
ページを共有	表示しているサイトのURLをメールなどで共有できます。
ページ内を検索	表示しているページ内でテキストを検索します。
PC版サイト表示	パソコン用のサイトを表示します。
設定	ホームページの設定、プライバシー設定、セキュリティ設定、検索エンジンの設定、設定のリセットなどを行うことができます。
終了	インターネットを終了できます。

■ リンクのメニューを利用する

リンクをロングタッチするとメニューが表示され、リンクの保存、URLのコピーなどの操作が行えます。

クイックメニューを利用する

Webページ→[メニュー]→[設定]→[Labs]→「クイックメニュー」にチェックを入れると、Webページから新しいタブやブックマーク画面をすばやく表示できる「クイックメニュー」を利用できます。
クイックメニューは、Webページの左端または右端から画面の中央に向けて指をスライドさせると表示されます。そのまま選択したい機能に指をスライドさせて操作します。

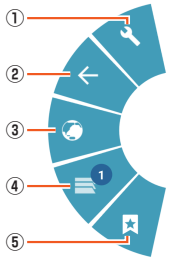
① **設定メニュー**
Webページの設定メニューやパソコン用／スマートフォン用のサイトを表示します。

② **サイト移動メニュー**
前後のサイト移動や再読み込みします。

③ **URL表示欄**
別のサイトを現在のタブで表示、表示しているサイトの共有、ページ内のテキスト検索ができます。

④ **タブ一覧**
現在開いているタブの一覧表示、タブの追加、削除ができます。

⑤ **ブックマーク**
ブックマーク・履歴の表示、ブックマークの追加ができます。



《クイックメニュー》

memo

◎ クイックメニュー利用中は、Webページの上部に表示されるURL表示欄などが表示されなくなります。

ブックマーク／履歴を利用する

1 Webページ→[メニュー]→[ブックマーク]
ブックマーク画面が表示されます。
・クイックメニュー（▶P.43）をオンに設定している場合は、クイックメニューから「☆」を選択してください。

2 「ブックマーク」／「履歴」タブをタップ

3 利用するブックマーク／履歴を選択

memo

◎ ブックマーク画面→「履歴」タブをタップ→[★]／[☆]と操作すると、選択した履歴をブックマークに追加／削除できます。

ブックマークに登録する

表示中のサイトをブックマークに登録します。

1 Webページ→[メニュー]→[ブックマークを保存]
ブックマーク登録画面が表示されます。

2 タイトルなどの項目を入力→[OK]

ブックマーク／履歴画面のメニューを利用する

ブックマーク画面で「メニュー」をタップすると、ブックマークの編集や削除などの操作が行えます。
また、履歴画面で[メニュー]→[履歴データをすべて削除]と操作すると、履歴をすべて削除できます。

アプリケーション

カメラ 46
カメラをご利用になる前に 46
撮影画面の見かた 46
撮影前の設定をする 46
静止画を撮影／動画を録画する 47
写真／動画 47
データを再生する 47
静止画を編集する 47
Play Music 47
音楽データを再生する 47
Playムービー&TV 47
Playムービー&TVを利用する 47
テレビ 48
テレビについて 48
テレビの初期設定をする 48
テレビを見る 48
テレビを終了する 49
番組表を利用する 49
テレビ番組を視聴予約する 49
放送エリアを登録･変更する 49
auサービスTOP 50
auサービスTOPを利用する 50
auスマートパス 50
auスマートパスを利用する 50
My au(auお客さまサポート) 50
My auを利用する 50
auスマートサポート 50
auスマートサポートでできること 50
位置検索サポート 50
位置検索サポートについて 50
位置検索をご利用いただくにあたって 50
遠隔操作サポート 51
遠隔操作サポートを利用する 51
故障紛失サポート 51
故障紛失サポートを利用する 51
あんしんフィルター for au 51
あんしんフィルターfor auを利用する 51
Androidアプリ 52
Google Playを利用する 52
アプリケーションを管理する 52
YouTube 52
YouTubeを利用する 52
Googleサービス 52
Duoを利用する 52
Googleマップを利用する 53
カレンダー 53
カレンダーを利用する 53
時計 54
アラームを利用する 54
タイマーを利用する 54
ストップウォッチを利用する 54
世界時計を利用する 54
歩数計 55
歩数計を利用する 55
歩数計を設定する 55
電卓 55
電卓を利用する 55
メモ帳 55
メモ帳を利用する 55
音声レコーダー 56
音声レコーダーを利用する 56
簡易ライト 56
簡易ライトを利用する 56
エコモード 56
エコモードを利用する 56
テレビde写真 57
テレビde写真を利用する 57
かざして診断 57
かざして診断を利用する 57
使い方練習 57
使い方練習を利用する 57

カメラ

カメラをご利用になる前に

本製品はアウトカメラとインカメラで静止画や動画の撮影ができます。
撮影した静止画や動画は、すべてmicroSDメモリカードまたは内部ストレージに保存されます。

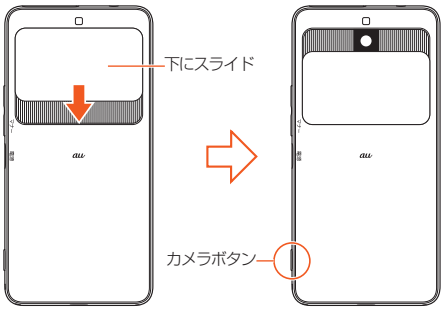
- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本製品が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などで覆わないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - 強い逆光のもとにある被写体
  - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 動きが速い被写体
- 撮影ライトを目に近づけて点灯させないでください。撮影ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモード設定中でも静止画撮影のフォーカスロック音やシャッター音、動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- 本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 位置情報が付加された写真をインターネット上にアップロードする場合、第三者に位置情報を知られる可能性がありますので、ご注意ください。
- 電池残量が少ない場合や極端に高温になっている場合は、カメラを使用することができません。また、使用中は電池残量低下や温度上昇に応じてディスプレイの輝度が落ちる場合があります。

＜カメラスライドカバーについて＞

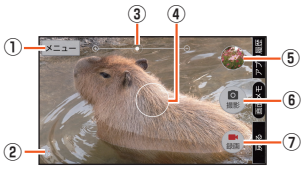
- 次の場合、カメラスライドカバーを開けても、カメラが起動しない場合があります。
  - 着信中や通話中、アップデート中など、カメラと同時に起動できない機能／アプリが動作中
  - 写真／動画の撮影機能を持ったアプリが動作中
- アウトカメラを使用中にカメラスライドカバーを閉じると、カメラが終了します。

撮影画面の見かた

1 カメラスライドカバーを下にスライド



- ホーム画面→[カメラ]と操作しても「カメラ」を起動できます。
- カメラスライドカバーを閉じた状態でカメラを起動すると、注意画面が表示されます。カメラスライドカバーを開くと、撮影画面が表示されます。



《モニター画面》

① **メニュー**
カメラを設定します（▶P.46「撮影前の設定をする」）。
② **電池レベル状態**
電池残量が少なくなったときに表示されます。
③ **ズーム**
画面上で2本の指を広げたり狭めたりするとズームバーが表示され、ズームを調整できます。＋（音量上ボタン）／－（音量下ボタン）を押してズームを調整することもできます。
④ **フォーカス枠**
⑤ **直前に撮影／録画したデータ**
直前に撮影／録画したデータのサムネイルを表示します。タップするとデータを確認できます（▶P.47「データを再生する」）。
⑥ **撮影（シャッター）**
⑦ **録画／停止**

撮影前の設定をする

1 モニター画面→[メニュー]
カメラ設定画面が表示されます。

2

撮影サイズ	静止画／動画のサイズを選択します。
カメラ切替	アウトカメラとインカメラを切り替えます。
フラッシュ	撮影ライトの点灯方法を設定します。
連写※	静止画を連写撮影できます。
画像補正	露出レベルの異なる複数枚の写真を1枚の写真に合成したり（HDR）、手振れ補正の設定をします。 「自動HDR」「手振れ補正」「OFF」
タイマー※	セルフタイマーを設定します。設定した秒数が経過した後、静止画を撮影します。 「OFF」「2秒」「5秒」「10秒」 • カウントダウン中はカウントダウン音が鳴動し、撮影ライトが点滅します。 • カウントダウン中に○を押す／「撮影」をタップすると、カウントダウンを中止して撮影を開始します。
位置情報	設定後に撮影したすべての静止画／動画に位置情報を付加します。
保存先	保存先を設定します。 「本体」「SDカード」

※ 静止画撮影の場合のみ

静止画を撮影／動画を録画する

■ 静止画を撮影する場合

1 カメラスライドカバーを下にスライド→画面をタップ
タップしたところにピントが合います。
・モニター画面をロングタッチするか、📷を半押しするとフォーカスロックされます。

2 📷／[撮影]
撮影したデータは自動的に保存されます。

■ 動画を録画する場合

1 カメラスライドカバーを下にスライド→[録画]
録画が開始されます。
・設定した撮影モードにより「録画」が表示されていないときは、動画の録画はできません。
・録画中に「撮影」をタップすると、静止画を撮影できます。

2 📷／[停止]
録画が停止します。録画したデータは自動的に保存されます。

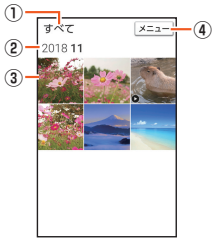
memo
◎ 着信中や通話中、アップデート中は、カメラスライドカバーを下にスライドしてもカメラが起動しない場合があります。
◎ モニター画面で約2分間何も操作しないと、カメラが終了します。
◎ 常時、オートフォーカスが動作し、自動でピントを合わせるコンティニュアスAF機能を搭載しておりますが、被写体によっては、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
◎ 録画中は送話口（マイク）でのみ、録音できます。

写真／動画

データを再生する

写真／動画は、内部ストレージ／microSDメモリカード内の画像／動画を一覧表示し再生できます。また、アルバムとして管理することもできます。

1 ホーム画面→[写真／動画]→[写真／動画]



《データ一覧画面》

① **表示カテゴリ名**
② **保存年月**
データを保存した年月が表示されます。
③ **保存データ**
④ **メニュー**
表示中の各画面で、メニューが表示されます。表示カテゴリの変更やデータの選択、スライドショーなどの操作ができます。

2 データを選択
データが再生されます。
表示中のデータをタップすると、以下の項目が表示されます。
・メニュー：表示中のデータの共有やお気に入りへの追加、スライドショーへの登録、データの削除などが行えます。
・テレビde写真：テレビde写真を起動します（▶P.57）。

memo
◎ 写真／動画で表示されるデータの中には、再生できないものもあります。

静止画を編集する

静止画を編集できます。編集可能なファイル形式は、.jpg形式、.png形式などです。データによっては利用できない場合があります。

1 データ一覧画面→データを選択

2 画面をタップ→[メニュー]→[編集]
データ編集画面が表示されます。

3 編集に使用するアプリを選択
画面の指示に従って操作してください。

Play Music

音楽データを再生する

音楽やプレイリストなどを再生できます。
内部ストレージ／microSDメモリカードに保存されたコンテンツをカテゴリ別に表示して再生できます。
・音楽再生中に「microSDメモリカードを取り外す」（▶P.60）ことは行わないでください。

音楽を再生する

1 ホーム画面→[Google]→[Play Music]

2 [☰]→[音楽ライブラリ]
アイテムのリスト画面が表示されます。

3 アイテムをタップ

4 曲をタップ

memo
◎ 音量は、+（音量上ボタン）／−（音量下ボタン）で調節します。

曲や曲に関連する情報を検索する

内部ストレージ／microSDメモリカードに保存されている曲を検索したり、曲に関連する情報を検索することができます。

1 ホーム画面→[Google]→[Play Music]

2 [☰]→[音楽ライブラリ]

3 [🔍]→検索する曲の情報を入力

プレイリストを作成する

1 ホーム画面→[Google]→[Play Music]

2 [☰]→[音楽ライブラリ]→「アルバム」／「曲」タブをタップ→アルバム／曲の「⋮」をタップ→[プレイリストに追加]→[新しいプレイリスト]

3 プレイリスト名を入力→[プレイリストを作成]

memo
◎ プレイリストに曲を追加するには、操作2で「プレイリストに追加」をタップした後、追加したいプレイリストを選択してください。
◎ プレイリストを削除するには、ホーム画面→[Google]→[Play Music]→[☰]→[音楽ライブラリ]→「プレイリスト」タブをタップ→プレイリストの「⋮」をタップ→[削除]→[OK]と操作します。なお、曲は削除されません。

Playムービー&TV

Playムービー&TVを利用する

Google Playで映画をレンタルしたり、保存した動画を視聴したりできます。
・ビデオの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.20）をご参照ください。

1 ホーム画面→[Google]→[Playムービー&TV]

2 視聴する動画をタップ
画面の指示に従って操作してください。

テレビ

テレビについて

テレビ(ワンセグ)は、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。
地上デジタルテレビ放送サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
一般社団法人 放送サービス高度化推進協会
http://www.apab.or.jp/

テレビ利用時のご注意

- テレビの利用には、通話料やデータ通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はデータ通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- テレビ画面表示中は、本製品が温かくなり、長時間肌に触れたまま操作していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。

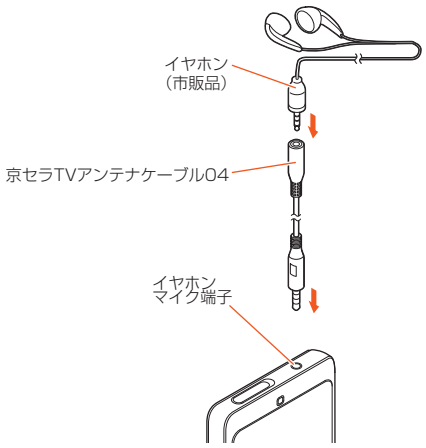
■ 電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化する場合や受信できない場合があります。
- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。
- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

■ 京セラTVアンテナケーブル04について

同梱の京セラTVアンテナケーブル04を使用してください。
イヤホン(市販品)で音声を聞くときは、京セラTVアンテナケーブル04にイヤホン(市販品)を接続してください。スピーカーから音声を出力する場合は、京セラTVアンテナケーブル04のみ接続してください。



テレビの初期設定をする

テレビを初めて起動したときは、視聴するエリアを設定します。設定が完了すると、テレビを見ることができます。

1 ホーム画面→[ツール]→[テレビ]
TVアンテナの説明が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 [OK]→エリア(地方・都道府県・地域)を選択
スキャンされたチャンネル一覧が表示されます。

3 [OK]→[OK]

テレビを見る

1 ホーム画面→[ツール]→[テレビ]
テレビ視聴画面が表示されます。

《テレビ視聴画面》

《テレビ視聴画面(全画面)》

① **映像**
② **字幕**
③ **データ放送**
④ **データ放送用リモコン**
[◀]:前ページに戻る
[∧]/[∨]:カーソル移動
[●]:項目の選択
⑤ **メニュー**※
⑥ **視聴用リモコン**※
※ 映像もしくは字幕のエリアをタップすると、表示/非表示されます。

memo
◎ 音量は、[+][−](音量上/下ボタン)で調節します。
◎ テレビを起動したときやチャンネルを切り替えたときに、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
◎ 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。

■ テレビ視聴中の操作

テレビ視聴画面で映像もしくは字幕をタップすると視聴用リモコンが表示され、次の操作ができます。
[前のch]/[次のch]:前/次のチャンネルに切り替え
※ 映像もしくは字幕のエリアを左右にフリック/スライドしても、前/次のチャンネルに切り替えられます。
[画面回転]:縦画面表示/横画面表示の切り替え
チャンネル一覧:チャンネル一覧を表示してチャンネル切り替え

テレビの設定をする

1 テレビ視聴画面→[メニュー]
・「メニュー」が表示されていない場合は、映像もしくは字幕をタップしてください。

2

番組	番組表	▶P.49「番組表を利用する」
	番組詳細情報	視聴中の番組の詳細情報を表示します。
	番組情報	視聴中のチャンネルの番組情報を確認します。
視聴予約	▶P.49「テレビ番組を視聴予約する」	
テレビリンク	▶P.49「テレビリンクを表示する」	
エリア切替	▶P.49「放送エリアを登録・変更する」	
字幕/音声設定	字幕表示	字幕表示のオン/オフを切り替えます。
設定	データ放送設定	データ放送の位置情報利用設定や端末情報利用設定、放送局メモリー削除を行います。
	オフタイマー	テレビを自動的に終了する時間を設定します。
	ご利用にあたって	ご利用にあたっての情報を表示します。

※ 操作の状況により、表示される項目は異なります。

memo
◎ データ放送を見る場合は、通話料やデータ通信料はかかりません。ただし、データ放送で取得した情報からの関連サイトへのアクセスや追加情報の取得には、データ通信料がかかります。

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報(テレビリンク)が表示される場合があります。テレビリンクを本製品に登録すると、後で関連サイトに接続できます。

■ テレビリンクを登録する

1 テレビ視聴画面→登録するリンクをタップ

memo
◎ テレビリンクの登録方法は番組によって異なります。

■ テレビリンクを表示する

1 テレビ視聴画面→[メニュー]→[テレビリンク]
テレビリンクリスト画面が表示されます。

2 テレビリンクをタップ→画面の指示に従って操作
・テレビリンクをロングタッチすると、詳細表示／1件削除などの操作が行えます。

memo
◎ テレビリンクリスト画面で「メニュー」をタップすると、全件削除の操作が行えます。
◎ テレビリンクには有効期限が設定されている場合があります。

テレビを終了する

1 テレビ視聴画面→ を押すか、[戻る]

番組表を利用する

番組表を利用できます。番組表からテレビ視聴画面の表示や視聴の予約などが利用できます。
・視聴や予約ができるのは地上デジタルテレビ放送の番組のみです。

1 テレビ視聴画面→[メニュー]→[番組]→[番組表]
番組表アプリのダウンロード画面が表示されます。
・番組表を初めて起動したときは、チュートリアル画面、登録画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 番組を選択
番組情報画面が表示されます。

テレビ番組を視聴予約する

テレビ番組の視聴の予約ができます。

1 テレビ視聴画面→[メニュー]→[視聴予約]
視聴予約画面が表示されます。

2 [メニュー]→[新規予約]→[視聴予約]
・「番組表から」を選択すると、番組表(▶P.49)から視聴の予約ができます。

3

タイトル	番組名を登録します。
放送局名	チャンネルを設定します。
開始日時	開始日時を設定します。
終了日時	終了日時を設定します。
繰り返し	予約の繰り返しを設定します。

4 [保存]→[はい]
設定した予約が表示されます。
・予約をタップすると、予約内容を確認できます。
・予約をロングタッチ→[削除]／[編集]と操作すると、予約を削除／編集できます。

■ 予約した時刻になると

予約時刻になると、ステータスバーに「」が表示され、「予約お知らせ設定」(▶P.49)の設定に従って視聴の開始をお知らせします。
・「予約お知らせ設定」の「アラーム音通知時間」の設定に従い、視聴の開始を事前にお知らせします。

memo
◎ 終了日時やオフタイマーの設定により、テレビは自動的に終了します。
◎ 視聴予約画面で「メニュー」をタップすると、予約失敗一覧の表示、予約お知らせ設定の変更ができます。

予約お知らせを設定する

視聴予約の開始前、開始時、終了時のお知らせ動作を設定できます。

1 視聴予約画面→[メニュー]→[予約お知らせ設定]

2

アラーム音	予約お知らせ時にアラーム音を鳴らすかどうかを設定します。
バイブ	予約お知らせ時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
お知らせLED	予約お知らせ時に着信ランプを点滅させるかどうかを設定します。
アラーム音通知時間	視聴予約の開始日時からどのくらい前に通知するかを設定します。

放送エリアを登録・変更する

お使いの地域(放送エリア)によって受信チャンネルは異なります。放送エリアは10件まで登録できます。

放送エリアを登録する

1 テレビ視聴画面→[メニュー]→[エリア切替]
エリア切替画面が表示されます。

2 登録するエリアを選択→[OK]→エリア(地方・都道府県・地域)を選択

3 [OK]

放送エリアを変更する

1 テレビ視聴画面→[メニュー]→[エリア切替]
エリア切替画面が表示されます。

2 視聴するエリアを選択
視聴する放送エリアが変更されます。

auサービスTOP

auサービスTOPを利用する

最新ニュースや天気、乗換案内などのデイリーツールはもちろん、「auスマートパス」や「au WALLET」などのauの様々なサービスを最大限活用するためのポータルアプリです。au WALLETポイントが当たるコンテンツやお得なプレゼント情報などをご案内します。
• 利用方法、最新のお知らせについては、「auサービスTOP」アプリをご参照ください。

memo
◎ ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
◎ 一部のアプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面→[サービスTOP]
auサービスTOPのホーム画面が表示されます。
• auサービスTOPのご利用にはau IDのログインが必要です。au IDについて詳しくは、本製品同梱の『かんたんマニュアル』をご参照ください。
• 初めて起動したときは、基本設定画面などが表示されます。
• 内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
• ニュース、天気、乗換などのデイリーツールやポイントガチャ、au WALLET情報、各種auサービスの特典情報などが表示されます。
• 設定内容はauサービスTOPのホーム画面で[メニュー]→[設定]と操作すると変更ができます。

memo
◎ お客様が操作していない場合でも自動的にデータ通信が行われる場合があります。
◎ コンテンツによっては、本製品に対応していない場合があります。
◎ 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

auスマートパス

auスマートパスを利用する

「auスマートパスプレミアム」／「auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。お得で、楽しく、あんしんなスマホライフを提供します。
• 利用方法、最新のお知らせについては、「auスマートパス」アプリをご参照ください。

memo
◎ ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
◎ 一部のアプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面→[auサービス]→[auスマートパス]
auスマートパスTOPページが表示されます。
• auスマートパスアプリのご利用にはau IDのログインが必要です。au IDについて詳しくは、本製品同梱の『かんたんマニュアル』をご参照ください。
• 初めて起動したときは、利用権限の概要、初期設定などの画面が表示されます。
• 内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
• 設定内容はサイドメニュー※の「設定」から変更ができます。
※ サイドメニューを表示するには画面左下の「三」(メニュー)をタップしてください。

My au(auお客さまサポート)

My auを利用する

月々のご請求金額やご利用状況などを簡単に確認できるほか、My auウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申し込み・変更手続きができます。
• 利用方法などの詳細については、My auアプリ起動中に[MENU]→[本アプリについて]→[ヘルプ]と操作してMy auのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→[My au]
My auのトップ画面が表示されます。
• 初めて起動したときは、画面の指示に従ってログインしてください。
• 「端末管理アプリ」を有効にする画面や利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
※「端末管理アプリ」を有効にすることで、本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターから遠隔操作でロックする機能をご利用いただけます。

2 確認する項目を選択する
現在のご利用状況、ご請求金額、ご契約内容の確認や、各種お手続きができます。

auスマートサポート

auスマートサポートでできること

24時間365日体制※1のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「遠隔操作サポート(リモートサポート)」を利用して、遠隔操作によるサポートサービスを利用することができます。
その他、初期設定・基本操作や人気アプリの利用方法を、ご自宅に訪問し丁寧にご説明する「スマホ訪問サポート※2(8,500円～14,500円／回、税抜)※3」や、初心者の方にも分かりやすい「使い方ガイド本※4」プレゼントなど、安心してスマートフォンをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。
• ご利用にはお申し込みが必要です。ご利用料金や詳細については、auホームページ(https://www.au.com/)でご確認ください。
※1 22時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。
※2 訪問先はお客様のご契約住所に限ります。また、別途交通費がかかる地域がございます。
※3 コースにより料金が異なります。コースやメニューの内容はauホームページをご確認ください。
※4 本のプレゼントは一回限りとなります。

memo
◎ 「遠隔操作サポート」のご利用にあたっては、「遠隔操作サポート」(▶P.51)をあわせてご参照ください。

位置検索サポート

位置検索サポートについて

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客様のパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索、ロックをすることができます。
※ 本製品を遠隔操作で位置検索、ロックする場合は、auスマートサポートまたはauスマートパス、故障紛失サポートへの加入が必要です。

memo
◎ ご利用の際には「端末管理アプリ」で「My au」を有効にしてください。無効の場合は、ロックが正常に動作しないことがあります。
◎ My auのアプリ上で位置情報へのアクセスなどの確認ダイアログが表示される場合には、「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供した基地局から推測される位置情報およびGPS情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ご利用上の注意

• My auに本製品の位置情報へのアクセス許可がされていない場合は、GPS情報による位置検索をご利用いただけません。
• サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。

遠隔操作サポート

遠隔操作サポートを利用する

スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

※ ご利用にあたってはauスマートサポートまたはauスマートパス、故障紛失サポートへの加入が必要です。

1 お客さまセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートパス会員は局番なしの157番(au電話から／通話料無料)、
0077-7-111(一般電話から／通話料無料)までご連絡ください。
auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

2 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[au設定メニュー]→[コミュニケーターが遠隔操作でサポート]

初回起動時には許可画面や使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

3 オペレーターの指示に従って操作

故障紛失サポート

故障紛失サポートを利用する

「故障かな？」と思ったときのトラブル診断、簡単操作で故障紛失サポートセンターへ電話相談、インターネットでの交換申込、データ移行をトータルにサポートする便利なアプリです。

1 ホーム画面→[サポート]→[故障紛失サポート]

トップメニュー画面が表示されます。

- 初めて起動したときは許可画面や利用規約などの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2

トラブル診断	お客様ご自身で診断することができます。質問に答えていくと、トラブルの対処方法が見つかります。 調子が悪いと思ったら、まずは診断！
オンライン交換受付	オンライン交換受付のログイン画面をワンタッチで呼び出します。
故障相談受付	簡単操作で、故障相談窓口となる「故障紛失サポートセンター」へお電話をおつなぎします。
データ移行アプリ	ご利用の機種に対応したデータ移行アプリを起動します。

memo

◎「 (MENU)」をタップするとサイドメニューが開きます。
トップメニュー画面の4機能へのアクセスに加え、電話機本体機能の診断などいくつかのメニューを提供しています。
◎ 各機能利用中にトップメニュー画面に戻るときはサイドメニューの「トップ」をタップしてください。

あんしんフィルター for au

あんしんフィルターfor auを利用する

お子様にスマートフォンを安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブページへのアクセスやアプリのご利用を制限するフィルタリングアプリです。
お子様の年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」・「高校生プラス」の4段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブページやアプリの制限／許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。
また、保護者が指定した相手先にのみ通話を制限したり、夜間などスマートフォンのご利用を制限したりすることもできます。

- au IDでご利用の場合はau IDが必要です。au IDの設定方法については「au IDを設定する」(▶P.20)をご参照ください。

1 ホーム画面→[サポート]→[あんしんフィルター for au]

初めて起動したときは、許可画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

2 [au 電話番号でログイン]／[au IDでログイン]

画面の指示に従って操作してください。

※ ご利用になるお子様のau電話番号もしくはau IDでログインしてください。
※ 旧サービス「安心アクセス」から継続でご利用されるお子様の場合のみ、au IDでログインしてください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト／アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト／アプリは利用可能です。
高校生	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト／アプリは利用可能です。
高校生プラス	• お子様の閲覧に不適切なサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト／アプリは利用可能です。

※ 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

5 [規約に同意してサービスを利用開始する]→[OK]

利用規約を必ずご確認ください。
「端末管理アプリ」を有効にする画面が表示されます。

6 [この端末管理アプリを有効にする]

ウェブページが表示されます。

■ 管理者情報を登録する

1 ホーム画面→[サポート]→[あんしんフィルター for au]

2 [ ]→[管理者登録]

- 画面上の「ここをタップして、あんしんフィルター for auの管理者IDを登録してください。」の表示をタップしても管理者登録の設定画面に進むことができます。

3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]

管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]

memo

◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

■ 管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。
※ 以下の手順でお子様のスマートフォンから利用することも可能です。

1 **ホーム画面→[サポート]→[あんしんフィルター for au]**

2 **[⋮]→[設定]→[管理者ページ]**

3 **管理者IDとパスワードを入力→[ログイン]**

4

管理者設定	管理者ID(メールアドレス)やパスワードの変更ができます。
端末情報	管理しているスマートフォンの名前を設定できます。
フィルタリング機能	年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可／制限などカスタマイズが可能です。

memo

◎ 詳しくは、auホームページをご参照ください。
https://www.au.com/mobile/service/smartphone/safety/anshin-access/

Androidアプリ

Google Playを利用する

• Google Playの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。

アプリを検索し、インストールする

1 **ホーム画面→[Play ストア]**
Google Play画面が表示されます。
利用規約画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

■ 有料のアプリを購入するときは

アプリが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。
• アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

アプリケーションを管理する

提供元不明のアプリのダウンロード

提供元不明のアプリをダウンロードする前に、本製品の設定でダウンロードを許可する必要があります。

1 **ホーム画面→[ツール]→[設定]→[スタート画面とセキュリティ]→「提供元不明のアプリ」を「ON」にする**

2 **注意文を確認し[OK]**

YouTube

YouTubeを利用する

Googleが提供するオンライン動画ストリーミングサービス「YouTube」を利用して、動画の再生や、キーワード入力による動画検索、カテゴリ別表示、撮影した動画のアップロードができます。

1 **ホーム画面→[Google]→[YouTube]**
新機能の紹介画面が表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 **再生する動画を選択**

memo

◎ 動画をアップロードするには、YouTubeへのログインが必要になります。あらかじめGoogleアカウントを取得してください。
◎ YouTubeの詳細については、YouTube画面→[👤]→[ヘルプとフィードバック]と操作してご確認ください。

Googleサービス

Duoを利用する

Duoは、Googleのインスタントメッセージサービスです。
Duoを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。
• Duoの利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。

Duoにログインする

1 **ホーム画面→[Google]→[Duo]**
Googleアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

memo

◎ Duoの詳細については、Duoの画面→[⋮]→[ヘルプとフィードバック]と操作してご確認ください。

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

1 ホーム画面→[Google]→[マップ]

Googleマップ画面が表示されます。
メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

memo

◎ Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などを行うには、あらかじめデータ通信／GPS機能を有効にする必要があります。
◎ 指定のACアダプタ(別売)やUSB Type-Cケーブル(市販品)、卓上ホルダによる充電中は、電流による磁気が影響し、地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。ケーブル類や卓上ホルダから外してご使用ください。
◎ 方位計は、地球の微小な磁場を感知して方位を算出しています。以下の場所では、計測の障害になったり、誤差が大きく発生したりする場合がありますので、それらがない場所に移動してから計測してください。
・建物(特に鉄筋コンクリート造り)、大きな金属の物体(電車、自動車)、高圧線、架線など、金属(鉄製の机、ロッカーなど)、家庭電化製品(テレビ、パソコン、スピーカーなど)、永久磁気(磁気ネックレスなど)
◎ 地磁気の弱い場所では方位計測に影響する場合があります。
◎ 以下の場合は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがあります。
・方位計の起動直後や、本製品を強い磁力に近づけた場合
・急激な温度変化を伴う環境に長時間置いた場合
・本製品が磁気を帯びた場合
◎ Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。

ストリートビューを表示する

地図から実際の景色を表示できます。

1 Googleマップ画面→表示する地点をロングタッチ

2 地点情報をタップ→画像をタップ

ストリートビュー画面が表示されます。

興味のある場所を検索する

1 Googleマップ画面→キーワード入力欄に検索する場所を入力

2 [🔍]

マップ画面の検索した場所に「📍」が表示されます。
・「📍」をタップすると、検索した場所の詳細情報を確認できます。
・キーワード入力欄の「×」をタップすると、検索を終了できます。

周辺のスポットを確認する

1 Googleマップ画面→キーワード入力欄をタップ

2 カテゴリをタップ

・カテゴリをタップすると、マップ画面に選択したカテゴリの場所を示すアイコンが表示されます。目的の場所のアイコンをタップし、「📍」をタップすると、詳細情報を確認できます。

道案内を取得する

Googleマップを利用して、目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 Googleマップ画面→[🔀](経路)

2 「目的地を入力」に目的地を入力→[🔍]

経路の候補が表示されます。
・「現在地」をタップすると、出発地を入力できます。

3 [🚗](車)／[🚌](公共交通機関)／[🚶](徒歩)／[🚲](配車)

4 目的の経路を選択

目的地への道案内が表示されます。
・移動方法に車または徒歩を選択した場合は、画面下部の「▲ 開始」をタップすると道案内が開始されます。画面下部の経路情報をタップすると、経路を文字情報で確認できます。
・移動方法に公共交通機関を選択した場合は、画面下部の経路情報をタップすると経路を確認できます。

カレンダー

カレンダーを利用する

カレンダーをスケジュール、1日、1週間、1ヶ月、1年で表示することができます。
・カレンダーの利用にはGoogleアカウントが必要です。Googleアカウント設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。Googleアカウントの設定については、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。

1 ホーム画面→[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。
・説明画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

memo

◎ カレンダー画面→[月]→[年]／[月]／[週]／[日]／[予定リスト]と操作すると、カレンダーの表示を切り替えることができます。

カレンダーのメニューを利用する

1 カレンダー画面→[メニュー]

2

予定を作成	▶P.53「予定を新規登録する」
今日に戻る	カレンダーを当日に移動します。
検索	予定を検索します。
更新	同期しているカレンダーを更新します。
表示するカレンダー	同期するカレンダーを選択します。
設定	▶P.53「カレンダーを設定する」

予定を新規登録する

1 カレンダー画面→[メニュー]→[予定を作成]

新規作成画面が表示されます。

2 必要な項目を入力

3 [完了]

カレンダーを設定する

週の開始日やタイムゾーン、バイブレーションなどを設定します。

1 カレンダー画面→[メニュー]→[設定]→[全般設定]

2 変更する項目を選択

時計

アラームを利用する

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせできます。

1 ホーム画面→[アラーム]

アラーム一覧画面が表示されます。

・説明画面が表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

2 登録先の時刻をタップ

登録先を追加するには、[メニュー]→[追加]をタップしてください。

3 時刻を設定→[OK]

・設定済みのアラームを編集する場合は、編集するアラームの空白部分または「詳細」をタップし、変更する項目を選択します。

4

繰り返し	アラームの繰り返しを曜日で指定します。 ・平日(土日、日本の祝日以外)のみアラームを鳴動させる場合は「平日」を選択します。
アラーム音	アラーム音を設定します。
バイブレーション	アラーム音と同時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。
スヌーズ	スヌーズを利用するかどうかや、スヌーズの間隔を設定します。
アラーム名追加	名称を設定します。

5 [ON]／[OFF]

memo

◎ アラームを設定した時刻になると、アラーム音やバイブレータが設定時間の間鳴動し、アラーム名が表示されます。
◎ 通話中にアラームが起動した場合、受話部(レシーバー)からアラームを知らせる割込音が鳴ります。
◎ アラームを停止する場合は、「止める」をタップするか「スヌーズ」をタップします。
◎ 電源が入っていない場合は、アラームは鳴りません。

アラームを削除する

1 アラーム一覧画面→削除するアラームの「詳細」をタップ

2 [削除]

アラームの設定をする

1 アラーム一覧画面→[メニュー]→[設定]

2

アラーム優先	マナーモード設定中にアラーム音を鳴動するかどうかを設定します。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
アラーム鳴動時間	アラーム音やバイブレータが停止するまでの時間を設定します。
ボタン動作	アラーム鳴動時に[ ](電話ボタン)／[ ](ホームボタン)／[ ](カメラボタン)／[ ](音量上ボタン)／[ ](音量下ボタン)を押した場合の動作を設定します。
デフォルトのアラーム音	「プリセット」／「サウンド」をタップするとアラーム音を一覧から選択できます。 「サイレント」を選択すると、アラーム音は鳴りません。
週の始まり	週の始まりの曜日を選択します。

タイマーを利用する

指定した時間をタイマー音でお知らせできます。

1 ホーム画面→[ツール]→[タイマー]

タイマー画面が表示されます。

・「＋10分」、「＋1分」、「＋10秒」をタップすると、設定済みの時間を増やすことができます。
・「0秒に戻す」をタップすると、設定済みの時間が0秒になります。
・[メニュー]→「設定」をタップすると、タイマーの設定画面が表示され、マナーモード設定中にタイマーを優先するかどうかなどを設定できます。

2 時間をタップ

3 時間を入力→[OK]→[スタート]

カウントダウンが始まります。カウントダウンが終了すると、タイマー音が鳴ります。「止める」をタップするとタイマー音は止まります。

「＋10分」、「＋1分」、「＋10秒」をタップすると、時間を増やしてカウントダウンを再開できます。

また、タイマーを途中で停止する場合は「一時停止」をタップします。「スタート」をタップするとカウントダウンを再開します。「最初から」をタップするとカウントダウンをリセットします。

ストップウォッチを利用する

1 ホーム画面→[ツール]→[ストップウォッチ]

ストップウォッチ画面が表示されます。

2 [スタート]

時間計測が始まります。

memo

◎ 計測を一時停止する場合は「ストップ」をタップし、再開する場合は「スタート」をタップします。「リセット」をタップすると、計測をリセットします。
◎ ラップタイムを計測する場合は、「ラップ」をタップします。

世界時計を利用する

複数の都市を登録して、日付・時刻を確認できます。

1 ホーム画面→[ツール]→[世界時計]

世界時計画面が表示されます。

・[メニュー]→[設定]と操作すると、世界時計の設定画面が表示され、表示スタイルや自宅タイムゾーンなどを設定できます。

2 [メニュー]→[都市追加]

世界時計の都市選択画面が表示されます。

・[メニュー]→[並び順－時間]／[並び順－名前]と操作すると、時間順／名前順に並べ替えて選択することもできます。

3 登録する都市を選択→[←]／[戻る]

・「全ての地域」をタップして地域を選択すると、選択した地域が表示されます。
・「国と都市を全て表示」にチェックを入れると、全ての国と都市を表示します。

memo

◎ 登録した都市を削除する場合は、[メニュー]→[都市追加]→選択した都市のチェックを外します。

歩数計

歩数計を利用する

歩数や消費カロリー、目標歩数の設定などができます。

1 **ホーム画面→[歩数計]**

歩数計画面が表示されます。

- 初回起動時には確認画面が表示されます。「すぐに始める」/「プロフィール設定」をタップしてください。「プロフィール設定」をタップすると、カロリーと距離の計算に利用するあなたの情報が設定できます。
- 「プロフィール設定」は、歩数計設定画面からも設定できます(▶P.55)。

memo

◎「データの初期化」(▶P.55)を利用すると、歩数データをリセットできます。
◎ 次のような場合、正確に歩行を測定できないことがあります。
- 本製品が不規則に動くとき
  -体に当たってはねるかばんの中など
  -首や腰、かばんからぶら下げたとき
- 不規則な歩行をしたとき
  -すり足歩行、サンダル、草履などの履物での歩行
  -混雑した街を歩くなどの歩行の乱れ
  -水辺や水中などでの歩行
- 上下運動や振動の多い所で使用したとき
  -立ったり、座ったりする動作
  -歩行以外のスポーツ
  -階段や急斜面の昇り降り
  -乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗車中の振動

◎ 振動する台の上や連続する振動が伝わるような場所に置くと、歩数としてカウントされる場合があります。
◎ 歩き始めは歩行かどうかの判断を行うため、10歩程度(5秒以上)の歩行を検出するまで、カウントを始めません。カウント開始時に、それまでに取得した歩数も合わせて表示します。
◎ 日付が変更されると、前日までのデータを記録し、歩数カウントをゼロから開始します。
◎ 測定した歩数や歩行距離、移動手段別時間の記録、消費カロリーはあくまで目安です。基礎代謝量は含みません。

歩数計を設定する

1 **歩数計画面→[メニュー]→[設定]**

歩数計設定画面が表示されます。

2

歩数計	歩数計のオン/オフを設定します。
歩数計通知	前日の歩数を指定した連絡先へ通知するかどうかを設定します。
プロフィール設定	身長、体重などを設定します。
目標設定	歩数・消費カロリーの目標を設定します。
お知らせ通知	目標達成をお知らせするかどうかを設定します。
データの初期化	すべてのデータや設定をリセットします。

電卓

電卓を利用する

電卓を利用できます。

1 **ホーム画面→[電卓]**

電卓画面が表示されます。
「AC」:計算結果を消去します。
「DEL」:最後に入力した数字/記号を消去します。

メモ帳

メモ帳を利用する

1 **ホーム画面→[メモ帳]**

メモ一覧画面が表示されます。

- 「検索」をタップして検索ワードを入力すると登録したメモを検索できます。

2 **[新規作成]→タイトルとメモを入力→[保存]**

メモが保存されます。

メモを確認/編集する

1 **メモ一覧画面→メモをタップ**

メモ詳細画面が表示されます。
タイトルまたはメモをタップするとメモ入力画面に切り替わり、タイトルやメモを編集できます。

- メモ詳細画面で「メニュー」をタップすると、メモの削除や共有、カラーの設定を行えます。

memo

◎ メモ詳細画面の電話番号/メールアドレス/URLをタップすると、発信、SMSの作成、メールの作成、インターネットでサイトの表示などが行えます。

メモを選択して削除する

1 **メモ一覧画面→[メニュー]→[削除]**

2 **削除するメモを選択→[OK]→[OK]**

音声レコーダー

音声レコーダーを利用する

1 ホーム画面→[ツール]→[音声レコーダー]
音声レコーダー画面が表示されます。

2 [録音]
録音が開始されます。

3 [停止]
録音が停止され、録音した音声が保存されます。
・「一時停止」をタップすると録音を一時停止することができます。録音を再開する場合は「録音」をタップしてください。
・録音を停止すると再生画面が表示され、「再生」をタップすると録音した音声を再生して確認できます。
・音声レコーダー画面→[メニュー]→[ファイル形式]／[保存先]と操作すると、録音した音声データの録音ファイル形式や保存先を設定できます。

memo
◎ Bluetooth®機能で接続しているマイクから録音することはできません。本製品の送話口(マイク)で録音してください。

音声を再生する

1 音声レコーダー画面→[録音データー覧]
音声データー覧画面が表示されます。
・音声データー覧画面→[メニュー]→[削除]と操作すると、音声データを削除することができます。

2 音声データをタップ
再生画面が表示され、音声の再生が開始されます。
・再生画面の「メニュー」をタップすると、音声データの削除や名称変更、共有、詳細情報の表示を行うことができます。
・再生画面で再生中／一時停止中に「巻き戻し」／「早送り」をタップすると、再生の巻き戻し／早送りができます。

memo
◎ ホーム画面→[ツール]→[File Commander]→[ミュージック]→[内部共有ストレージ]／[SDカード]→音声データをタップしても音声を再生することができます。

音声データを選択して削除する

1 音声データー覧画面→[メニュー]→[削除]

2 削除する音声データを選択→[OK]→[OK]
・[すべて選択]→[OK]→[OK]と操作すると、すべての音声データを削除することができます。

簡易ライト

簡易ライトを利用する

簡易ライトを利用できます。

1 ホーム画面→[ツール]→[簡易ライト]
簡易ライト画面が表示されます。

2 [ON]／[OFF]
簡易ライトが点灯／消灯します。
・「点滅スピード」や「明るさ」を変更することができます。

memo
◎ 簡易ライトの点灯時間を変更する場合は、「メニュー」をタップします。
◎ 簡易ライトを目に近づけて点灯させないでください。また、簡易ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様に簡易ライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
◎ カメラ起動中は使用できません。
◎ ご使用時は電池の減りにご注意ください。

エコモード

エコモードを利用する

スリープ時間や画面の明るさを最小値に設定したり、Wi-Fi®やBluetooth®接続などをオフにしたりすることで電池の消耗を抑えます。

1 ホーム画面→[ツール]→[エコモード]
エコモード画面が表示されます。

2 [ON]／[OFF]
エコモードがオン／オフに切り替わります。

memo
◎ エコモード画面には、現在の状態や設定を基に算出した利用可能時間が表示されます。

エコモードを設定する

一括で無効、または最小値にする項目を設定します。

1 エコモード画面→[メニュー]→[詳細設定]
エコモード詳細設定メニューが表示されます。

スリープ時間変更	画面が自動消灯するまでの時間を選択します。
画面の明るさ調整	画面の明るさを設定します。
画面の向きを固定	画面の向きを縦に固定します。
Wi-Fi OFF	Wi-Fi®をオフにするかどうかを設定します。
Bluetooth OFF	Bluetooth®をオフにするかどうかを設定します。
位置情報アクセスOFF	位置情報アクセスをオフにするかどうかを設定します。
自動同期OFF	アカウントの自動同期をオフにするかどうかを設定します。
CPU動作制限	CPUクロックの上昇を制限します。端末動作が遅くなる場合があります。
データ通信OFF	データ通信をオフにするかどうかを設定をします。

自動設定を利用する

設定した電池残量になったときに自動でエコモードを設定することができます。

1 エコモード画面→[メニュー]→[自動設定]
自動設定画面が表示されます。

2 [なし]／[電池残量でON]
・電池残量を設定するには「電池残量でON」の「設定」をタップします。

テレビde写真

テレビde写真を利用する

「テレビde写真受信機(別売)」をテレビに接続すると、本製品に保存されている写真などをワイヤレスでテレビに映すことができます。

1 テレビde写真受信機(別売)をテレビに接続
- 詳細はテレビde写真受信機(別売)の取扱説明書を参照してください。

2 テレビに映したい画面を本製品で表示
- ホーム画面で[写真／動画]→[写真／動画]→映したい画面をタップして表示します。

3 [テレビde写真]
- 「テレビde写真」が表示されていない場合は、画面をタップすると表示されます。

4 [映す]
- [使い方のご説明]／[機能のご紹介]と操作すると、テレビde写真のガイドを確認することができます。

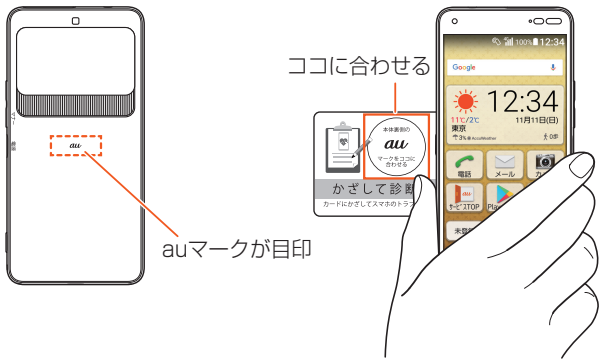
5 接続先をタップ→[OK]→[写真へ遷移]→[OK]
- ホーム画面で[テレビde写真]または通知パネルで[テレビde写真]をタップしてもテレビde写真を起動できます。
- もう一度、「テレビde写真」をタップすると、接続の切断、接続先の変更ができます。

memo
◎ Miracastに対応した受信機でも本機能をご利用になれます。
※ 受信機によっては利用できない場合があります。
◎ テレビde写真受信機(別売)接続中は、本製品から音量調整できない場合があります。

かざして診断

かざして診断を利用する

本製品を、同梱されているかざして診断カードにかざすことで、本製品の状態を確認する「スマホの健康診断」を利用することができます。
- かざして診断をご利用の際に、「NFC(かざして診断)」がONに設定されていることをご確認ください(▶P.69)。



スマホの健康診断を利用する

1 ホーム画面を表示した状態で本製品裏側のauマークを、同梱の「かざして診断カード」のauマークにかざす
スマホの健康診断画面が表示されます。
スマホの健康診断画面が表示されないときは、本製品を前後左右にずらしてみてください。
- ホーム画面で[スマホ健康診断]をタップしてもスマホの健康診断を起動できます。

2 [診察]
診断が開始されます。特に問題がなければ、「異常なし」と表示されます。「健康診断を終了する」をタップしてください。

3 気になる症状をタップ→[治療]
治療を開始します。治療が完了すると「処置しました」と表示されるか、症状の原因が表示されます。
他の症状を治療したい場合は「他の症状を治す」を、診断を終了する場合は「健康診断を終了する」をタップしてください。
「治療」が表示されずに、原因と対処方法が表示される場合もあります。

memo
◎ 本体の電源を入れてからご利用ください。
◎ スチール製の机や金属板の上などに「かざして診断カード」を置くと動作しない場合があります。
◎ 「スマホの健康診断」アプリの利用に際し、費用は発生しません。ただし、データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
◎ 「かざして診断カード」は、BASIO3専用です。
◎ このカードは、折り曲げたり、大きな衝撃を与えたり、高温、磁気を帯びたところに放置しないでください。

使い方練習

使い方練習を利用する

本製品の基本操作を練習することができます。

1 ホーム画面→[使い方練習]
使い方練習画面が表示されます。
- 初めて起動したときは説明画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- プライバシーポリシーの確認画面が表示されたときは「同意する」をタップしてください。

2 [はじめから]
以降は画面の指示に従ってBASIO3の基本操作を練習してください。
- 前回の続きからはじめるときは、[つづきから]をタップしてください。
- 練習内容を選択したいときは、[レッスン一覧へ]をタップしてください。

レッスン一覧から練習する

練習内容をレッスン一覧から選んで使い方を練習します。

1 使い方練習画面→[レッスン一覧]
レッスン一覧が表示されます。

■ レッスン項目
- 画面の操作のしかた
- 文字入力のしかた
- 電話を使う
- SMSを使う
- auメールを使う
- 写真を楽しむ
- インターネットを使う
- 地図を使う

※ レッスンの項目や内容は予告なく変更されることがあります。

ファイル管理

ファイル管理 60
本製品の保存領域について 60
microSDメモリカードを利用する 60
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す 60
USB Type-Cケーブル（市販品）でパソコンと接続する 61
メモリの使用量を確認する 61
microSDメモリカードを初期化する 61
File Commander 61
File Commanderを利用する 61
写真をmicroSDメモリカードに移動する 61

ファイル管理

本製品の保存領域について

本製品は、本体メモリとmicroSDメモリカードにデータを保存することができます。

本体メモリ	アプリや各アプリが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
microSDメモリカード	メディアファイルなどを保存します。

memo

◎ アプリによってはmicroSDメモリカードに保存するメニューやメッセージが表示されても、本体メモリに保存される場合があります。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。
また、microSDメモリカードを、内部ストレージとして使用することもできます。

memo

◎ 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。初期化する方法については、「microSDメモリカードを初期化する」(▶P.61)をご参照ください。
◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。
◎ microSDXCメモリカードはSDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。
SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモリカードをフォーマットした場合、microSDXCカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモリカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

■ 取扱上のご注意

- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- microSDメモリカードを取り付けている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- microSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

■ microSDメモリカードを内部ストレージとして使用する

microSDメモリカードを内部ストレージとして使用できます。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[ストレージ]→[SDカード]

2 [メニュー]→[ストレージの設定]→[内部ストレージとしてフォーマット]

■ microSDメモリカードを内部ストレージとして使用するときのご注意

- 本製品から取り外すと、再度挿入するまで保存されているデータ(アプリや写真など)が使用できなくなります。
- 外部ストレージ化や本製品以外の機器での使用には、再度microSDメモリカードのフォーマット(初期化)が必要です。
- 本製品の初期化や修理交換を行った場合、保存されているデータの読み書きができなくなります。

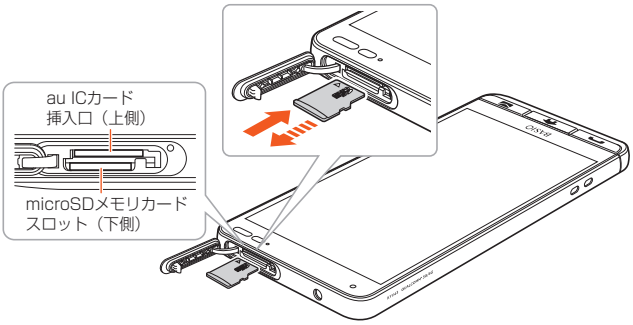
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

microSDメモリカードを取り付ける

1 本製品のカード挿入口カバーを開ける

2 microSDメモリカードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。



3 カード挿入口カバーを閉じる

memo

◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損したりするおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

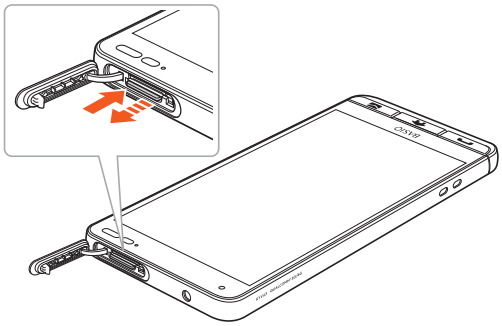
microSDメモリカードを取り外す場合は、データが壊れる(消去される)ことを防ぐため、必ずマウント解除動作を行ってください。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[ストレージ]→「SDカード」の[取り外し]

2 本製品のカード挿入口カバーを開ける

3 microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



4 microSDメモリカードをゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。
microSDメモリカードによっては、ロック解除できず出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出して取り外してください。

5 カード挿入口カバーを閉じる

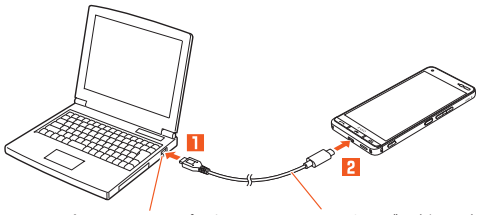
memo

◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
◎ microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する

本製品とパソコンをUSB Type-Cケーブル(市販品)で接続すると、本製品の内部ストレージ、microSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、音楽／動画データの転送も可能です。

1. **パソコンが完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)をパソコンのUSBポートに接続**
2. **本製品が完全に起動している状態で、USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグを外部接続端子にまっすぐに差し込む**



パソコンのUSBポート　USB Type-Cケーブル(市販品)

■ 内部ストレージやmicroSDメモリカード内のデータをパソコンで操作する

• あらかじめパソコンと本製品を接続してください。

1. **パソコンから本製品を開く**
   内部ストレージを操作する場合は、「内部共有ストレージ」を開いてください。
2. **パソコンを操作してデータを転送**
3. **転送終了後、USB Type-Cケーブル(市販品)を本製品から取り外す**
   USB Type-Cケーブル(市販品)のUSB Type-Cプラグをまっすぐに引き抜いてください。

メモリの使用量を確認する

内部ストレージ、microSDメモリカードの合計容量や空き容量を確認できます。

1. **ホーム画面→[ツール]→[設定]→[ストレージ]**
2.

内部共有ストレージ	内部ストレージの合計容量／空き容量が確認できます。
SDカード	microSDメモリカードの合計容量／空き容量が確認できます。※

※ メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。

microSDメモリカードを初期化する

microSDメモリカードを初期化すると、microSDメモリカードに保存されているデータ(アプリを含む)はすべて削除されます。

1. **ホーム画面→[ツール]→[設定]→[ストレージ]**
2. **[SDカード]→[メニュー]→[ストレージの設定]→[フォーマット]**
3. **[消去してフォーマット]→[完了]**

memo

◎ 初期化は充電しながら行うか、内蔵電池が十分に充電された状態で行ってください。

File Commander

File Commanderを利用する

「File Commander」を利用してデータのコピー／移動などができます。

1. **ホーム画面→[ツール]→[File Commander]**
   File Commanderのホーム画面が表示されます。
   • 初めて利用するときは、「利用許諾」の同意画面で内容を確認し、「続行」をタップしてください。
   • File Commanderのホーム画面が表示されない場合は、画面左上の「☰」をタップ→[ホーム]と操作します。
2. **[写真]／[ミュージック]／[ビデオ]／[ドキュメント]／[ダウンロード]／[PCファイル転送]／[画面の共有]→フォルダを選択**
3. **コピー／移動するファイルをロングタッチ→[(コピー)]／[(切り取り)]**
4. **コピー／移動先を表示→[(貼り付け)]**

写真をmicroSDメモリカードに移動する

1. **File Commanderのホーム画面→[内部共有ストレージ]→[DCIM]**
2. **[100KYCRA]→写真データをロングタッチ→[⋮]→[移動]**
3. **画面上部の「←」を数回タップして「SDカード」を選択**
4. **microSDメモリカード内の保存先を選択→[OK]**

データ通信

赤外線通信 64
赤外線の利用について 64
赤外線でデータを受信する 64
赤外線でデータを送信する 64

Bluetooth®機能 64
Bluetooth®機能について 64
Bluetooth®機能をオンにする 64
Bluetooth®機器を登録する 64
Bluetooth®機能でデータを送受信する 65

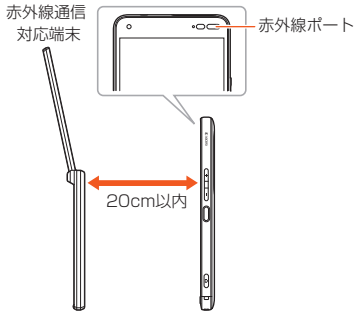
無線LAN(Wi-Fi®)機能 65
無線LAN(Wi-Fi®)機能について 65
Wi-Fi®機能をオンにする 65
Wi-Fi®ネットワークに接続する 65
Wi-Fi®機能を切断する 65
Wi-Fi®機能のスリープ設定をする 65
Wi-Fi®機能の詳細設定をする 65
Wi-Fi Direct®を設定する 66

テザリング機能 66
テザリングについて 66
USBテザリング機能を利用する 66
Wi-Fi®テザリング機能を利用する 66
Bluetooth®テザリング機能を利用する 66

赤外線通信

赤外線の利用について

赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が終わるまで、赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。



赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。

memo
◎ 赤外線通信中に指などで赤外線ポートを覆わないようにしてください。
◎ 本製品の赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によって正しく送受信できないデータがあります。
◎ 直射日光があたる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
◎ 赤外線ポートが汚れていると、正常に通信できない場合があります。柔らかな布で赤外線ポートを拭いてください。
◎ 送受信時に認証パスコードの入力が必要になる場合があります。認証パスコードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

赤外線でデータを受信する

1 ホーム画面→[ツール]→[赤外線]
赤外線画面が表示されます。

2 [赤外線受信]
認証コードの入力画面が表示された場合は、認証コード(4桁)を入力→[OK]と操作してください。

3 受信完了→[OK]
受信したデータは、赤外線画面で「受信データ」をタップすると確認できます。

■ 電話帳やプロフィールのvCardファイルを受信した場合

3 受信完了→[OK]→[OK]
「登録先」メニューが表示された場合は、登録するアカウントを選択してください。

memo
◎ データの種類、容量によっては保存できない場合があります。

赤外線でデータを送信する

1 ホーム画面→[ツール]→[赤外線]

2

プロフィール送信	プロフィールをvCardファイルにして送信します。
連絡先送信	連絡先一覧画面が表示されます。連絡先をvCardファイルにして送信します。
ファイル送信	写真／動画、File Commanderで各種ファイルを選択して送信します。

■ 連絡先送信／ファイル送信を選択した場合

3 送信するデータを選択→[OK]
認証コードの入力画面が表示された場合は、認証コード(4桁)を入力→[OK]と操作してください。
・File Commanderからのデータ送信の場合は、「OK」をタップする操作は不要です。

各機能のメニューから赤外線送信する

電話帳の連絡先やプロフィール(vCardファイル)、各種データを1件送信することができます。

例:連絡先を送信する場合

1 送信する連絡先の詳細表示画面→[メニュー]→[共有]

2 [赤外線]

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能について

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®機器とワイヤレス接続できる技術です。Bluetooth®機器と通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。また、必要に応じて本製品とBluetooth®機器のペアリング(登録)を行ってください。

memo
◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。
他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。
・他のBluetooth®機器からの接続を受けるには、本製品をあらかじめ他の機器から検出可能に設定しておく必要があります(▶P.64)。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[Bluetooth]→「ON」にする
Bluetooth®機能がオンになり、ステータスバーに「」(接続待機中のアイコン)が表示されます。

memo
◎ Bluetooth®機能のオン／オフ設定は、電源を切っても変更されません。
◎ Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では利用できません。
◎ Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。

Bluetooth®機器を登録する

本製品と他のBluetooth®機器を接続するには、あらかじめペアリング(登録)を行います。
・機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[Bluetooth]→「ON」にする
Bluetooth設定画面が表示されます。
検出されたBluetooth®デバイス名が一覧表示されます。

2 ペアリングを行うBluetooth®デバイス名を選択

3 画面の指示に従って操作
パスキー入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー(4～16桁の数字)を入力します。

memo
◎ Bluetooth®機器との接続中には、他のBluetooth®機器を登録できない場合があります。
◎ ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。
◎ 接続するBluetooth®デバイス名が表示されていないときは、[メニュー]→[更新]と操作して、機器を再検索します。

■ パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器どうしが初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。本製品では、4～16桁の数字を入力できます。

memo
◎ パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
◎ 接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。

他のBluetooth®機器から検出可能にする

1 Bluetooth設定画面を表示
・Bluetooth設定画面を表示中は、他のBluetooth®機器から検出可能になります。

■ 他のBluetooth®機器からペアリング要求を受けた場合

ペアリングを要求された場合は、必要に応じて「ペア設定する」をタップまたはパスキーを入力し、Bluetooth®機器を認証します。

Bluetooth®機器の接続を解除する

1 Bluetooth設定画面→接続を解除するBluetooth®デバイス名をタップ→[OK]
・ペアリングを解除する場合は、[]→[削除]と操作します。

Bluetooth®機能でデータを送受信する

あらかじめ本製品のBluetooth®機能をオンにしてください。

Bluetooth®機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth®機器に送信できます。
・送信は各アプリの「メニュー」などから行ってください。

Bluetooth®機能でデータを受信する

1 他のBluetooth®機器からデータ送信
ステータスバーに「」が表示されます。

2 ステータスバーを下にスライド

3 「着信ファイル」の[承諾]
ステータスバーに「」が表示され、データの受信が開始されます。
通知パネルのお知らせで受信状態を確認できます。

無線LAN(Wi-Fi®)機能

無線LAN(Wi-Fi®)機能について

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi®)環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。

memo
◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN(Wi-Fi®)親機(Wi-Fi®ネットワーク)をご用意ください。
◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。
公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
◎ 無線LAN(Wi-Fi®)機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi®機能をオンにする

Wi-Fi®機能を使用するには、Wi-Fi®機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[Wi-Fi]→「ON」にする
Wi-Fi®機能が起動し、利用可能なWi-Fi®ネットワークがスキャンされます。
Wi-Fi®機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。

memo
◎ Wi-Fi®機能がオンのときでもデータ通信を利用できます。ただしWi-Fi®ネットワーク接続中は、Wi-Fi®機能が優先されます。
◎ Wi-Fi®ネットワークが切断されると、自動的にデータ通信に切り替わります。
◎ Wi-Fi®機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。
Wi-Fi®ネットワークの電波強度は、本製品をお使いの位置によって異なります。
Wi-Fi®ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[Wi-Fi]→「ON」にする
Wi-Fi設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。

2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→[接続]
・セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)※を入力し、「接続」をタップします。
※ パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
・接続が完了すると、ステータスバーに「」が表示されます。

memo
◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

1 Wi-Fi設定画面→[ネットワークを追加]

2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークを入力

3 セキュリティを選択
必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 [保存]

memo
◎ 手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

Wi-Fi®機能を切断する

1 Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択

2 [削除]

memo
◎ Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→[ネットワークを削除]と操作しても、接続を切断できます。
◎ 切断すると、再接続のときにパスワード(セキュリティキー)の入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi®機能のスリープ設定をする

Wi-Fi®機能のスリープ設定を変更することで、画面のバックライトが消灯したときに本体のWi-Fi®機能がスリープするように設定できます。
また、Wi-Fi®機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することも可能です。

1 Wi-Fi設定画面→[メニュー]→[詳細設定]→[Wi-Fiのスリープ設定]

2 スリープ設定を選択

Wi-Fi®機能の詳細設定をする

1 Wi-Fi設定画面→[メニュー]→[詳細設定]

2 必要な項目を設定

保存済みネットワーク※	保存済みのネットワークを一覧で表示します。
ネットワークの通知	公衆通信回線が利用可能なときに通知するかどうかを設定します。
Wi-Fiのスリープ設定	▶P.65「Wi-Fi®機能のスリープ設定をする」
証明書のインストール	Wi-Fi®認証用の証明書をインストールします。
Wi-Fi Direct	▶P.66「Wi-Fi Direct®を設定する」
WPSプッシュボタン	ボタン方式のWi-Fi Protected Setup™対応アクセスポイントを登録するときに使用します。
WPS PIN入力	PIN入力方式のWi-Fi Protected Setup™対応アクセスポイントを登録するときに使用します。
MACアドレス	本製品のMACアドレスが表示されます。
IPアドレス	IPアドレスが表示されます。

※ 保存済みのWi-Fi®ネットワークがないときは表示されません。

Wi-Fi Direct®を設定する

Wi-Fi Direct®対応デバイスどうしを接続するように設定できます。

1 Wi-Fi設定画面→[メニュー]→[詳細設定]→[Wi-Fi Direct]

デバイス一覧画面が表示されます。

- 接続要求を出す場合は、デバイス一覧画面から接続先を選択し、画面の指示に従って操作します。接続を切断する場合は、接続済みのデバイスをタップして切断します。
- [メニュー]→[デバイスの検索]と操作すると、デバイス一覧を更新できます。
- [メニュー]→[デバイス名を変更]と操作すると、デバイス側で表示される本製品の名前を変更できます。

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは、本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続することができる機能です。無線LAN(Wi-Fi®)機器を最大10台まで接続したり、USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと本製品を接続したり、Bluetooth®機器を最大5台まで接続して、インターネットに接続することもできます。

memo

◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

USBテザリング機能を利用する

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[その他]→[テザリング]

2

USBテザリング	USB経由でテザリングします。 あらかじめ「USB Type-Cケーブル(市販品)でパソコンと接続する」(▶P.61)を参照してパソコンと接続してください。

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。

「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

memo

◎ USBテザリング機能をオフにする場合は、操作2で「USBテザリング」を再度タップして「OFF」にするか、USB Type-Cケーブル(市販品)を抜いてください。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[その他]→[テザリング]

2

Wi-Fiテザリング	本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続します。
Wi-Fiテザリング設定	ポータブルアクセスポイントのセットアップと管理をします。必要な情報を入力します。

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。

「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

memo

◎ 「Wi-Fiテザリング設定」で「セキュリティ」を「なし」にすると、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

Bluetooth®テザリング機能を利用する

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[その他]→[テザリング]

2

Bluetoothテザリング	本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続します。

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」をタップしてください。

「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

機能設定

機能設定 **68**
設定メニューを表示する 68
au設定メニューを表示する 68
無線とネットワークの設定をする 68
通話に関する設定をする 70
画面の設定をする 70
アプリの通知を設定する 70
音の設定をする 71
ストレージに関する設定をする 71
電池使用量を表示する 71
メモリの使用状況を確認する 71
位置情報の設定をする 71
スタート画面とセキュリティの設定をする 71
アカウントの設定をする 72
Google 72
言語と入力に関する設定をする 72
バックアップとリセット 73
日付と時刻の設定をする 73
ユーザー補助の設定をする 73
印刷に関する設定をする 73
端末情報に関する設定をする 73

機能設定

設定メニューを表示する

設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などをすることができます。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]

設定メニューが表示されます。

・ホーム画面→[かんたん設定]→[その他]と操作しても、設定メニューを表示できます。

■ 設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	参照先
au設定メニュー	auの各サービスの設定を行います。	P.68
auサポート	My auのサイトに接続したり、157(お客さまセンター)に発信したりします。	−
プロフィール	プロフィールの表示や登録を行います。	P.33
Wi-Fi	無線LAN(Wi-Fi®)機能を設定します。	P.65
Bluetooth	Bluetooth®機能を設定します。	P.64
データ使用量	データ通信量の表示やデータ通信の使用上限を設定します。	P.68
その他	機内モードやVPN、テザリングなどの通信に関する設定を行います。	P.68
通話	通話時間の確認やお留守番サービスの設定など、通話に関する設定を行います。	P.70
ディスプレイ	フォントや壁紙、明るさ、画面の向きなど、画面表示に関する設定を行います。	P.70
通知	アプリの通知についての設定を行います。	P.70
音	マナーモードやバイブレータ(振動)、着信音、通知音、操作音など、音に関する設定を行います。	P.71
アプリ	ダウンロードしたアプリを確認したり、実行中のアプリに関する設定を行います。	−
ストレージ	本製品本体内やmicroSDメモリカードのメモリ容量の確認、microSDメモリカードの初期化を行います。	P.61
電池	電池残量や使用量を表示します。	P.71
エコモード	エコモードを設定します。	P.56
メモリ	本機にインストールされているアプリのメモリ使用状況を確認できます。	P.71
位置情報	無線LAN(Wi-Fi®)機能やGPS機能などを使った位置情報に関する設定を行います。	P.71
スタート画面とセキュリティ	SIMカードロックの設定などセキュリティに関する設定を行います。	P.71
アカウント	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。	P.72
Google	Googleのアカウントおよびサービスに関する情報の確認や設定の変更などができます。	P.72
言語と入力	表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。	P.72
バックアップとリセット	データのバックアップや復元の設定をしたり、データの初期化を行います。	P.73
日付と時刻	日付・時刻の設定や、時間表示の設定を行います。	P.73
ユーザー補助	通話終了時の動作や、ユーザー補助サービスの設定を行います。	P.73
印刷	印刷に関する設定を行います。	P.73
端末情報	電話番号や電池残量などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。	P.73

au設定メニューを表示する

au IDなどauの各種サービスを設定したり、データ移行などのサービスを利用したりできます。

1 設定メニュー→[au設定メニュー]

2

au ID	▶P.20「au IDを設定する」
au初期設定	以前にご利用のアプリのダウンロードや、auの便利な機能の設定など、本機種のご利用を始められる際の設定をサポートするアプリです。
おすすめアプリ一覧	おすすめアプリのダウンロードや、インストール済みのアプリの確認、アンインストールを行うことができます。
au位置情報サービス	auが提供する位置情報サービスです。対応アプリが、少ない電力消費で現在地周辺の情報表示・配信をするためなどに使います。
au Wi-Fi接続ツール	auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。
データを移行する	スマートフォンで撮影した写真や連絡先など、さまざまなデータをauサーバーに預けたり、microSDメモリカードへのバックアップやスマートフォンへの復元ができます。また機種変更時のデータ移行にもご利用できます。
コミュニケーターが遠隔操作でサポート	「スマートフォン」「タブレット」「携帯電話」などの操作で困ったとき、お客様の端末の画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。
au災害対策・緊急速報メール	緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)の受信設定や受信音の音量など、受信に関する設定ができます。
データお預かり設定	自動で預けるデータの種類を設定したり、自動お預かり設定の詳細を確認したりできます。
au通信品質レポート機能	さらなる通信品質向上のため、音声通話やデータ通信時などにおける品質、電波状況および発生場所(GPS位置情報)を検知・収集し、auに自動送信する機能です。
セルフケア設定	セルフケアを利用するかどうかを設定できます。また、アプリの更新確認をしたり、更新があるときに更新通知を表示するかどうかを設定したりできます。
法的情報	法的情報を確認します。

無線とネットワークの設定をする

Wi-Fi®やBluetooth®接続、ホームネットワークの設定など、通信に関する設定を行います。

1 設定メニュー

2

Wi-Fi		▶P.65「無線LAN(Wi-Fi®)機能」
Bluetooth		▶P.64「Bluetooth®機能」
データ使用量		モバイルデータ通信の設定や、データセーバーの設定、通信量の確認などを行います。 ・データセーバーを「ON」にすると、一部のアプリによるバックグラウンドでの送受信を停止することで、データ使用量を抑制します。 ・[メニュー]→[モバイルネットワーク]と操作して、モバイルデータの詳細な設定を行うことができます。 ・「Wi-Fiデータ使用量」をタップすると、Wi-Fi®使用量画面が表示され、データ使用量を確認できます。
その他	機内モード	▶P.69「機内モードを設定する」
	NFC設定	▶P.69「NFC設定を行う」
	テザリング	▶P.66「テザリング機能」
	VPN	▶P.69「VPNを設定する」
	モバイルネットワーク	モバイルネットワークの詳細な設定を行うことができます。 ・海外ローミングと通信事業者の設定については、「海外利用に関する設定を行う」(▶P.84)をご参照ください。 ・アクセスポイント名の設定については、「データ通信を利用する」(▶P.42)をご参照ください。
	ネットワーク設定のリセット	Wi-Fi®やモバイルネットワークなどのネットワーク設定をすべてリセットします。

memo

◎「データ使用量」の「モバイルデータ」をオフにするとデータ通信が無効になり、4G(LTE／WiMAX 2+)通信でのデータ通信ができなくなります。

機内モードを設定する

機内モードをオンに設定すると、ワイヤレス機能（電話、データ通信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能）がすべてオフになります。

1 設定メニュー→[その他]

2 「機内モード」を「ON」にする

機内モードがオンに設定されると、ステータスバーに「✈」が表示されます。

memo

◎ ⏻（電源ボタン）を1秒以上長く押す→[機内モード]と操作しても機内モードを設定できます。
◎ 機内モードがオンの場合でも無線LAN（Wi-Fi®）／Bluetooth®機能をオンにすることができます。航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
◎ 機内モードをオンに設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的に機内モードはオフに設定されます。
◎ 機内モードをオンに設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能による通信などもオフにします。

NFC設定を行う

同梱されているかざして診断カードの利用のオン／オフを設定したり、タップ&ペイの設定を行います。

1 設定メニュー→[その他]→[NFC設定]

NFC設定画面が表示されます。

2

NFC（かざして診断）	同梱されているかざして診断カードの利用のオン／オフを設定します。
Androidビーム	Androidビーム（NFC機能）を利用したデータ通信ができます。 ・Androidビームについては、「Androidビームでデータを送信／受信する」（▶P.69）をご参照ください。

■ Androidビームでデータを送信／受信する

NFCを搭載したAndroid機器との間でAndroidビームを利用すると、簡単な操作で画像や音楽、本製品で撮影した静止画や動画を送ったり受け取ったりすることができます。

・データを送信／受信するにはあらかじめ「NFC（かざして診断）」（▶P.69）をオンにしてください。
・すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

■ データを受信する

1 送信側のNFC搭載機器でデータ送信の操作を行う

2 送信側の機器と、NFCアンテナ部（▶P.16）を向かい合わせる

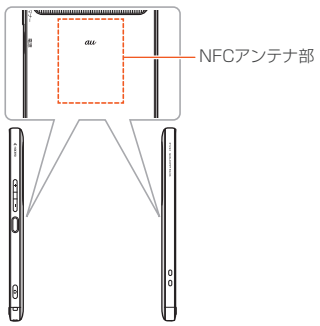
データを受信すると、受信データに対応するアプリが起動します。
・静止画や動画、音楽などのデータを受信した場合は、ステータスバーに⬇が表示されることがあります。ステータスバーを下にスライド→[転送完了]と操作すると、受信データに対応したアプリが起動します。画面の指示に従って操作してください。

■ データを送信する

例：電話帳（顔写真なし）を送信する場合

1 ホーム画面→[電話帳]→「すべての連絡先」タブをタップ→連絡先を選択

2 受信側の機器と、NFCアンテナ部（▶P.16）を向かい合わせる→画面をタップ



memo

◎ アプリによってはAndroidビームをご利用になれません。
◎ 通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度向かい合わせてください。

■ タップ&ペイ

決済カードの選択ができます。

1 NFC設定画面→[メニュー]→[タップ&ペイ]

2 利用したいサービスを選択

利用したい決済カードを選択してください。

memo

◎ モバイルNFC機能を利用したクレジットサービスはご利用いただけません。

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。
本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

・本製品は以下の種類のVPNに対応しています。
- PPTP
- L2TP/IPSec PSK
- L2TP/IPSec RSA
- IPSec Xauth PSK
- IPSec Xauth RSA
- IPSec Hybrid RSA

■ VPNを追加する

1 設定メニュー→[その他]→[VPN]

VPN画面が表示されます。
・初回起動時など、セキュリティの設定が必要な場合は画面の指示に従って設定してください。

2 [追加]

3 VPN設定の各項目を設定→[保存]

VPN画面のリストに、新しいVPNが追加されます。

memo

◎ 追加したVPNは編集したり、削除したりできます。編集するには、変更するVPNの「設定」をタップ→必要に応じてVPNの設定を変更→[保存]と操作します。
削除するには、削除するVPNの「設定」をタップ→[削除]と操作します。

■ VPNに接続する

1 設定メニュー→[その他]→[VPN]

VPN画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力→[接続]

VPNに接続すると、ステータスバーに「🔑」が表示されます。

■ VPNを切断する

1 設定メニュー→[その他]→[VPN]

VPN画面が表示されます。

2 接続中のVPNをタップ→[接続を解除]

通話に関する設定をする

通話時間の確認やお留守番サービスの設定など、通話に関する設定を行います。

1 設定メニュー→[通話]

通話設定画面が表示されます。

2

通話時間	通話時間	国内での前回／累計の通話時間を表示します。
	通話時間（海外）	海外での前回／累計の通話時間を表示します。
ステップアップ着信	▶P.33「ステップアップ着信を設定する」	
着信相手非表示	着信時に相手の名前を表示しないようにするかどうかを設定します。	
伝言メモ	▶P.33「伝言メモを利用する」	
通話音声メモ	通話音声メモを選択して再生します。 ・通話音声メモリスト画面で「メニュー」をタップしたり、音声メモ再生画面で[メニュー]をタップしたりすると、通話音声メモの保護や削除などの操作が行えます。	
着信拒否	▶P.70「着信拒否を設定する」	
通話サービス設定	お留守番サービスや着信転送サービスなどのネットワークサービスを設定します。	
通話音質	聞こえ調整	相手の声の聞こえかたを調整します。
	ゆっくり	相手の声をゆっくり聞こえるようにするかどうかを設定します。
SMS返信の編集	SMS返信（▶P.33）のメッセージを編集します。	
市外局番メモリ	▶P.33「市外局番メモリを設定する」	

memo

通話時間について

◎ 表示される通話時間は、自分から発信したときの通話時間になります。

◎ 通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されない場合があります。

伝言メモ／通話音声メモについて

◎ 録音できるのは、伝言メモは1件あたり約60秒間、通話音声メモは1件あたり20分で、それぞれ100件までです。100件録音されている場合は、再生済みで保護されていない伝言メモ／通話音声メモが、古いものから順に削除されます。

◎ 録音されている伝言メモ／通話音声メモがすべて未再生または保護されている場合、伝言メモでの応答や通話音声メモの録音はできません。

着信拒否を設定する

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 通話設定画面→[着信拒否]

2

電話番号指定	特定の電話番号を指定して、その電話番号からの着信やSMSを拒否します。 電話帳／履歴を引用して登録する場合 **1. [メニュー]→[追加]→[電話帳]／[通話履歴]** **2. 連絡先／履歴を選択→[登録]** 電話番号を入力して登録する場合 **1. [メニュー]→[追加]** **2. 電話番号を入力→[登録]**
非通知	電話番号を通知しない着信を拒否します。
公衆電話	公衆電話からの着信を拒否します。
通知不可能	電話番号を通知できない着信を拒否します。
電話帳登録外	電話帳に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。
海外ローミング中全拒否	海外利用中の全着信を拒否します。
着信履歴を保存	拒否した着信を着信履歴に保存するかどうかを設定します。

画面の設定をする

画面の明るさの設定や文字フォントの切り替えなど、表示に関する設定を行います。

1 設定メニュー→[ディスプレイ]

ディスプレイ設定メニューが表示されます。

2

明るさのレベル	画面の明るさを設定します。
明るさの自動調整	周囲の明るさに合わせて、画面の明るさを自動調整するかどうかを設定します。
壁紙	ホーム画面とスタート画面の壁紙を設定します。
スリープ	スリープモードへ移行するまでの時間を設定します。
スクリーンセーバー	▶P.70「スクリーンセーバーを設定する」
フォント切替	画面に表示される文字フォントを設定します。 ・起動中のアプリが終了する場合があります。
フォントサイズ	画面に表示されるフォントサイズを設定します。
画面の自動回転	▶P.22「縦／横画面表示を切り替える」
キャスト	Miracast等の機器と接続し、他のデバイスと画面や音を共有します。
電池残量のパーセント表示	ステータスバーに電池残量をパーセント表示するかどうかを設定します。
ON/OFF設定表示	通知パネルにON/OFF設定アイコンを表示するかどうかを設定します。
ON/OFF設定並べ替え	ON/OFF設定アイコンの並べ替えができます。

スクリーンセーバーを設定する

1 ディスプレイ設定メニュー→[スクリーン セーバー]→「ON」にする

2 スクリーンセーバーの種類を選択

[メニュー]→[今すぐ開始]と操作すると、選択したスクリーンセーバーが起動します。

アプリの通知を設定する

アプリごとの通知を設定する

1 設定メニュー→[通知]→アプリを選択

2

すべてブロック	アプリの通知を表示するかどうかを設定します。
バックグラウンドで通知	「ON」にすると、音やバイブレータで知らせず、現在の画面に通知を数秒間表示する動作を行いません。

※ 表示される項目は、アプリによって異なります。

通知全体の設定をする

1 設定メニュー→[通知]→[メニュー]→[詳細設定]

2

着信LED	アプリから通知があったときの着信ランプの点灯色を設定します。
お知らせLED	アプリから通知があったときに着信ランプを点灯するかどうかを設定します。
スタート画面の通知	スタート画面にアプリの通知を表示するかどうかを設定します。

音の設定をする

マナーモードの設定や着信音など、音やバイブレータに関する設定を行います。

1 **設定メニュー→[音]**

音設定メニューが表示されます。

2

メディアの音量	▶P.71「各種音量を調節する」
アラームの音量	
着信音の音量	
通知の音量	
マナーモード	▶P.26「マナーモードを設定する」
着信時バイブ	着信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。
着信音	着信音に設定するデータを選択して登録します。
バイブパターン	マナーモード時などのバイブレータのパターンを選択します。
デフォルトの通知音	通知音に設定するデータを選択して登録します。
デフォルトのアラーム音	アラーム音に設定するデータを選択して登録します。
その他の音／バイブ	タッチ操作音や充電開始音などの設定をします。
キャスト	Miracast等の機器と接続し、他のデバイスと画面や音を共有します。

各種音量を調節する

1 **音設定メニュー→スライダを左右にドラッグして、音量を調節**

memo

◎ マナーモード設定時に、「着信音の音量」の音量を上げるとマナーモードは解除されます。「着信音の音量」の音量を0にすると、マナーモードが設定されます。

◎ 「着信音の音量」の音量を0にすると、タッチ操作音やキー操作音もオフになります。

ストレージに関する設定をする

1 **設定メニュー→[ストレージ]**

2

内部共有ストレージ	内部ストレージの使用量と合計容量を確認できます。 • 項目をタップすると項目ごとのデータの使用量を確認できます。
SDカード	microSDメモリカードの使用量と合計容量を確認できます。 • microSDメモリカードを内部ストレージとして使用することができます（▶P.60）。 • 「取り外し」をタップすると、認識を解除してmicroSDメモリカードを安全に取り外しできます。 • microSDメモリカードが認識されていない時に[SDカード]→[マウント]→[OK]と操作すると、microSDメモリカードを認識します。

※ 表示される項目は、端末の状態によって異なります。

memo

◎ 内部共有ストレージの各項目（アプリ、画像、動画など）をタップすると、各項目のアプリを起動できます。

◎ 内部共有ストレージの「外部メディア」をタップすると、ファイルマネージャーが表示され、データの移動やコピーなどができます。

◎ microSDメモリカードを認識しているときに、「SDカード」をタップすると、ファイルマネージャーが表示され、データの移動やコピーなどができます。

電池使用量を表示する

1 **設定メニュー→[電池]**

電池残量、充電状況や電池使用時間などが表示されます。

メモリの使用状況を確認する

1 **設定メニュー→[メモリ]**

メモリの使用状況が表示されます。

- 「▼」をタップすると表示する時間を切り替えできます。
- 「アプリのメモリ使用状況」をタップすると、各アプリのメモリ使用状況を確認できます。

位置情報の設定をする

1 **設定メニュー→[位置情報]→「ON」にする**

2

モード	位置情報の取得モードを設定します。
位置情報サービス	ロケーション履歴を管理したり、au位置情報サービスの設定や位置情報取得の高速化を利用します。
最近の位置情報リクエスト	位置情報を取得したアプリを表示します。 • アプリをタップするとアプリ情報を表示します。

memo

GPS機能の使用について

◎ 電池の消費を節約する場合は、オフにしてください。

◎ 周囲に建物などがなく、天空が見える場所では精度が高くなります。周囲の環境により、正しい位置情報が取得できない場合は、天空が見える場所へ移動してください。

スタート画面とセキュリティの設定をする

1 **設定メニュー→[スタート画面とセキュリティ]**

スタート画面とセキュリティ設定メニューが表示されます。

2

セキュリティの種類	なし	セキュリティを無効にし、スタート画面を非表示にします。
	スライド	セキュリティを無効にし、スライド操作で解除するスタート画面を表示します。
	パターン	スタート画面表示後、解除パターンを入力して解除するセキュリティを設定します。通知表示の設定もできます。
	ロックNo.	スタート画面表示後、ロックNo.を入力して解除するセキュリティを設定します。通知表示の設定もできます。
	パスワード	スタート画面表示後、パスワードを入力して解除するセキュリティを設定します。通知表示の設定もできます。
スマートフォンの暗号化	端末のデータを保護するため、本製品内部に保存されているシステムデータはお買い上げ時に暗号化されています。	
SIMカードロック設定	▶P.72「SIMカードロックを設定する」	
パスワードを表示	パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。	
端末管理アプリ	端末管理アプリを表示または無効にします。	
提供元不明のアプリ	▶P.52「提供元不明のアプリのダウンロード」	
ストレージのタイプ	認証情報ストレージのタイプを表示します。	
信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。	
ユーザー認証情報	保存されている認証情報の表示と変更を行います。	
ストレージからインストール	暗号化された証明書を内部ストレージとmicroSDメモリカードからインストールします。	
認証ストレージの消去	認証情報ストレージのすべてのコンテンツをクリアして、パスワードをリセットします。	
信頼できるエージェント	信頼できるエージェント（Smart Lockなどの機能）を管理します。	
画面の固定	特定のアプリの画面を固定して表示するように設定します（▶P.25）。	
使用履歴にアクセスできるアプリ	アプリの使用履歴データへのアクセスを許可するアプリを管理します。	

スタート画面の設定を行う

1 スタート画面とセキュリティ設定メニュー→「セキュリティの種類」の「設定」をタップ

2

パターンを表示	解除パターンを入力してセキュリティを解除するとき、指の軌跡を線で表示するかどうかを設定します。
自動ロック	スリープモード移行後、「セキュリティの種類」で設定した解除方法が必要になるまでの時間を設定します。
電源ボタンでロック	⏻を押してスリープモードに移行した場合に、スタート画面のセキュリティをかけるかどうかを設定します。
スタート画面メッセージ	スタート画面に表示するメッセージを設定します。
時計表示	スタート画面に時計を表示するかどうかを設定します。
Smart Lock	信頼できる端末や場所の登録、または顔認証でセキュリティを自動的に解除する「Smart Lock」を設定します。
救急あんしん情報	救急情報を入力します。ここで入力した情報は、スタート画面でロック解除しなくても、緊急通報から確認することができます。

※ 表示される項目は、「セキュリティの種類」の設定により異なります。

memo

◎ Smart Lock機能を利用する場合は、あらかじめセキュリティの種類を「パターン」/「ロックNo.」/「パスワード」に設定してください。

SIMカードロックを設定する

SIMカードにPINコード(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.13)をご参照ください。

1 スタート画面とセキュリティ設定メニュー→[SIMカードロック設定]→「SIMカードをロック」を選択

2 SIMカードのPINコードを入力→[OK]

■ 電源を入れたときにPINコードを入力する

1 PINコードの入力画面→PINコードを入力→[OK]

■ PINコードを変更する

SIMカードロックが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 スタート画面とセキュリティ設定メニュー→[SIMカードロック設定]→[SIM PINの変更]

2 現在のPINコードを入力→[OK]

3 新しいPINコードを入力→[OK]

4 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

アカウントの設定をする

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

- 同期するには、本製品でGoogleアカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。手動で同期するか、または自動同期するように設定できます。

1 設定メニュー→[アカウント]
アカウント設定メニューが表示されます。

2 同期の設定をするアカウントの種別をタップ→同期の設定をするアカウントを選択

memo

◎ アカウント設定メニュー→[メニュー]→[データの自動同期]→[OK]と操作すると、自動同期のオン/オフを切り替えることができます。

アカウントを追加/削除する

■ アカウントを追加する

1 アカウント設定メニュー→[アカウントを追加]

2 追加するアカウントの種別を選択

3 画面の指示に従って操作

■ アカウントを削除する

1 アカウント設定メニュー→削除するアカウントの種別を選択→削除するアカウントを選択→[メニュー]

2 [アカウントを削除]→[アカウントを削除]

memo

◎ 他のアプリで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、「データの初期化」(▶P.73)が必要です。

Google

Googleのアカウントおよびサービスに関する情報の確認や設定の変更などができます。

- Google設定の詳細については、Google画面→[⋮]→[ヘルプとフィードバック]と操作してヘルプをご確認ください。

1 設定メニュー→[Google]
Google画面が表示されます。

2 各項目を設定

言語と入力に関する設定をする

1 設定メニュー→[言語と入力]

2

言語	日本語と英語の表示を切り替えます。 ・起動中のアプリが終了する場合があります。	
現在のキーボード	デフォルトのキーボードを設定します。	
仮想キーボード	iWnn IME	▶P.29「iWnn IMEの各種設定を行う」
	iWnn IMEケータイ入力	▶P.30「iWnn IMEケータイ入力の設定を行う」
	Google音声入力	音声入力の言語や不適切な語句に関する設定をします。
	キーボードを管理	キーボードの一覧の表示を管理します。
物理キーボード	仮想キーボードの表示	物理キーボードが有効になっていても、画面上の仮想キーボードを表示するかどうかを設定します。
	キーボードショートカットヘルパー	物理キーボードで使用可能なショートカットを表示します。
テキスト読み上げの出力	Googleテキスト読み上げエンジン	テキストを読み上げる言語や、Googleテキスト読み上げエンジンの設定ができます。 Google Playから標準装備以外の言語に対応した音声データをインストールすることもできます。
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	音声の高さ	テキストを読み上げる音程を設定します。
	音声の速度をリセット	テキスト読み上げ速度を通常の速度にリセットします。
	音声の高さをリセット	テキスト読み上げの音声の高さをデフォルトにリセットします。
	サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。
	デフォルトの言語のステータス	デフォルトの言語の状態を表示します。
ポインタの速度	ポインティングデバイス使用時の、ポインタの反応速度を設定します。	

※ 表示される項目は、画面によって異なります。

memo

◎ テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声合成エンジンのインストールが必要な場合があります。また、テキスト読み上げは「言語」が「日本語」の場合には利用できないことがあります。

◎ microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ソフトウェアアップデートなどのソフトウェアの更新を実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。

バックアップとリセット

1 **設定メニュー→[バックアップとリセット]**
バックアップとリセット設定メニューが表示されます。

2

データのバックアップ	アプリのデータや設定などをGoogleサーバーにバックアップするかどうかを設定します。
バックアップアカウント	Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。
Googleアカウント	本製品では利用できません。
自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップ済みのデータや設定を復元するように設定します。
データの初期化	▶P.73「本製品を初期化する」

本製品を初期化する

1 **バックアップとリセット設定メニュー→[データの初期化]**

2 **[モバイル端末をリセット]→[すべて消去]**
・スタート画面の設定によっては、セキュリティ解除が必要な場合があります。

memo
◎ データの初期化を実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。データの初期化を実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。
◎「SDカード内データを消去」を選択するとmicroSDメモリカード内のデータを消去できます。
◎ 設定メニューの以下の項目は、データの初期化を実行してもリセットされません。
・SIMカードロック設定
◎ 本製品を初期化すると、デジタル著作権管理(DRM)コンテンツのライセンス情報が削除され、コンテンツの再生ができなくなる場合があります。

日付と時刻の設定をする

1 **設定メニュー→[日付と時刻]**
日付と時刻設定メニューが表示されます。

2

自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正します。
自動タイムゾーン	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って、自動的に補正します。
日付設定	▶P.73「日付を設定する」
時刻設定	▶P.73「時刻を設定する」
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを選択します。
24時間表示	選択すると24時間表示、解除すると12時間表示となります。 ※ アプリによっては、対応されない場合があります。

memo
◎「自動設定」をオンにするとネットワークから日付や時刻が自動で設定されます。お買い上げ時は「自動設定」がオンに設定されています。
◎ 日付、時刻、タイムゾーンの手動設定をするには、あらかじめ「自動設定」「自動タイムゾーン」をオフにする必要があります。
◎ 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。設定メニュー→[日付と時刻]→[タイムゾーンの選択]→設定するタイムゾーンを選択、と操作して、タイムゾーンを設定することができます。

日付を設定する

1 **日付と時刻設定メニュー→[日付設定]**

2 **数字を上下にスライドして日付を合わせる**

3 **[OK]**

時刻を設定する

1 **日付と時刻設定メニュー→[時刻設定]**

2 **数字を上下にスライドして時間と分を合わせる**
「24時間表示」をオフにしている場合は、「午前」/「午後」をスライドして切り替えます。

3 **[OK]**

ユーザー補助の設定をする

1 **設定メニュー→[ユーザー補助]**

2

拡大操作	トリプルタップで拡大/縮小表示をするかどうか設定します。
フォントサイズ	文字サイズが大きくなります。
高コントラストテキスト	画面に表示されるテキストのコントラストを上げるかどうかを設定します。
フロントボタン操作無効	ディスプレイ消灯時のフロントボタンの動作を無効にします。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示/横表示を切り替えるかどうかを設定します。
パスワードの音声出力	パスワードを音声で出力するか設定します。
テキスト読み上げの出力	▶P.72「言語と入力に関する設定をする」
色反転	画面の色を反転表示するように設定します。
色補正	画面の色を補正するように設定します。
字幕	字幕表示に対応したアプリ使用時に、字幕を表示するかどうかを設定します。
モノラル音声	音声をモノラルで再生するかどうかを設定します。
ロングタッチ時間	ロングタッチの時間を設定します。
電源ボタンで通話を終了	(電源ボタン)で通話を終了するかどうかを設定します。
ユーザー補助のショートカット	簡単な操作でユーザー補助機能を起動できるようにするかどうかを設定します。

印刷に関する設定をする

Googleクラウドプリントを利用したプリンタの設定を行います。
・印刷の利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。

1 **設定メニュー→[印刷]**
・「サービスを追加」をタップして、Google Playからプリンタを追加してください。

端末情報に関する設定をする

本製品のバージョンなどの情報を確認します。また、ソフトウェア更新などを行います。

1 **設定メニュー→[端末情報]**

2

ソフトウェア更新	▶P.88「ソフトウェアを更新する」
端末の状態	電池残量や電話番号などの、端末の状態を確認できます。
SIMカードの状態	▶P.90「SIMロック解除」
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。
認証情報	認証情報を表示します。
この端末についてフィードバックを送信	本製品の使用情報を送信するかどうかを設定します。
モデル	バージョンや各番号を確認できます。
Androidバージョン	
Androidセキュリティパッチレベル	
カーネルバージョン	
ビルド番号	

auネットワーク

auのネットワークサービス 76
auのネットワークサービスについて 76
着信お知らせサービスを利用する(標準サービス) 76
着信転送サービスを利用する(標準サービス) 76
発信番号表示サービスを利用する(標準サービス) 77
番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス) 77
お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス) 77
三者通話サービスを利用する(オプションサービス) 80
割込通話サービスを利用する(オプションサービス) 80
迷惑電話撃退サービスを利用する(オプションサービス) 81
通話明細分計サービスを利用する(オプションサービス) 81

auのネットワークサービス

auのネットワークサービスについて

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	SMS	P.38
	着信お知らせサービス	P.76
	着信転送サービス	P.76
	発信番号表示サービス	P.77
	番号通知リクエストサービス	P.77
有料オプションサービス※	お留守番サービスEX	P.77
	三者通話サービス	P.80
	割込通話サービス	P.80
	迷惑電話撃退サービス	P.81
	通話明細分計サービス	P.81

※ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ(https://www.au.com/)でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する(標準サービス)

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、電波の届かない場所にいた場合など、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎「着信お知らせサービス」を利用するには、お留守番サービスEXの圏外転送を設定してください(▶P.78)。
※ 有料オプションサービスにご契約されていない場合も設定を行ってください。
◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
◎ 着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内(▶P.78)で着信お知らせ(着信通知)を停止することができます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する(標準サービス)

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を選択できます。

memo

◎ 緊急通報番号(110、119、118)、時報(117)など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.77)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎ au国際電話サービスでの転送はご利用いただけません。また、一部の国際電話事業者でも転送できない場合があります。

ご利用料金について

月額使用料	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※ 電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※ お客様のご負担となります。 ※ 海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1. **ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]**
2. **[通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[無応答転送]→[無応答転送]**
3. **[転送]→[転送時間]→転送時間を設定→[OK]**
   ・転送時間は5秒～55秒の間で設定できます。
   ・「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。
4. **[転送先番号]→転送先番号を入力→[登録]→[OK]**

memo

◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

1. **ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]**
2. **[通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[話中転送]→[話中転送]**
3. **[転送]→[転送先番号]→転送先番号を入力→[登録]→[OK]**
   ・「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。

memo

◎ 話中転送と割込通話サービス(▶P.80)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなどに電話を転送します。

1. **ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]**
2. **[通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[圏外転送]→[圏外転送]**
3. **[転送]→[転送先番号]→転送先番号を入力→[登録]→[OK]**
   ・「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

1. **ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]**
2. **[通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[選択転送]→[選択転送]**
3. **[転送]→[転送先番号]→転送先番号を入力→[登録]→[OK]**

memo

◎ 着信中に転送操作をすると、転送先電話番号に転送します(▶P.33「着信中のメニューを利用する」)。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1. **ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]**
2. **[通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[フル転送]→[フル転送]**
3. **[転送]→[転送先番号]→転送先番号を入力→[登録]→[OK]**
   ・「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。

memo

◎ フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

着信転送サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始、転送停止ができます。

1 090−4444−XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
フル転送起動	1428
フル転送停止	1429
全転送停止	1430

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「各種暗証番号/PINコードについて」(▶P.13)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

発信番号表示サービスを利用する(標準サービス)

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客様の端末のディスプレイに表示したりするサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」(電話番号を通知しない場合)または「186」(電話番号を通知する場合)を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎ 発信者番号(お客様の電話番号)はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気をつけください。
◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
◎ 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」(ID Unsent)	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」(Pay Phone)	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」(Not Support)	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

電話番号を通知する

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→「発信者番号通知を許可」を「ON」にする

memo

◎ 電話をかけるときに「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力した場合は、「発信者番号通知を許可」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。
◎ 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知を許可」をオンにしていても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、お客さまセンターまでお問い合わせください。
◎ 「発信者番号通知を許可」をオフにしても、緊急通報番号(110、119、118)への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。

番号通知リクエストサービスを利用する(標準サービス)

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎ お留守番サービス(▶P.77)、着信転送サービス(▶P.76)、割込通話サービス(▶P.80)、三者通話サービス(▶P.80)のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.81)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[番号通知リクエストサービス]→「番号通知リクエストサービス」を「ON」にする

memo

◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- SMS
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[番号通知リクエストサービス]→「番号通知リクエストサービス」を「OFF」にする

お留守番サービスEXを利用する(オプションサービス)

お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、機内モード(▶P.69)を有効に設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- 本製品ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.77)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり(保存)する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	99件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメール(▶P.78)の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。 伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内(141)を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知(蓄積停止)の設定／解除、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 →「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1]→[発信]

2 ガイダンスに従って操作

応答できない電話を転送する(無応答転送)

かかってきた電話に出ることができないときに電話をお留守番サービスに転送します。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[無応答転送]→[無応答転送]

3 [留守番]→[転送時間]→転送時間を設定→[OK]
- 転送時間は5秒～55秒の間で設定できます。
- 「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。

4 [OK]

memo

◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。

通話中にかかってきた電話を転送する(話中転送)

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[話中転送]→[話中転送]

3 [留守番]
- 「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。

4 [OK]

memo

◎ 話中転送と割込通話サービス(▶P.80)を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。

応答できない電話を転送する(圏外転送)

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなどに、電話をお留守番サービスに転送します。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[圏外転送]→[圏外転送]

3 [留守番]
- 「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。

4 [OK]

手動で転送する(選択転送)

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動でお留守番サービスに転送します。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[選択転送]→[選択転送]

3 [留守番]

4 [OK]

memo

◎ 着信中に転送操作をすると、お留守番サービスに転送します(▶P.33「着信中のメニューを利用する」)。

かかってきたすべての電話を転送する(フル転送)

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[フル転送]→[フル転送]

3 [留守番]
- 「OFF」をタップすると転送サービスを停止できます。

4 [OK]

memo

◎ フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答
- かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します(▶P.79「応答メッセージの録音／確認／変更をする」)。
- 電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに(スキップして)操作 2 に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音
録音時間は、3分以内です。
伝言を録音した後、操作 3 へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了
録音終了後、ガイダンスに従って次のボタン操作ができます。
「1」:録音した伝言を再生して、内容を確認する
「2」:録音した伝言を「至急扱い」にする
「9」:録音した伝言を消去して、取り消す
「✱」:録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

memo

◎ 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。
◎ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 →「ダイヤル」タブをタップ→[1][6][1][2]＋相手の方のau電話番号を入力→[発信]

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことをSMS(「伝言お知らせ」と表示)でお知らせします。

memo

◎ 同じ電話番号から複数の伝言をお預かりした場合は、最新の伝言のみについてお知らせします。
◎ お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。
◎ 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 [電話]→[ダイヤル]タブをタップ→[1][4][1][7]→[発信]

ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]→[通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[伝言メッセージ再生]→[OK]と操作しても伝言・ボイスメールを聞くことができます。

2 ガイダンスに従ってボタン操作

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤル」をタップして表示します。
「1」:同じ伝言をもう一度聞く
「4」:5秒間巻き戻して聞き直す
「5」:伝言を一時停止(20秒間)※
「6」:5秒間早送りして聞く
「7」:再生済みの伝言をすべて消去
「9」:伝言を消去
「0」:伝言再生中の操作方法を聞く
「#」:次の伝言を聞く
「✱」:前の伝言を聞く
※「電話を切る」以外のボタンをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 [電話を切る]

memo

◎ お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール(▶P.78)も同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容の確認／変更や、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[着信転送・お留守番サービス]→[応答内容変更]→[OK]

[電話]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1][4]→[発信]と操作しても設定できます。

■ すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(個人メッセージ)

3 [1]→[1]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[電話を切る]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤル」をタップして表示します。

■ 電話番号の代わりに読み上げるお客様のお名前を録音するタイプの応答メッセージを録音する場合(名前指定メッセージ)

3 [1]→[2]→10秒以内で名前を録音→[#]→[#]→[電話を切る]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤル」をタップして表示します。

■ 設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

3 [3]→応答メッセージを確認→[電話を切る]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤル」をタップして表示します。

■ 蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合(不在通知)

3 [1]→[3]→3分以内で応答メッセージを録音→[#]→[#]→[電話を切る]

画面にキーパッドが表示されていない場合は、「ダイヤル」をタップして表示します。

memo

◎ 録音できる応答メッセージは、各1件です。
◎ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。
◎ 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないように設定することができます。
◎ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って[2]→[1]と操作すると標準メッセージに戻すことができます。
◎ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)がある場合に、ガイダンスに従って[1]→[4]と操作すると標準メッセージに戻すことができます。

伝言の蓄積を停止する(不在通知)

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ(不在通知)を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます。
詳しくは、「応答メッセージの録音／確認／変更をする」(▶P.79)をご参照ください。

1 [電話]→[ダイヤル]タブをタップ→[1][6][1][0]→[発信]

2 ガイダンスを確認→[電話を切る]

memo

◎ 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

伝言の蓄積停止を解除する

1 [電話]→[ダイヤル]タブをタップ→[1][6][1][1]→[発信]

2 ガイダンスを確認→[電話を切る]

memo

◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。

お留守番サービスを遠隔操作する(遠隔操作サービス)

お客様の本製品以外のau電話、他通信事業者の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090−4444−XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
留守番転送設定(フル転送)開始	1418
留守番転送設定(フル転送)停止	1419
留守番再生	1415
留守番総合案内	1416

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号(4桁)を入力

暗証番号については「各種暗証番号／PINコードについて」(▶P.13)をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

英語ガイダンスへ切り替える

標準の応答メッセージを日本語から英語に変更できます。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[ガイダンスの言語を変更]→[英語ガイダンス]→[OK]

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。
[☎]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1][9][1]→[発信]と操作しても切り替えることができます。

memo

◎ ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[ガイダンスの言語を変更]→[日本語ガイダンス]→[OK]

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。
[☎]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][1][9][0]→[発信]と操作しても切り替えることができます。

三者通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例:Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中の電話画面→[通話相手を追加]→Bさんの電話番号を入力

通話中に電話帳や通話履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 [発信]

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

Bさんが電話に出ないときは「電話を切る」をタップするとAさんとの通話に戻ります。
Bさんとの通話を保留にしてAさんとの通話に戻るには、「この通話に切り替える」をタップします。

4 [結合]

3人で通話できます。
「電話を切る」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

memo

◎ 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎ 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。
◎ 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎ 三者通話の2人目の相手の方として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを利用する(オプションサービス)

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

memo

◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau ICカードを差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態(開始/停止)に設定し直してください。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担(保留中でも通話料はかかります)

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[割込通話]

3 「割込通話」を「ON」にする

[☎]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][5][1]→[発信]と操作しても開始できます。

memo

◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス(▶P.77)を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス(▶P.81)を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]

2 [通話サービス設定]→[割込通話]

3 「割込通話」を「OFF」にする

[☎]→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][5][0]→[発信]と操作しても停止できます。

memo

◎ 4G(LTE/WiMAX 2+)データ通信中は、割込通話サービスを停止しても着信します。

割込通話を受ける

例:Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 着信画面→「📞」を右にスライド

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「この通話に切り替える」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。

memo

◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手の方との通話に切り替わります。
◎ 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知/非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

撃退する電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 **→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][4][2]→[発信]**
ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]→[通話サービス設定]→[迷惑電話撃退サービス]→[追加]→[最新の通話番号を追加]→[OK]と操作しても登録できます。

2 **[電話を切る]**

■ 指定の電話番号を登録する

1 **ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]**

2 **[通話サービス設定]→[迷惑電話撃退サービス]→[追加]**

3 **[直接入力して追加]→撃退する電話番号を入力→[登録]**

memo

◎ 登録できる電話番号は30件までです。
◎ 電話番号の通知のない着信についても登録できます。
◎ 登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎ 登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎ 登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
・SMS

登録した電話番号を全件削除する

1 **→「ダイヤル」タブをタップ→[1][4][4][9]→[発信]**

2 **[電話を切る]**

■ 指定の電話番号を削除／編集する

1 **ホーム画面→[ツール]→[設定]→[通話]**

2 **[通話サービス設定]→[迷惑電話撃退サービス]**

3 **削除する電話番号を選択→[削除]→[OK]**
・編集する場合は、編集する電話番号を選択→電話番号を編集→[登録]と操作します。

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」などが記載されます。

1 **→「ダイヤル」タブをタップ→[1][3][1]＋相手先電話番号を入力→[発信]**

2 **「電話を切る」**

memo

◎ 分計する通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎ 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料

海外利用

海外利用 **84**
au世界サービスについて 84
海外利用に関する設定を行う 84
海外でVoLTEを利用する 84
データサービス・メッセージサービスの通信料 84
渡航先で電話をかける 84
渡航先で電話を受ける 85
お問い合わせ方法 85
サービスエリアと海外でのご利用料金 85
海外で安心してご利用いただくために 85
海外でのご利用上のご注意 85

海外利用

au世界サービスについて

au世界サービスとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただけるサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM／UMTS／LTEネットワークのいずれでもご利用いただけます。

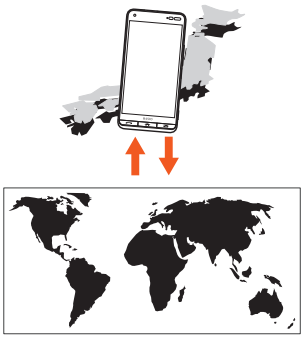
- いつもの電話番号のまま、海外で通話・SMS・データ通信がご利用いただけます。
- 特別な申し込み手続きや月額の定額料は不要で、ご利用料金は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。
  ※ 新規ご加入の場合、翌日から海外でのご利用が可能です。ただし、オンラインショップでご加入の場合、日本国内で通話（発信）した翌々日よりご利用が可能です。
- 各国際サービスのご利用料金には消費税相当額は加算されません。

■ ご利用イメージ

1 日本国内では、auのネットワークでご利用になれます

2 海外で電源をオンにすると、海外の事業者のネットワークで通話とSMSがご利用いただけます

3 データ通信を行う場合は「データローミング」（▶P.84）を有効に設定します



海外利用に関する設定を行う

本製品は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

- 渡航先においては、「圏」の表示のある場合にデータ通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話（およびご利用の地域によってはSMS）のみご利用になれます。

データ通信を利用する

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[その他]→[モバイルネットワーク]→[海外ローミング]

2 「データローミング」を「ON」にする

- ホーム画面→[ツール]→[設定]→[データ使用量]→[メニュー]→[モバイルネットワーク]→[海外ローミング]→「データローミング」を「ON」にしても、データローミングを有効にできます。

memo

◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、海外でデータ通信を利用できません。

海外でVoLTEを利用する

海外でVoLTEを利用できるように設定します。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[その他]→[モバイルネットワーク]→[海外ローミング]

2 「4Gを有効にする」を「ON」にする

※ お買い上げ時はONになっています。

- ホーム画面→[ツール]→[設定]→[データ使用量]→[メニュー]→[モバイルネットワーク]→[海外ローミング]→「4Gを有効にする」を「ON」にしても、海外でのVoLTE利用を有効にできます。

memo

◎ LTE NETにご加入されていない場合は、VoLTEを利用できません。
◎ VoLTEが利用できる国・地域についてはauホームページをご参照ください。
◎ 海外で通話やデータ通信の品質がよくない場合は、「4Gを有効にする」を「OFF」にすると改善されることがあります。ただし、日本国内では「4Gを有効にする」を常時「ON」で利用してください。

データサービス・メッセージサービスの通信料

データサービス・メッセージサービスの通信料

データ通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円／KB	100円／通※	無料

※ 全角70文字までの料金です。詳しくは、auホームページをご参照ください。
https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/area-charge/

世界データ定額

利用料980円をお支払いいただくと、対象の国・地域で24時間日本でご加入されているデータ定額サービスの容量からデータ通信がご利用いただけます。世界データ定額でご利用の通信量は、国内のデータ定額サービスの月間容量やデータチャージのデータ容量購入分から消費します。
世界データ定額について詳しくは、auホームページをご参照ください。
https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/sekai-data/

memo

◎ 海外でご利用になった場合の料金です。
◎ お客様がご利用を開始してから24時間の通信に対する金額です。月額制の定額料ではありません。

海外ダブル定額

対象の国・地域にてご利用いただいた場合、1日あたり約24.4MB（割引前通信料が40,000円分）まで最大1,980円、どれだけご利用いただいても1日あたり最大2,980円のご利用料金となります。
海外ダブル定額について詳しくは、auホームページをご参照ください。
https://www.au.com/mobile/charge/data-option/kaigai-double-teigaku-lte/

memo

◎ 海外でご利用になった場合の料金です。海外で送受信したデータ量に応じて課金されます。
◎ 渡航先でのデータ通信料は、国内各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎ 1日あたりの上限額は渡航先の現地時間ではなく日本時間の1日（0:00～23:59）の通信に対する金額です。月額制の定額料ではありません。

渡航先で電話をかける

au世界サービスを利用して、渡航先で電話をかけることができます。

1 ☎→「ダイヤル」タブをタップ

2 [メニュー]→[（＋）付加]

「＋」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 相手先の国番号を入力

4 地域番号（市外局番）を入力

地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリアなど一部例外もあります）。

5 相手の電話番号を入力→[発信]

例：渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合

＋ 81（国番号）3（市外局番）1234XXXX（相手の電話番号）

例：渡航先（アメリカ）からアメリカの「123-456-XXXX」にかける場合

＋ 1（国番号）123（市外局番）456XXXX（相手の電話番号）

memo

◎ 電話をかける相手の方が日本の携帯電話をご利用の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。
◎ 渡航先では、一部特番などかけられない電話番号があります。
◎ 国番号についてはKDDI国際電話ホームページをご参照ください。
http://www.001.kddi.com/countrycode/

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で、電話を受けることができます。

memo

◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からであっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信通話料がかかります。
◎ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
◎ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合は、渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、現地からの国際アクセス番号および「81」(日本)をダイヤルしてもらう必要があります。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法(通話料無料)

受付時間:24時間

1 ☎→**[ダイヤル]タブをタップ**

2 **[メニュー]→[(+)付加]**
「+」が入力され、発信時に渡航先現地からの国際アクセス番号が自動で付加されます。

3 **「81366706944」を入力→[発信]**

■ 一般電話からのお問い合わせ方法

詳しい情報はauホームページの「海外からのお問い合わせ番号」をご参照ください。
https://www.au.com/mobile/service/global/inquiry/

サービスエリアと海外でのご利用料金

渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスやご利用料金が異なります。詳しくは、auホームページをご参照ください。
https://www.au.com/mobile/service/global/au-world-service/area-charge/

memo

◎ 日本国内の各種割引サービス・データ通信料定額／割引サービスの対象となりません。
◎ 海外で着信した場合でも着信通話料がかかります。
◎ 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
https://www.au.com/information/notice_mobile/global/

本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品もしくはau ICカードを盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは、「海外からのお問い合わせ」(▶P.85)をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・データ通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているau ICカードを盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話(海外用GSM携帯電話を含む)に挿入され、不正利用される可能性もありますので、SIMカードロックを設定されることをおすすめします。SIMカードロックについては「SIMカードロックを設定する」(▶P.72)をご参照ください。

海外でのご利用上のご注意

渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール、トールフリーナンバー、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、日本国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

渡航先でのデータ通信料に関するご注意

- 渡航先でのご利用料金は、日本国内でのご利用分に合算して翌月に(渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります)請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 日本国内でデータ通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しデータ通信料がかかります。

渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、海外でのご利用中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

auネットワークサービス(▶P.76)に関するご注意

- 以下のサービスは、海外ではご利用いただけません。※
  - ・着信転送サービス(標準サービス)の無応答転送・話中転送・圏外転送・選択転送
  - ・お留守番サービスEX(オプションサービス)
  - ・三者通話サービス(オプションサービス)
  - ・割込通話サービス(オプションサービス)
  - ・通話明細分計サービス(オプションサービス)
- 発信番号表示サービス(標準サービス)は、海外では電話番号が通知されない場合があります。海外では「発信者番号通知」の機能は無効になります。
- 迷惑電話撃退サービス(オプションサービス)は、海外では受信拒否リストへの登録ができません。※また、日本で登録した番号でも海外では迷惑電話撃退サービスが動作せず通常の接続となる場合があります。

※ au世界サービス「VoLTE」利用中はご利用いただけます。

その他ご利用上の注意

- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- サービスエリア内でも、電波の届かないところではご利用になれません。
- 海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- au世界サービスは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 海外でのご利用中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の日本国内通話は発信規制となります。また日本国内で発信規制状態になっていても、海外では使うことができます。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ／オン(再起動)することでご利用可能となる場合があります。

付録

付録 **88**
ソフトウェアを更新する 88
故障とお考えになる前に 88
アフターサービスについて 89
SIMロック解除 90
周辺機器 90
イヤホンを使用する 90
主な仕様 90
携帯電話機の比吸収率(SAR)について 91
FCC Notice 91
輸出管理規制 91
NFCサービスご利用上の注意 92
知的財産権について 92

付録

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。
ソフトウェアのアップデートの種別により、更新の方法が異なります。
- 本製品本体でソフトウェアをダウンロードして更新する
- 本製品本体でWi-Fi®を利用して、ソフトウェアをダウンロードして更新する

ご利用上の注意

- データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。Wi-Fi®でのご利用をおすすめします。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。
- 海外利用中は、ソフトウェア更新の機能を利用できない場合があります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157番（お客さまセンター）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

1 ホーム画面→[ツール]→[設定]→[端末情報]→[ソフトウェア更新]
以降は、画面の指示に従って操作してください。

memo
◎ 利用可能なネットワークを自動検索するために、ご契約内容によっては通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
◎ ソフトウェア更新／OSアップデート後に元のバージョンに戻すことはできません。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認いただくとともに「故障紛失サポート」アプリ（▶P.51）にて「トラブル診断」を行ってください。
ホーム画面→[サポート]→[故障紛失サポート]→[トラブル診断]

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？	P.18
	（電源ボタン）を充電ランプが点灯するまで長く押していますか？	P.19
充電ができない	指定の充電用機器（別売）は正しく接続されていますか？	P.18
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電を停止する場合があります。	P.18
	指定の周辺機器（アダプタなど）で充電をしていますか？	P.18
	卓上ホルダや充電端子などが汚れていませんか？	P.19
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	（電源ボタン）と（音量上ボタン）を同時に11秒以上長く押すと強制的に電源を切り再起動することができます。	P.19
電源が勝手に切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.18
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.18
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.19
	au ICカードが挿入されていますか？	P.17
	電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？）	P.32
	電話番号入力後、「発信」をタップしていますか？	P.32
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.69
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.25
	サービスエリア外にいませんか？	P.25
	電源は入っていますか？	P.19
	au ICカードが挿入されていますか？	P.17
	「着信拒否」が設定されていませんか？	P.70
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.69
	「着信転送サービス」が設定されていませんか？	P.76
「圏外」が表示される	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.25
	内蔵アンテナ付近を指などで覆っていませんか？	P.16
	au ICカード以外のカードが挿入されていませんか？	P.17
Wi-Fi®がつながらない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？	P.25
	Wi-Fi®の設定をしましたか？	P.65
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	−
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.69
	エコモード設定時もWi-Fi®がオフへ設定されます。	P.56
ディスプレイ／着信ランプは点灯／点滅するが着信音が鳴らない	「着信音の音量」が最小に設定されていませんか？	P.71
	マナーモードに設定されていませんか？	P.26
ボタン／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.19
	スタート画面のセキュリティが設定されていませんか？	P.71
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.19
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.22
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.19
「?」が表示される	au ICカードが挿入されていますか？	P.17
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.18
電話が勝手に応答する	「伝言メモ」が設定されていませんか？	P.33
電池を利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ • 赤色の充電ランプが緑色に変わるまで、充電してください。	P.18
	内蔵電池が寿命となっていませんか？	P.11
	「圏外」（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.25
電話をかけたときに受話部（レシーバー）から「プー、プー、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.25
	回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	−
ディスプレイの照明がすぐに消える	「スリープ」が短く設定されていませんか？	P.70
	エコモード設定時、「スリープ時間変更」が短く設定されていませんか？	P.56
画面照明が暗い	「明るさのレベル」が暗く設定されていませんか？	P.70
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって画面の輝度を落とす場合があります。	−
	エコモード設定時、「画面の明るさ調整」が暗く設定されていませんか？	P.56
相手の方の声が聞こえない／聞き取りにくい	通話音量が最小に設定されていませんか？	P.32
	受話部（レシーバー）が耳に当たるようにしてください。	P.17
イヤホンマイクのマイクが使えない	コネクタが正しく挿入されていますか？ イヤホンマイク端子の奥までしっかり挿入してください。	P.90
テレビが映らない／映像が止まる／音声が止まる／ノイズが出る	電池残量が少なくなっていませんか？	P.25
	地上デジタルテレビ放送の放送波は十分に届いていますか？	−
	京セラTVアンテナケーブル04を接続していますか？	P.48
	視聴している場所が選択している地域と合っていますか？	P.49
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	−
動作が遅くなった／アプリの動作が不安定になった／一部のアプリを起動できない	メモリの空き容量がなくなると動作が安定しません。空き容量が少なくなったら、不要なアプリを削除してメモリの空き容量を確保してください。	P.25
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 通知がない場合は、電話帳の着信設定は有効になりません。また、電話帳のグループ着信設定は有効になりません。	−
	同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？	P.34
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？	P.60
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.60
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていませんか？	P.18
	本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	P.18
	カメラスライドカバーが閉じた状態になっていませんか？	P.46
スマホの健康診断が動作しない	かざして診断カードに本製品を正しくかざしていますか？	P.57
	「NFC（かざして診断）」が「ON」に設定されていますか？	P.69

こんなときは	ご確認ください	参照
緊急通報ができない	指定のau ICカードが挿入されていますか？	P.17
	指定のau ICカード以外のカードをご利用になっていませんか?	−
	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.25

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。
https://www.au.com/trouble-check/

アフターサービスについて

修理を依頼されるときは

修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

memo

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
◎ 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
◎ 内蔵電池は、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。
◎ 卓上ホルダ、京セラTVアンテナケーブル04、かざして診断カード、IC Cardトレイ取り出し工具（試供品）などの付属品は無償修理保証の対象外です。

補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

無償修理規定

1. 修理受付時は、製造番号（IMEI番号）の情報をお知らせください。製造番号（IMEI番号）は、本製品本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
2. 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
3. 保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。（または、修理ができない場合があります。）
   ①取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
   ②不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
   ③当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
   ④使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
   ⑤地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4. 機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
5. 製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
6. 本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
7. 出張による修理対応はお受けできません。
8. 本規定は、日本国内においてのみ有効です。
   （This warranty is valid only in Japan.）

※ 本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

故障紛失サポートについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています（月額380円、税抜）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。
本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、故障紛失サポートセンターへお問い合わせください。

memo

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

au ICカードについて

au ICカードは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

auアフターサービスの内容について

サービス内容			故障紛失サポート 会員	故障紛失サポート 非会員
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目	無料	補償なし
		2年目以降	下記「交換用携帯電話機お届けサービス」（会員）ご負担金の表を参照	
	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失			
預かり修理	自然故障	1年目	無料	無料
		2年目以降	無料（3年間保証）	実費負担
	部分破損		お客様負担額 上限5,000円	
	水濡れ、全損		お客様負担額 10,000円	
	盗難、紛失		補償なし	補償なし（機種変更対応）

※ 金額はすべて税抜

「交換用携帯電話機お届けサービス」（会員）ご負担金

適用条件	1回目	2回目
通常	5,000円／長期ご利用特典※1 3,000円	8,000円／長期ご利用特典※1 6,000円
「WEB割引」※2／「代用機なし割引」※3の両方を適用	4,000円／長期ご利用特典※1 2,000円	7,000円／長期ご利用特典※1 5,000円
「代用機なし割引」※3のみを適用	4,500円／長期ご利用特典※1 2,500円	7,500円／長期ご利用特典※1 5,500円

※ 金額はすべて税抜
※1 3年目（25カ月）以上ご利用中のお客様、またはそのお客様が属する家族割内すべての回線が対象です。データ通信端末、タブレットをご利用中のお客様は、セット割（WINシングルセット割、またはスマホセット割）に加入しており、セット割の対象回線のご契約が3年目以上の場合が対象です。
※2 WEB割引：auホームページから「交換用携帯電話機お届けサービス」を申し込む場合、サービス利用ご負担金から500円を割引します。
「WEB 割引」の場合は代用機の貸出はできませんので、自動的に「代用機なし割引」があわせて適用されます。
※3 代用機なし割引：「交換用携帯電話機お届けサービス」のご利用に際し、代用機を利用しない場合は、サービス利用ご負担金から500円を割引します。
詳細はauホームページでご確認ください。

オンライン交換受付（24時間受付）

※ パソコン、スマートフォンからのみ受付可能
https://www.au.com/support/service/mobile/trouble/repair/application/

memo

交換用携帯電話機お届けサービス

◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機（同一機種・同一色※）をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。
※ 同一機種・同一色の提供が困難な場合、別途当社が指定する機種・色の交換用携帯電話機をご提供します。
◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。
※ 詳細はauホームページでご確認ください。
◎ 盗難、紛失など、本サービスのご利用と同時にau ICカードの再発行を伴う場合は、別途au ICカード再発行手数料1,900円が必要です。

預かり修理

◎ お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装のはがれなどによるケース交換は割引の対象となりません。

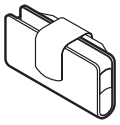
SIMロック解除

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除後の設定は、ホーム画面→[ツール]→[設定]→[端末情報]→[SIMカードの状態]→[状態の更新]と操作して行ってください。
- 詳しくは、auホームページをご参照ください。
  https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/

周辺機器

■ 卓上ホルダ(KYV43PUA)
■ 京セラTVアンテナケーブル04(04KYHSA)
■ かざして診断カード(KYV43NXD)
■ TypeC共通ACアダプタ01(0601PQA)(別売)
■ MicroB-TypeC変換アダプタ(0601PHA)(別売)
■ 共通ACアダプタ05(0501PWA)(別売)※
■ 共通ACアダプタ03(0301PQA)(別売)※
■ 共通ACアダプタ03 ネイビー(0301PBA)(別売)※
■ 共通ACアダプタ03 グリーン(0301PGA)(別売)※
■ 共通ACアダプタ03 ピンク(0301PPA)(別売)※
■ 共通ACアダプタ03 ブルー(0301PLA)(別売)※
■ テレビde写真受信機(0603RKA)(別売)
■ auキャリングケースGブラック(0106FCA)(別売)



※ ご利用にはMicroB-TypeC変換アダプタ(別売)が必要です。

memo
◎ 周辺機器は、auオンラインショップでご購入いただけます。
http://onlineshop.au.com

イヤホンを使用する

イヤホン(市販品)、イヤホンマイク(市販品)、ステレオイヤホンマイク(市販品)を接続して使用します。

1 イヤホンマイク端子にイヤホン(市販品)を接続

memo
◎ イヤホンマイク(市販品)の種類によっては使用できない場合があります。

主な仕様

■ 本体

ディスプレイ		約5.0インチ、約1677万色、TFT全透過型 1,920×1,080ドット(FHD)
質量		約150g
サイズ(幅×高さ×厚さ)		約71×144×9.9mm (最厚部 約10.1mm)
内蔵メモリ容量※1		ROM:約32GB RAM:約3GB
連続通話時間	国内	約1260分
	海外(GSM／UMTS／LTE)	約730分
連続待受時間	国内	約580時間
	海外(GSM／UMTS／LTE)	約690時間
連続テザリング時間		約780分
Wi-Fi®テザリング最大接続数		10台
充電時間(目安)	TypeC共通ACアダプタ01(別売)	約160分※2
カメラ撮像素子		CMOS
アウトカメラ有効画素数		約1,300万画素
インカメラ有効画素数		約500万画素
無線LAN(Wi-Fi®)機能		IEEE802.11 a／b／g／n／ac準拠
Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.4.2準拠※3
	出力	Bluetooth®標準規格Class 1
	通信距離※4	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル・機能※5	GATT(Generic Attribute Profile) SPP(Serial Port Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio／Video Remote Control Profile) HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) OPP(Object Push Profile) PBAP(Phone Book Access Profile) HID(Human Interface Device Profile) PAN(Personal Area Networking Profile) PAN-NAP(Personal Area Networking-Network Access Point) PAN USER(Personal Area Networking-User) HOGP(HID over GATT Profile) SCMS-T Bluetooth SSP MAP(Message Access Profile) DUN(Dial-Up Networking Profile)※6
	使用周波数帯	2.4GHz帯
連続ワンセグ視聴時間		約8時間

※1 データとアプリで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリの使用容量により減少します。
※2 卓上ホルダに接続して使用したときは充電時間が長くなる場合があります。
※3 本製品およびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※4 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※5 Bluetooth®機器どうしの使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※6 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

■ 卓上ホルダ(KYV43PUA)

質量	約77g
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約162×39×48mm

■ 京セラTVアンテナケーブル04(04KYHSA)

長さ	約136.4mm
質量	約5g

memo
◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種KYV43の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.875W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.511W/kg(※2)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○ 一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
○ auのホームページ
https://www.au.com/

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
※2 この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning
The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF EXPOSURE INFORMATION
Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation
This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided. This device is not intended to be used with a lanyard or strap on the body. The device contains a mounting point that may be used to attach the device to equipment, a backpack or tool belt, etc.

Turn off your phone before flying
You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

NFCサービスご利用上の注意

■ NFCについて

1. NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。主に、非接触ICカード機能、リーダー／ライター機能、機器間通信機能などがあります。
2. NFCを使っての各サービスご利用にあたっては、NFC機能をサポートしているau電話並びにau電話に挿入されたau ICカードへ、サービスのご利用に必要となるデータ（以下、NFCデータといいます）を書き込みする場合があります。
3. NFC機能を使った各サービスは、サービスプロバイダー（以下、SPといいます）が提供します。各SPの提供する対応サービス（以下、NFCサービスといいます）をご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。NFCサービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
4. SPが提供するNFCサービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

■ NFCデータの取り扱い等について

1. お客さまがNFCサービスをご利用するにあたり、お客さまのau電話に挿入されたau ICカードへのNFCデータの書き込み、書き換え並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. au電話並びにau ICカード内のNFCデータの使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
3. au電話本体並びにau ICカードの故障等により、NFCデータの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. SPがお客さまに提供するNFCデータのバックアップ、移し替え等の措置（以下、SPバックアップ等といいます）については、SPの定めるサービスの提供条件によります。NFCサービスのご利用開始前に必ず、当該NFCサービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりNFCデータのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他NFCデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、NFCサービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにNFCサービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. 当社は、いかなる場合もNFCデータの再発行や復元、一時的なお預かり、他への移し替え等を行うことはできません。

■ au電話並びにau ICカード固有の番号等の通知について

1. NFCサービスによっては、お客さまのau電話及びau ICカードを特定するために、当該のau電話並びにau ICカードの固有番号が、当該SPに送信される場合があります。
2. 当社は、SPがNFCサービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのau電話並びにau ICカード固有の番号と、NFCデータが消去されているか否か、及びau電話並びにau ICカードの解約処理情報について、当該SPに通知する場合があります。

■ 不正利用について

1. お客さまのau電話並びにau ICカードの紛失・盗難等により、NFCデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。NFCデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一、au電話並びにau ICカードの紛失・盗難等があった場合であっても、当社ではNFC機能を停止させることはできません。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

■ その他

1. NFCサービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ、他のau電話にau電話をかざしてNFCサービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. NFCサービスのご利用開始後に契約名義又は電話番号の変更があった場合、NFCサービスのご利用及びお客さまご自身でのNFCデータの削除ができなくなることがあります。なお、当該NFCサービスのデータを削除する場合は、あらかじめ当社又は当社代理店によりau ICカード内の全てのNFCデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
3. 電池残量がなくなった場合、NFCサービスがご利用いただけない場合があります。
4. 機内モード設定中は、NFCサービスがご利用いただけない場合があります。

知的財産権について

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Playミュージック、Playミュージック ロゴ、Playムービー、Playムービー ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、Googleドライブ、Googleドライブ ロゴ、Googleマップ ナビ、Googleマップ ナビ ロゴ、Google Chrome、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索、Google 音声検索 ロゴ、YouTube および YouTube ロゴは、Google LLC の商標または登録商標です。

Microsoft®、Windows®およびWindows® 7／Windows® 8.1／Windows® 10は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

WiMAXは、WiMAXフォーラムの商標です。

Wi-Fi®、WPA®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Protected Setup ロゴ、Wi-Fi Direct®、Miracast®はWi-Fi Allianceの登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標です。

FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。

Twitter、TwitterロゴはTwitter, Inc. の商標または登録商標です。

Instagramは米国およびその他の国におけるInstagram. LLCの商標です。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnIMEを使用しています。
iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2017 All Rights Reserved.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

（1） ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
（2） 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

「スマートソニックレシーバー」は京セラ株式会社の登録商標です。

書体切り替えには、株式会社リムコーポレーションの「もじチェン」を使用しています。「もじチェン」は株式会社リムコーポレーションの登録商標です。
本製品には、株式会社リムコーポレーションの書体を搭載しています。
本製品には、株式会社モリサワの書体を搭載しています。

本製品には赤外線通信機能としてイーグローバレッジ株式会社のDeepCore® 3.0Plus for Androidを搭載しています。Copyright© 2012 E-Globaledge Corp. All Rights Reserved.

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。
「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
動画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「MovieSolid」を採用しております。
「MovieSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
シーン検出技術には株式会社モルフォの「PhotoScouter」を採用しております。
「PhotoScouter」は株式会社モルフォの登録商標です。
画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Rapid Effect」を採用しております。「Morpho Rapid Effect」は株式会社モルフォの商標です。
HDR（High Dynamic Range）技術には「Morpho HDR」を採用しています。
「Morpho HDR」は株式会社モルフォの商標です。

Qualcomm Quick ChargeはQualcomm Technologies,Inc.の製品であり、Qualcomm社は米国およびその他の国で登録されたクアルコムの商標です。

USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。

その他本文中に記載されている社名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

License

■ OpenSSL License

【OpenSSL License】
Copyright © 1998-2011　The OpenSSL Project. All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
【Original SSLeay License】
Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

この取扱説明書で説明されている本製品にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点にご注意ください。
(a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出を行ってはなりません。
(b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
(c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の非侵害などの黙示の保証を行うものではありません。
ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。
なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License(GPL)、GNU Library/Lesser General Public License(LGPL)、その他のオープンソースソフトウェアのライセンス条件が適用されるソフトウェアを含みます。GPL、LGPLおよびその他のライセンスの具体的な条件については、本製品の「端末情報」からご参照いただけます。詳細については京セラ株式会社のホームページをご覧ください。
本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェアおよび京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアが含まれています。
本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社または第三者が有しており、著作権法上認められた使用法および京セラ株式会社が別途認めた使用法を除き、お客様は京セラ株式会社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

■ 診断および使用状況データの記録

京セラ株式会社では、製品とサービスの品質の向上のために、お客様のご協力をお願いしています。京セラ株式会社は、予期しないシャットダウンやシステムエラーなどの診断イベントを追跡して対処し、品質とサービス向上を目的として、お客様の端末の故障診断および使用状況データ(お客様によるアプリケーションの使用状況情報、エラーに関するログ情報、およびお客様によるアプリケーションの使用に関する詳細情報(特定の機能、使用頻度、メモリ／電池の使用状況))を端末内に記録、保存しております。これらの情報はお客様より端末の修理依頼があった際に、お客様の同意のうえ収集することがあります。

索引

索引……96

索引

記号／数字／アルファベット

au ICカード 17
　取り付け 17
　取り外し 18
au ID 20
au国際電話サービス 32
auサービスTOP 50
auスマートサポート 50
auスマートパス 50
au世界サービス 84
　お問い合わせ方法 85
　データ通信 84
au設定メニュー 68
auのネットワークサービス 75
　英語ガイダンス 80
　遠隔操作サービス 77、79
　応答メッセージ 79
　お留守番サービスEX 77
　お留守番サービス総合案内 78
　圏外転送 76
　三者通話サービス 80
　受信拒否リスト 81
　選択転送 76
　蓄積停止 79
　着信お知らせサービス 76
　着信転送サービス 76
　通話明細分計サービス 81
　伝言お知らせ 79
　伝言録音 78
　日本語ガイダンス 80
　発信番号表示サービス 77
　番号通知リクエストサービス 77
　フル転送 76
　ボイスメール 78
　無応答転送 76
　迷惑電話撃退サービス 81
　留守伝言再生 79
　話中転送 76
　割込通話応答 80
　割込通話サービス 80
auメール 36
　迷惑メールフィルター 37
Bluetooth®機能 64
　機器登録 64
　起動 64
　注意 13
　データの送受信 65
　パスキー 64
　ペアリング 64
Duo 52
File Commander 61
Gmail 39
　更新 39
　作成 39
　受信 39
　送信 39
　転送 39
　返信 39
　メニュー 39
Google 72
Google Play 52
Googleアカウント 20
Googleマップ 53
　周辺のスポット 53
　道案内 53
iWnn IME 29
　キー操作音 29
　キー操作バイブ 29
　キーボードタイプ 29
　キーポップアップ 29
　候補表示行数 29
　自動カーソル移動 29
　トグル入力 29
microSDメモリカード 60
　初期化 61
　取り付け 60
　取り外し 60
My au 50
PINコード 13
　変更 72
PINロック解除コード 13
Play Music 47
　曲検索 47
　再生 47
　プレイリスト作成 47
Playムービー&TV 47
SAR 91
SIMロック解除 90
SMS 38
　SMSセンター 38
　検索 38
　削除 39
　作成 38
　受信 38
　受信フィルター 39
　設定 39
　送信 38
　転送 38
　返信 38
USB Type-Cケーブル（市販品）
　接続 61
VPN設定 69
Wi-Fi® 65
　起動 65
　スリープ設定 65
　接続 65
　切断 65
　注意 13
　ネットワークを追加 65
Wi-Fi Direct® 66
YouTube 52

あ

アカウント 72
　アカウントを削除 72
　アカウントを追加 72
　同期 72
アフターサービス 89
アプリ
　通知 70
アプリ権限設定 14
アプリの通知の設定 70
アラーム 54
　繰り返し 54
　設定 54
暗証番号 13
あんしんフィルター for au 51
安全上のご注意 6
位置情報の設定 71
印刷 73
インターネット 42
　クイックメニュー 43
　再読み込み 42
　設定 42
　ブックマーク 43
　メニュー 42
　履歴 43
引用入力（プラグイン） 29
エコモード 56
音と通知の設定
　音量調節 71
　操作音 71
　着信音 71
　マナーモード 26
音の設定 71
音声レコーダー 56
音量 71

か

海外利用 84
　お問い合わせ方法 85
　海外ローミング 84
各部の名称と機能 16
カメラ
　画面の見かた 46
　静止画撮影 47
　設定 46
　動画撮影 47
カメラスライドカバー 46
カレンダー 53
　作成 53
　メニュー 53
簡易ライト 56
機内モード 69
基本操作 22
携帯電話機の比吸収率（SAR） 91
言語と入力 72
　Google音声入力 72
　言語 72
　テキスト読み上げの出力 72
故障とお考えになる前に 88
故障紛失サポート 89

さ

自分の電話番号 33
充電 18
周辺機器 90
仕様 90
ズームイン／ズームアウト 22
スクリーンショット 26
スタート画面 20
ステータスアイコン 25
ステータスバー 25
ステップアップ着信 33
ストレージ 61
ストレージの設定 71
スマートソニックレシーバー 17
スライド 22
スリープモード 20
セキュリティの設定 71
設定メニュー 68
ソフトウェア更新 88
　ご利用上の注意 88
　ダウンロード 88

た

ダイレクトボタン 26
タッチパネル 22
タップ 22
ダブルタップ 22
端末情報 73
着信拒否 70
着信中のメニュー 33
通知アイコン 25
通知パネル 25
通話音声メモ 70
通話履歴 32
ディスプレイの設定 70
　明るさ 70
　自動回転 22
　フォント切替 70
データ通信 42
　注意 14
データの初期化 73
データ表示 47
テザリング 66
　Bluetooth®テザリング 66
　USBテザリング 66
　Wi-Fi®テザリング 66
テレビ 48
　視聴 48
　視聴画面の操作 48
　終了 49
　初期設定 48
　設定 48
　データ放送 48
　テレビリンク 49
　番組表 49
　放送エリア 49
電源を入れる 19
電源を切る 19
伝言メモ 33
電卓 55
電池使用量 71
電話 31
　SMSで返信 33
　受ける 33
　かける 32
　設定 70
　伝言メモに録音 33
　転送 33
電話帳 34
　インポート 34
　エクスポート 34
　グループ 34
　削除 34
　作成 34
　電話をかける 34
　登録 34
　編集 34
時計 54
　設定 54
ドラッグ 22
取り扱い上のご注意 10

は

バックアップとリセット 73
日付と時刻 73
表記方法 1
フリック 22
プロフィール 33
保存領域 60

ま

マップ 53
マナーモード 26
無線とネットワーク 68
メール
　auメール 36
　Gmail 39
　SMS 38
メモリ 71
文字入力 27
　英語／その他ユーザー辞書 30
　絵文字入力 29
　顔文字入力 29
　記号入力 29
　切り取り 29
　コピー 29
　日本語ユーザー辞書 30
　貼り付け 29
　フリック感度 29
　フリック入力 29
モバイルネットワーク 68

や

ユーザー補助 73
予測変換 29

ら

ロングタッチ 22

わ

ワンセグ 48

auのお客さまサポート

料金・操作・設定などのご確認や各種お手続きができます。
スマートフォンをご利用ならアプリが便利です。

My au	パソコン・スマートフォン	3G ケータイ
WEB 版	https://www.au.com/support/	EZ ボタン>トップメニューまたは auポータルトップ>My au
アプリ版	au Market もしくは App Store から 「My au」で検索	ー

お客さまセンター（年中無休 / 通話料無料）	au携帯電話(スマホ/ケータイ)	au携帯電話以外/一般電話	左記番号がつながらない場合
総合案内（受付 9:00～20:00）	局番なし 157	フリーコール 0077-7-111	フリーコール 0120-977-033 [沖縄の方は] フリーコール 0120-977-699
盗難・紛失（24 時間受付）	局番なし 113	フリーコール 0077-7-113	フリーコール 0120-925-314

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone.
※ ご契約内容の変更や照会の場合には、ご利用の「au 携帯電話番号」と「暗証番号」が必要です。
※ 音声応答メニューのご利用料金照会、回線停止、再開手続きは 24 時間ご利用いただけます（メンテナンス時を除く）。

故障紛失サポートセンター（年中無休 / 通話料無料）	au携帯電話(スマートフォン/ケータイ) / 一般電話
盗難・紛失・故障（受付 9:00～20:00）	フリーコール 0120-925-919

※ 上記の電話番号がつながらない場合があります。

やめましょう、歩きスマホ。

有害サイトから子供を守る!

キケン! 水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、異常な発熱・焼損などの原因となり大変危険です。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2017年11月第1版　発売元：ＫＤＤＩ株式会社・沖縄セルラー電話株式会社　製造元：　京セラ株式会社